（ 別 冊 ）

平成１８年度
東北地方整備局事業概要

～『強く美しい東北』を目指して～

平成１８年度の主な事業

平成１８年３月３０日
東 北 地 方 整 備 局

目　　次

１．基本方針別の主な事業
・安全で安心できる地域づくり　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
・強い東北の創造　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
・美しい東北の実現　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
・魅力ある都市づくり　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

２．箇所別説明資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

３．県別の主な事業箇所一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116

（参考）
・事務所別直轄事業費一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 128

１．基本方針別の主な事業

〔 安全で安心できる地域づくり 〕

【防災・減災対策の推進】

新　規

《河川関係》

（直轄事業）

○北上川上流一関・川崎地区（岩手県）において輪中堤等を行う水防災事業に新規着手 (P　8)
○雄物川上流（秋田県）において湯沢堰・幡野弁天堰の改築事業に新規着手 (P　9)
○岩木川鶴田右岸地区（青森県）において堤防量的・質的整備に新規着手 (P　10)
○最上川支川最上内川庭月地区（山形県）において堤防整備に新規着手 (P　11)
○北上川下流直轄河川維持修繕事業（宮城県）において水閘門修繕（津波対策）に新規着手 (P　12)
○阿武隈川水系直轄火山砂防事業　須川第二砂防えん堤（福島県）に新規着手 (P　13)
○八幡平山系直轄火山砂防事業　ナリヤ沢砂防えん堤（岩手県）に新規着手 (P　14)

（補助事業）

○箱崎東の沢（岩手県）において通常砂防事業に新規着手 (P　15)
○戸沢地区（秋田県）において急傾斜地崩壊対策事業に新規着手 (P　16)
○片平町の１地区（宮城県）において急傾斜地崩壊対策事業に新規着手 (P　17)

《港湾関係》

（直轄事業）

○ＧＰＳ波浪計を活用した沖合波浪（津波）観測網の整備（岩手県、宮城県）【新規制度】 (P　18)

《都市・住宅関係》

（補助事業）

○住宅・建築物耐震改修等事業に新規着手（宮城県仙台市） (P　19)

完成・供用等

《河川関係》

（直轄事業）

○鳴瀬川下志田地区（宮城県）の二線堤整備で、堤防機能の概成 (P　20)
○最上川水系直轄砂防事業　朴木沢第二砂防えん堤（山形県）の完成 (P　21)
○八幡平山系直轄火山砂防事業　田沢沢川第一砂防えん堤（秋田県）の完成 (P　22)

（補助事業）

○七戸川鉄道橋・道路橋緊急対策事業（青森県）の完成 (P　23)
○馬淵川水防災対策特定河川事業（青森県）の完成 (P　24)
○小槌川地震・高潮等対策河川事業（岩手県）の完成 (P　25)
○菰石川鉄道橋・道路橋緊急対策事業（山形県）の完成 (P　26)
○鷹生ダム建設事業（岩手県）の完成 (P　27)
○こまち生活貯水池建設事業（福島県）の完成 (P　28)

《道路関係》

（直轄事業）

○一般国道　４号　亀田大橋（福島県）の耐震補強に新規着手し完了 (P　29)
○一般国道４５号　新飯野川橋（宮城県）の耐震補強に新規着手し完了 (P　30)

○一般国道１３号　新旭橋（秋田県）の耐震補強に新規着手し完了　(P　31)
○一般国道４７号　蔵岡地区（山形県）の防災対策に新規着手し完了　(P　32)
○一般国道４５号　鍬台トンネル（岩手県）の補修の完了　(P　33)
○一般国道４６号　館坂橋（岩手県）の補修の完了　(P　34)
○一般国道１３号　村山大橋（山形県）の床版補修の完了　(P　35)
○一般国道４５号　矢本石巻道路（宮城県）の全線２車線供用　(P　36)

《海岸関係》

（補助事業）

○向平海岸局部改良事業（青森県）の完成　(P　37)
○川内港海岸川内地区　海岸環境整備事業（青森県）の完成　(P　38)

《港湾関係》

（直轄・補助事業）

○釜石港湾口地区防波堤整備事業の概成
釜石港須賀地区耐震強化岸壁整備事業の完成（岩手県釜石市）　(P　39)

《都市・住宅関係》

（補助事業）

○元寺小路七北田線（仙台北部共同溝・堤町工区）の完成（宮城県仙台市）　(P　40)

継　続

《河川関係》

（直轄事業）

○一関遊水地建設事業（岩手県）の事業推進　(P　41)
○阿武隈川上流本宮左岸地区（福島県）において無堤部解消　(P　42)
○長井ダム建設事業（山形県）の事業推進　(P　43)
○森吉山ダム建設事業（秋田県）の事業推進　(P　44)

（補助事業）

○砂子沢ダム建設事業（秋田県）の事業推進　(P　45)
○木戸ダム建設事業（福島県）の事業推進　(P　46)

《海岸関係》

（直轄事業）

○仙台湾南部海岸直轄海岸保全施設整備事業（宮城県）の事業推進　(P　47)

（補助事業）

○宮古港海岸高浜地区高潮対策事業（岩手県宮古市）の事業推進　(P　48)

《港湾関係》

（直轄事業）

○青森港沖館地区複合一貫輸送ターミナル（耐震改良）（青森県）の事業推進　(P　49)
○仙台塩釜港仙台港区中野地区耐震強化岸壁改良事業（宮城県）の事業推進　(P　50)
○相馬港３号ふ頭地区耐震強化岸壁整備事業（福島県）の事業推進　(P　51)

《都市・住宅関係》

（補助事業）

○都市水環境整備事業の事業推進（宮城県塩竈市）　(P　52)

【雪対策の推進】

新　規

《河川関係》

（直轄事業）

○最上川中流消流雪事業（山形県）として横山地区に新規着手　(P　53)

完成･供用等

《河川関係》

（直轄事業）

○最上川中流消流雪事業（山形県）の清水地区の完成　(P　54)

《道路関係》

（直轄事業）

○一般国道１３号　北楢岡地区（秋田県）の防雪柵の完成　(P　55)

継　続

《河川関係》

（直轄事業）

○岩木川消流雪事業（青森県）の板柳地区の事業推進　(P　56)

（補助事業）

○今平地区（山形県）において雪崩対策工の事業推進　(P　57)

《道路関係》

○一般国道４６号　冬期道路サービス向上に向けた取り組み（岩手県・秋田県）の継続　(P　58)

【少子化･高齢化等への対応】

完成･供用等

《道路関係》

（直轄事業）

○一般国道４号　大槻交差点改良（岩手県）の完了　(P　59)
○一般国道１１２号　南一番町歩道（山形県）の供用　(P　60)

《都市・住宅関係》

（補助事業）

○花城地区優良建築物等整備事業の完成（岩手県花巻市）　(P　61)
○仙台市営西中田住宅ストック総合改善事業の完成（宮城県仙台市）　(P　62)
○アスベスト対策（東北各県）　(P　63)

《営繕関係》

（直轄事業）

○二本松公共職業安定所（福島県）の庁舎完成。　(P　64)

継　続

《道路関係》

（直轄事業）

○一般国道７号　土崎歩道（秋田県）の事業推進　(P　65)

〔 強 い 東 北 の 創 造 〕

【広域的な交流連携の促進】

新　規

《道路関係》

（直轄事業）

○一般国道４５号　本吉気仙沼道路（宮城県）に新規着手　(P　66)
○一般国道４５号　尾肝要道路（岩手県）に新規着工準備箇所に着手　(P　67)
○一般国道４７号　高屋道路（山形県）に新規着手　(P　68)

完成・供用等

《道路関係》

（直轄事業）

○日本海沿岸東北自動車道　一般国道７号　琴丘能代道路（秋田県）の一部区間の２車線供用　(P　69)
○東北中央自動車道　一般国道１３号　湯沢横手道路（秋田県）の一部区間の２車線供用　(P　70)
○東北中央自動車道　一般国道１３号　尾花沢新庄道路（山形県）の一部区間の２車線供用　(P　71)
○一般国道４５号　桃生登米道路（宮城県）の一部区間の２車線供用　(P　72)
○郡山西環状道路 一般国道４号 郡山バイパス(針生立体化)（福島県）の一部区間の２車線供用　(P　73)

（補助事業）

○本荘大曲道路　一般国道１０５号　大曲西道路（秋田県）の全線２車線供用　(P　74)

継　続

《道路関係》

○格子状骨格道路ネットワーク事業（東北６県）の推進　(P　75)

【国際競争力の強化】

新　規

《河川関係》

（直轄事業）

○最上川水系直轄総合水系環境整備事業（山形県）（村山地区フットパス）に新規着手　(P　76)
○北上川水系直轄総合水系環境整備事業（宮城県）（歴史公園整備）に新規着手　(P　77)

《道路関係》

○日本風景街道（シーニック・バイウエイ・ジャパン）の取り組み　(P　78)

完成・供用等

《道路関係》

（直轄事業）

○東北横断自動車道　一般国道２８３号　仙人峠道路（岩手県）の全線２車線供用　(P　79)

（補助事業）

○東北横断自動車道　一般国道２８３号　仙人道路（岩手県）の全線２車線供用 (P 80)

○一般県道　仙台館腰線（宮城県）の全線4車線供用 (P 80)

《空港関係》

（直轄事業）

○仙台空港アクセス鉄道整備事業（宮城県）の完成 (P 81)

（補助事業）

○釜石港須賀地区多目的国際ターミナル整備事業（岩手県釜石市）の完成 (P 82)

継　続

《河川関係》

（直轄事業）

○北上川水系直轄総合水系環境整備事業（岩手県）（平泉地区水辺プラザ）の事業推進 (P 83)

《道路関係》

（直轄事業）

○一般国道４号　平泉バイパス（岩手県）の事業推進 (P 84)

《港湾関係》

（直轄事業）

○秋田港外港地区防波堤整備事業（秋田県）の事業推進 (P 85)

〔美しい東北の実現〕

【自然環境との調和・共生の推進】

新　規

《河川関係》

（直轄事業）

○岩木川水系直轄総合水系環境整備事業（青森県）（魚がすみやすい川づくり）に新規着手 (P 86)

完成・供用等

《河川関係》

（直轄事業）

○北上川水系直轄総合水系環境整備事業　田瀬ダム貯水池水質保全事業（岩手県）の完成 (P 87)

《港湾関係》

（補助事業）

○八戸港河原木地区港湾環境整備事業（沼館）の完成（青森県八戸市） (P 88)

継　続

《河川関係》

（直轄事業）

○名取川河川改修事業（藤塚地区）（宮城県）の事業推進 (P 89)

《道路関係》
（直轄事業）
○一般国道２８９号　甲子道路（福島県）の事業推進　(P　90)

《海岸関係》
（補助事業）
○大湊港海岸大湊地区侵食対策事業（青森県むつ市）の事業推進　(P　91)

【環境対策の推進】

完成・供用等

《道路関係》
（直轄事業）
○八戸久慈自動車道　一般国道４５号　八戸南道路（青森県）の一部区間の２車線供用　(P　92)

《港湾関係》
（補助事業）
○酒田港循環資源取扱支援施設整備事業（山形県酒田市）の完成　(P　93)

《都市・住宅関係》
（補助事業）
○特定環境保全公共下水道の供用（青森県佐井村）　(P　94)

継　続

《河川関係》
（直轄事業）
○胆沢ダム建設事業（岩手県）の事業推進　(P　95)

《都市・住宅関係》
（補助事業）
○合流式下水道緊急改善事業（仙台市、他11市）の事業推進　(P　96)

〔魅力ある都市づくり〕

【地域再生・都市再生の推進】

新　規

《道路関係》
○走りやすさマップ東北６県お試し版の作成（東北管内全域）　(P　97)

《都市・住宅関係》
（補助事業）
○まちづくり交付により大船渡港湾周辺地区に新規着手（岩手県大船渡市）　(P　98)

完成・供用等

《道路関係》
（直轄事業）
○一般国道　７号　千刈地区（青森県）の電線共同溝の完成　(P　99)

《都市・住宅関係》

（補助事業）

○住宅市街地総合整備事業「瀬戸町地区」の事業完了（福島県会津美里町） (P 100)

○まちづくり交付金により上屋浦地区の事業完了　（宮城県登米市） (P 101)

継　続

《道路関係》

○写真を撮るパーキング「とるぱ」の情報提供（東北管内全域） (P 102)

《都市・住宅関係》

（補助事業）

○中央一丁目第二地区第一種市街地再開発事業の事業推進（宮城県仙台市） (P 103)

○多賀城連続立体交差事業の事業推進（宮城県多賀城市） (P 104)

【ゆとりある生活空間の創造】

完成･供用等

《河川関係》

（直轄事業）

○雄物川水系直轄総合水系環境整備事業（秋田県）（山田地区水辺の楽校）の完成 (P 105)

○馬淵川水系直轄総合水系環境整備事業（青森県）（八戸地区水辺の楽校）の完成 (P 106)

継　続

（直轄事業）

○国営みちのく杜の湖畔公園Ⅱ期地区の草原エリアの事業推進（宮城県） (P 107)

【都市圏交通の円滑化】

新　規

《道路関係》

○一般国道４号　仙台拡幅（仙台市）の宮城野区燕沢～鶴ヶ谷間に新たに着手 (P 108)

完成･供用等

《道路関係》

（直轄事業）

○一般国道　４号　仙台拡幅（宮城県仙台市）の一部区間の６車線供用 (P 108)

○一般国道　４号　長町拡幅（宮城県仙台市）の一部区間の６車線供用 (P 109)

○一般国道　４号　伊達拡幅（福島県）の一部区間の４車線供用 (P 110)

○一般国道　６号　常磐バイパス（福島県）の一部区間の４車線供用 (P 111)

○一般国道１３号　福島西道路（福島県）の一部区間の２車線、一部区間の４車線供用 (P 112)

○一般国道４５号　仙台市中野地区における高機能舗装の完成 (P 113)

（補助事業）

○青森空港地区交通結節点改善事業（青森県）の完成 (P 114)

継　続

《都市・住宅関係》

（補助事業）

○まちづくり交付金により増田地区の事業推進（宮城県名取市） (P 115)

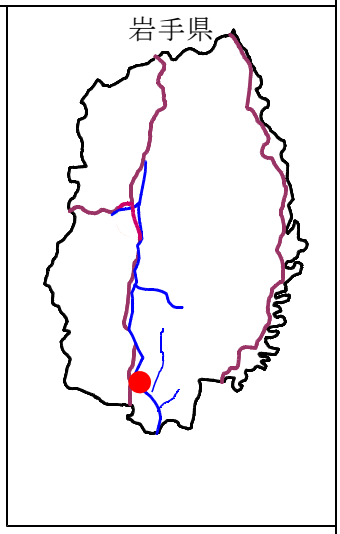
２．箇所別説明資料

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	北上川上流一関・川崎地区土地利用一体型水防災事業（岩手県一関市）

事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成２２年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

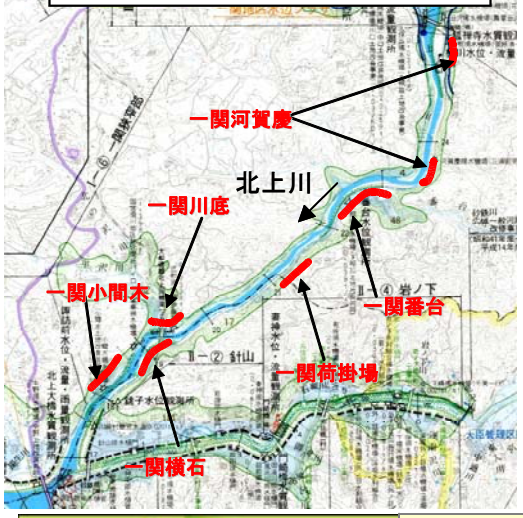
宮城県境から上流一関遊水地までの区間（約26km）は、背後に山々が迫り、川幅が狭い狭隘部となっているとともに、川沿いに集落が点在しています。一方、平成10年８月洪水（浸水家屋19戸）、平成14年７月洪水（浸水家屋41戸）による浸水被害や生活道路の冠水などによる集落の孤立化が生じているなど、早急な治水対策が急務となっています。

「事業の概要」

狭隘部（約26km）のうち、上流の一関・川崎地区（一関遊水地～砂鉄川合流点）までの区間について、平成１８年度から事業着手します。

尚、この地区は従来の連続堤防による対策では地形特性から施工が困難であるため、輪中堤、宅地嵩上げ等の対策により、早期の効果発現を図ります。

位置図（一関・川崎地区）

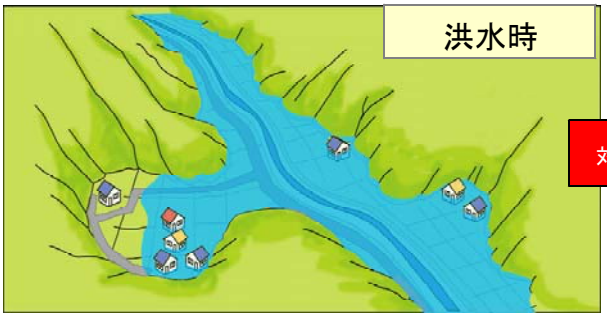


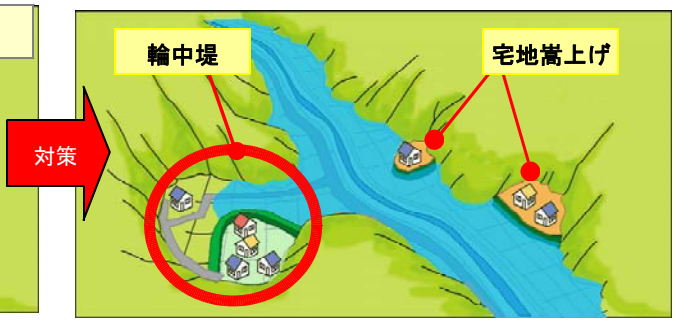












平成18年度事業費及び事業内容

○事業費:66百万円
○用地調査、地形測量設計を実施します。

事　業　効　果

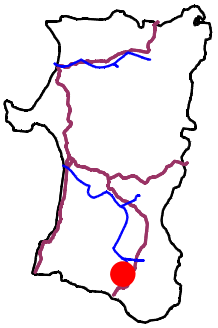
○輪中堤、宅地嵩上げ等を実施整備することにより、洪水時の安全な生活を確保します。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	雄物川（おものがわ）上流湯沢（ゆざわ）統合堰特定構造物改築事業（直轄） （秋田県湯沢（ゆざわ）市）
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

雄物川上流に設置されている幡野弁天堰（昭和44年設置）、湯沢堰（昭和40年設置）は固定堰であるため、堰付近の流下能力が大幅に不足しており、洪水の安全な流下を著しく阻害しています。

平成16年7月洪水では、堰上流で計画高水位を上まわる状況となっており、氾濫の危険性が高く、改善が必要です。

「事業の概要」

洪水の安全な流下を阻害している幡野弁天堰・湯沢堰を統合し、固定堰から可動堰とすることにより流下能力不足を解消する改築事業を平成18年度より新規着手します。

○堰本体工（W=28.8m×4門、L=120m、可動堰）
○魚道　2箇所
○旧施設撤去　1式
○用水樋門　2基
○導水路　1式

固定堰による流下断面阻害

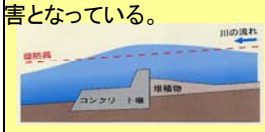




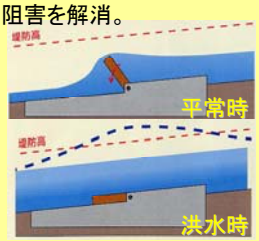




《現況》
堰天端高が河床より高く固定堰のため洪水流下の阻害となっている。



《事業実施後》
平常時は、取水のため堰を起立し、洪水時は倒伏することにより、洪水の流下阻害を解消。





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費　：　600百万円
○事業内容　：　仮設備　1式　と　取水樋門　2基の整備を推進します。

事　業　効　果

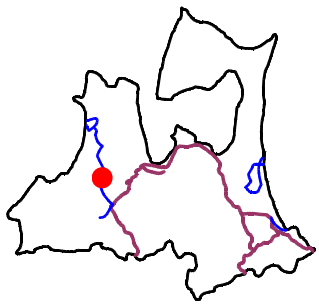
○可動堰への改築によって、洪水時の流れを良くすることで、浸水被害を軽減します。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名　岩木川鶴田右岸地区改修事業（堤防量的・質的整備）〔直轄〕
（青森県北津軽郡鶴田町）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成20年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

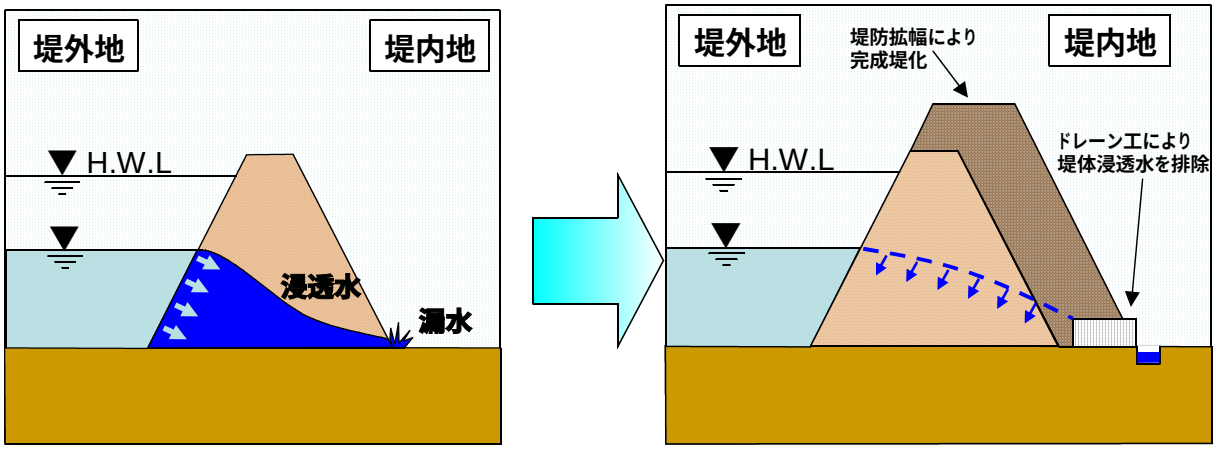


「事業の必要性」

岩木川鶴田右岸地区の背後には、鶴田町役場、町立中央病院、小中学校等の背後資産の大きい市街地が広がっています。しかし、堤防の断面不足や洪水時の浸透に対する安全性が確保されていない状況です。このため、一旦破堤等の被害が生じた場合には町の機能が失われる大きな災害となるため、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

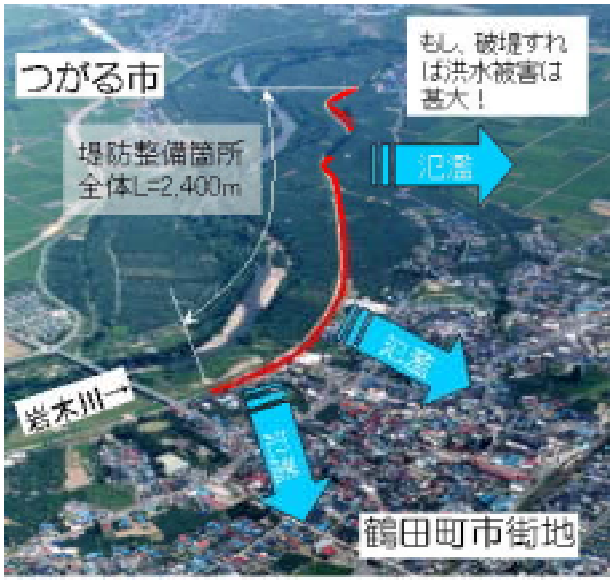
堤防の拡幅と嵩上げによる計画断面の確保と、浸透対策による堤防の強化を実施します。





漏水の事例





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：412百万円
○堤防敷の用地取得を図ります。

事　業　効　果

○鶴田右岸地区において、断面拡幅及び浸透水の抑制、低減を図り、堤防背後の安全性を確保します。

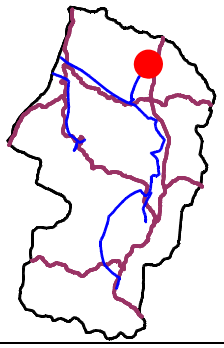
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	最上川中流庭月地区河川改修事業（直轄） （山形県最上郡鮭川村）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県

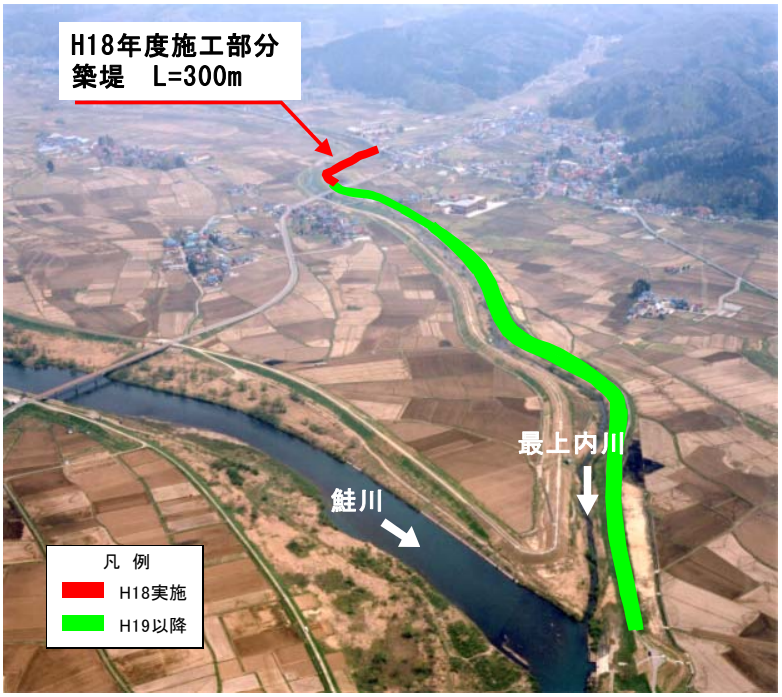


「事業の必要性」

最上川支川最上内川（鮭川村庭月地区）は右岸側は既に堤防が完成しており、左岸側が無堤となっています。このため、平成16年7月出水では、水田など約130haの浸水被害が発生しており、早期に無堤部の解消を図り、治水安全度を向上させる必要があります。

「事業の概要」

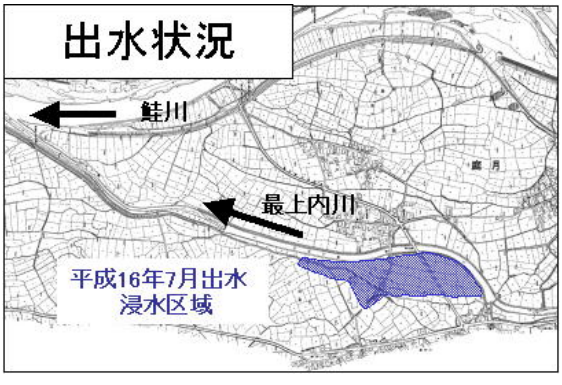
洪水による浸水被害を防ぐために、上流より順次堤防整備を進めていくこととし、H18から延長L=300mの区間の堤防整備に着手します。
（全体延長L=約2,000m）











平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：267百万円
○H18年度より築堤整備（H18：L=300m）に着手します。

事　業　効　果

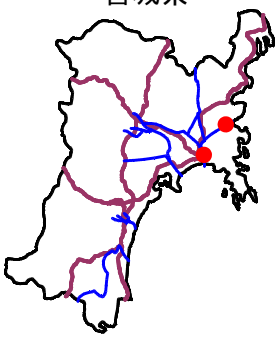
○流下能力の不足が解消されることにより、浸水被害が低減されます。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	北上川下流（きたかみがわかりゅう）　直轄河川維持修繕事業　水閘門（すいこうもん）修繕（津波対策） （宮城県石巻（いしのまき）市）
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成20年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



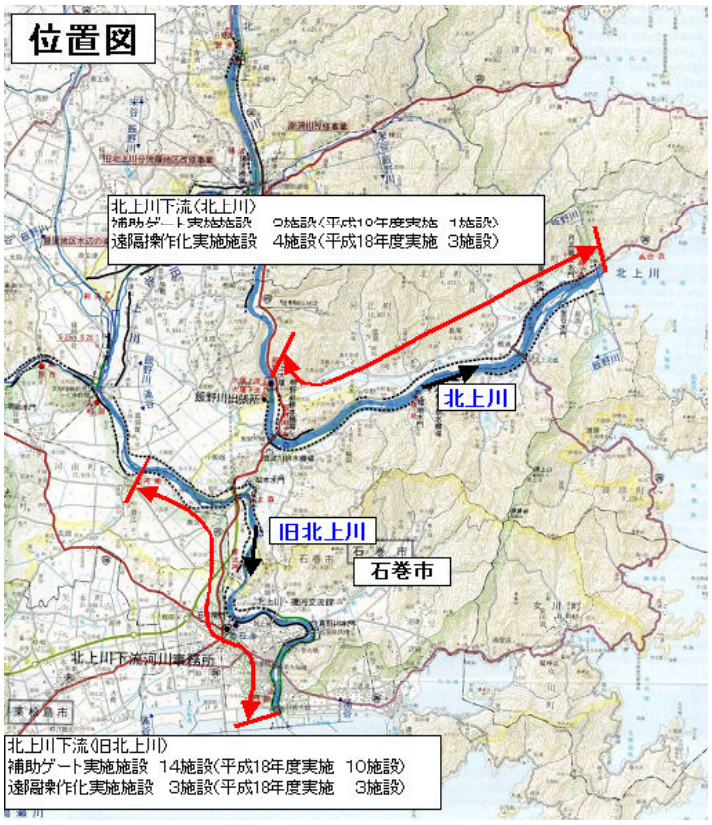
「事業の必要性」

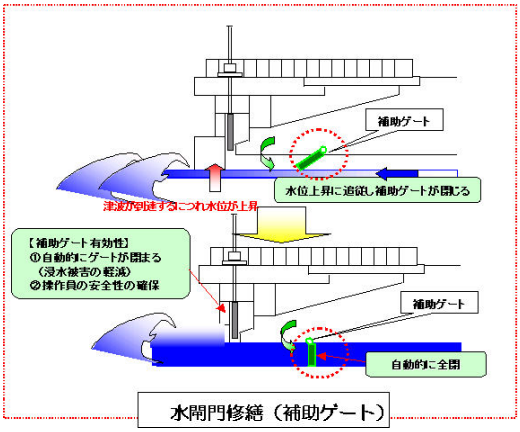
日本海溝・千島海溝型地震の大規模地震の発生に伴い、津波が襲来する恐れがある沿岸部に河口持つ河川においては、早期の対策が求められています。特に北上川下流は、近い将来に高い確率で発生すると予想されている宮城県沖地震により津波が想定される対象河川であり、津波が河川を遡上時、水門等河川管理施設から津波が流入した場合、多大な被害が発生する恐れがあり、緊急的に対策を実施する必要があります。

「事業の概要」

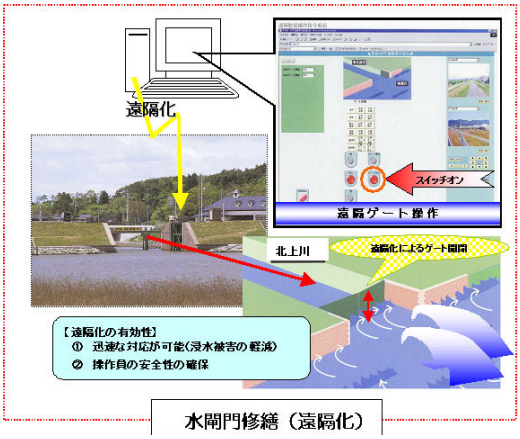
津波の河川遡上に伴う水門等からの浸水に対して、迅速かつ確実に浸水を防ぐ、既存の水門・樋門等河川管理施設の修繕を実施します。津波に伴う水位上昇によって、自動的に閉鎖する補助ゲート（フラップゲート）を水門・樋門に整備します。また、補助ゲートの施工が不可能な施設においては、遠隔操作化を実施し、直ぐに閉鎖できるようにします。

○補助ゲート実施施設　　17施設　（H18年度実施　11施設）
○遠隔操作化実施施設　　7施設　（H18年度実施　　6施設）





水閘門修繕（補助ゲート）



水閘門修繕（遠隔化）

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費　：　216百万円
○補助ゲート実施施設　11施設、遠隔化実施施設　6施設の整備を推進します。

事　業　効　果

○津波の流入による浸水被害を図ります。

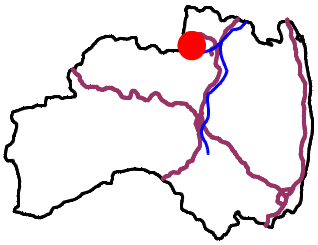
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	阿武隈川水系直轄火山砂防事業　須川第二砂防えん堤（直轄） （福島県福島市）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

福島市を流れる須川の上流部は、崩壊地及び地すべり地形を有していることから、その流出土砂に伴う洪水氾濫から下流に位置する福島市街地の被害 軽減を図らなければなりません。

「事業の概要」

○構造：重力式コンクリートスリット
○えん堤高・延長：H=14.5m L=86.0m
○整備土砂量：45,000m3



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：３７百万円
○砂防えん堤建設のための用地取得を図ります。

事　業　効　果

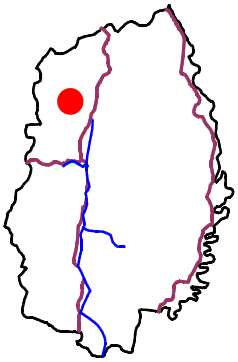
○福島市街地における土砂災害の軽減を図ります。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	八幡平山系直轄火山砂防事業　ナリヤ沢砂防えん堤（直轄） （岩手県八幡平（はちまんたい）市）
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成21年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県

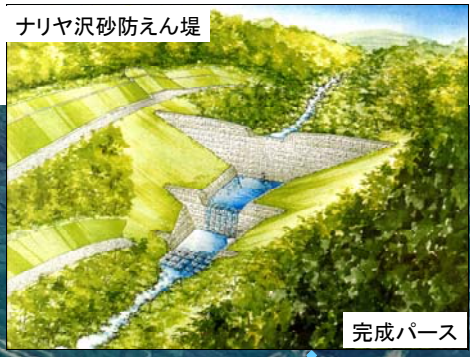


「事業の必要性」

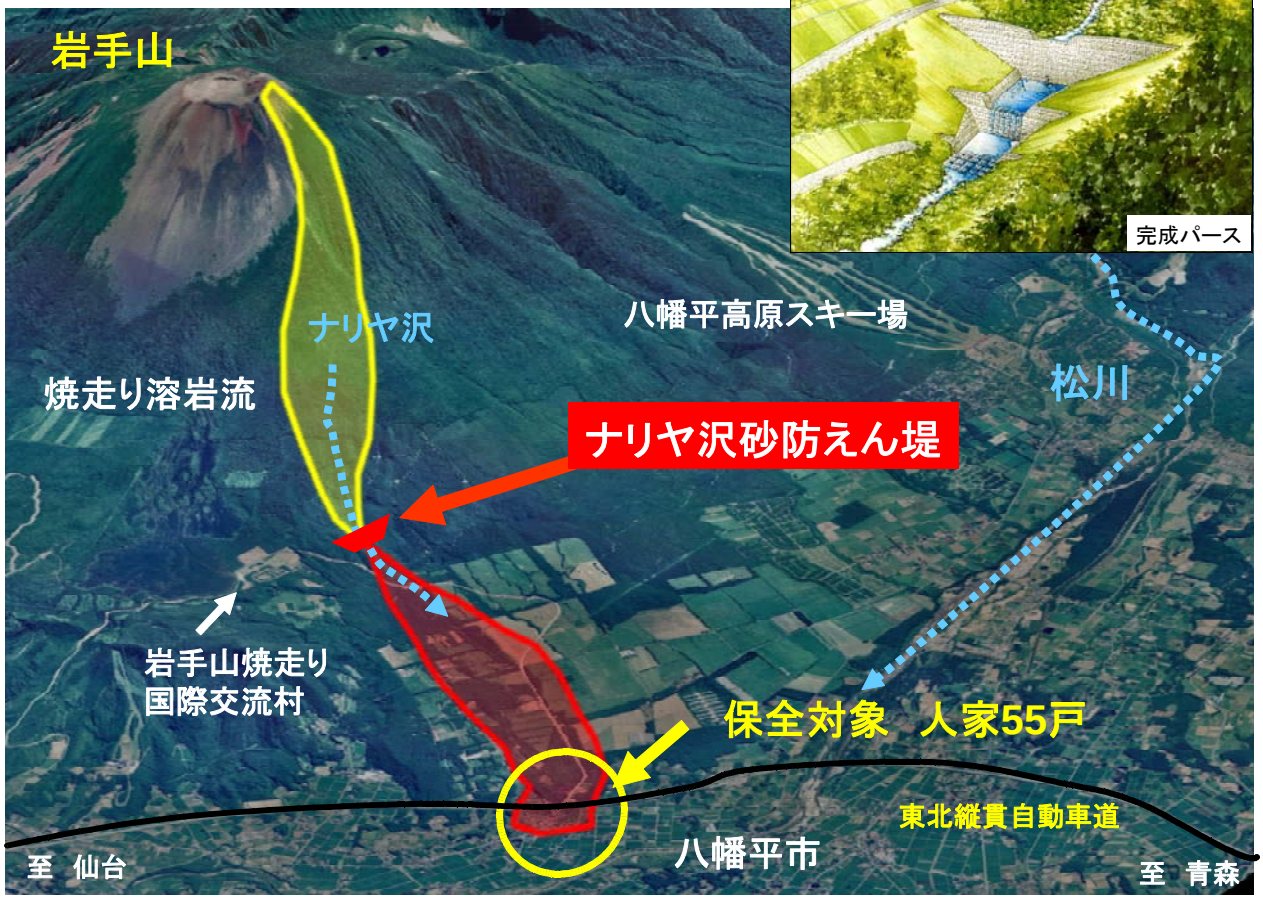
ナリヤ沢は、岩手山噴火後の土石流対策として、下流の東北縦貫自動車道及び人家55戸等を土砂災害から守るため、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

○構造：コンクリート重力式
○えん堤高・延長：H=14.5m　L=71.0m
○整備土砂量：63,000m3



－ナリヤ沢流域－



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：33百万円
○砂防えん堤建設のための用地取得

事　業　効　果

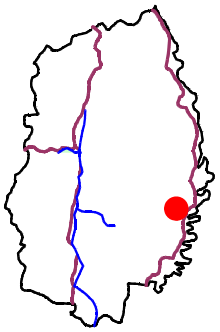
○土砂災害から重要交通網の東北縦貫自動車道及び人家55戸等を保全します。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	箱崎東の沢通常砂防事業（補助：事業主体　岩手県） （岩手県釜石市）
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

箱崎東の沢は、岩手県釜石市に位置し、保全対象として人家72戸、郵便局、児童館、箱崎東部漁協、市道、避難路等を抱えており、**平成17年3月に土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定された**土石流危険渓流です。

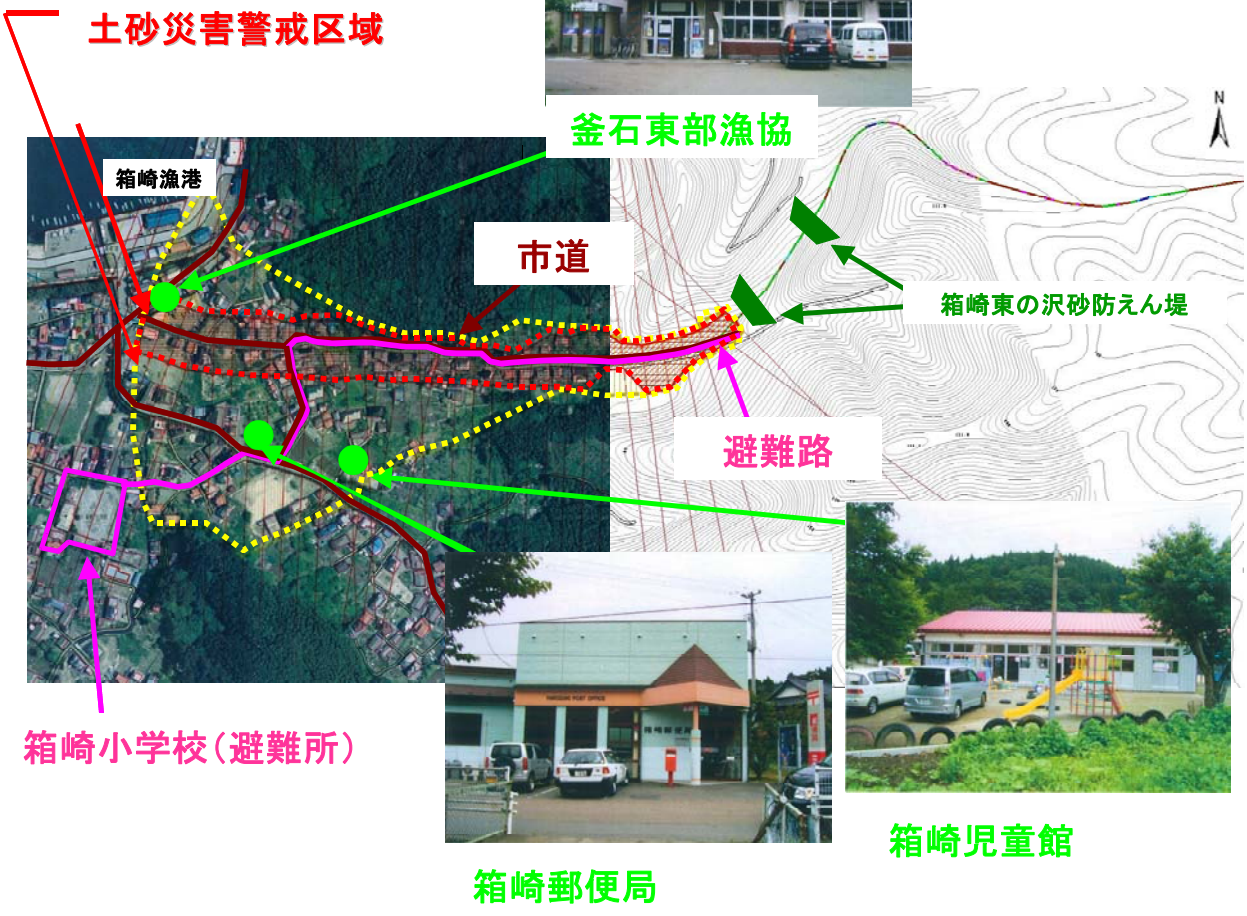
釜石市では、**平成14年の台風6号**により死者を出すなど甚大な被害を被っていることから、地域の土砂災害に対する意識が高く、特に保全人家の多い渓流において早急に砂防施設を整備することにより、土砂災害に対する安全の確保を図る必要があります。

「事業の概要」

○全体事業内容

えん堤工2基





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：20百万円

○詳細設計・地質調査を実施します。

事　業　効　果

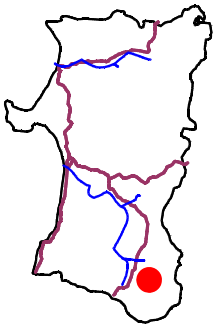
○人家72戸、郵便局、児童館、箱崎東部漁協、市道、避難路を土砂災害より防御します。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	戸沢（とざわ）地区急傾斜地崩壊対策事業（補助：事業主体　秋田県） （秋田県湯沢（ゆざわ）市）
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

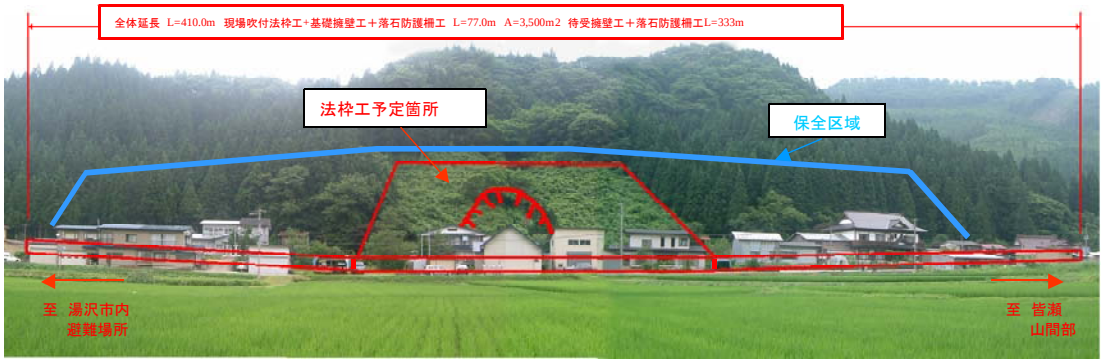
湯沢市戸沢地区に位置する当該箇所は、民家13戸及び県道稲庭関口線を保全対象に含む急傾斜地です。

平成16年7月に発生した集中豪雨により、人家裏の斜面が崩落し、今後も引き続き斜面崩落の恐れがあることから、早急な対策工事が求められております。また、保全区域内の県道は、避難路として指定されており、通勤通学時の主要の交通ルートであることから、安全性の確保を求められています。そのため、周辺斜面も含めた対策工事を実施し、土砂災害による被害を未然に防止する必要があります。

「事業の概要」

○全体延長　L=410.0m　　現場吹付法枠工＋基礎擁壁工＋落石防護柵工　L=77.0m　A=3,500m2
待受擁壁工＋落石防護柵工　L=333.0m

対策斜面全景

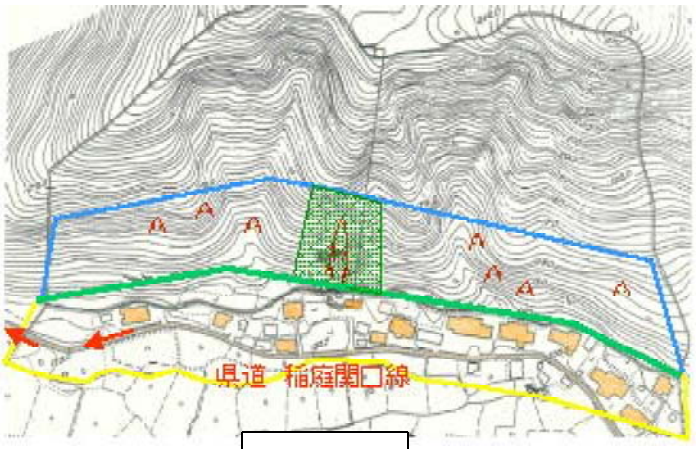




←区域内の斜面崩壊の状況



至湯沢市 避難場所



平　面　図

←不安定土砂の堆積状況（平成16年7月災害）

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：45百万円
○崩落が著しい箇所の擁壁工を実施します。

事　業　効　果

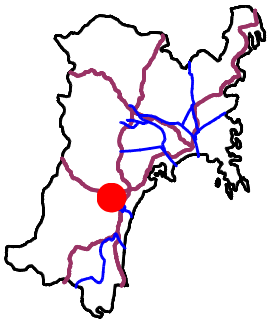
○民家13戸、県道を土砂災害から守ります。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	片平町（かたひらちょう）の１急傾斜地崩壊対策事業（補助：事業主体　宮城県） （宮城県仙台市青葉区（せんだいしあおばく））
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

本地区は、仙台市青葉区の中心部に位置しており、145世帯の住む大型マンション3棟があります。斜面は風化が進んでおり、平成15年の地震により小崩落が発生しており、今後さらなる斜面風化の進行により一層危険な状態が予想されるため、急傾斜地施設の整備により土砂災害に対する安全の確保が必要となっています。

「事業の概要」

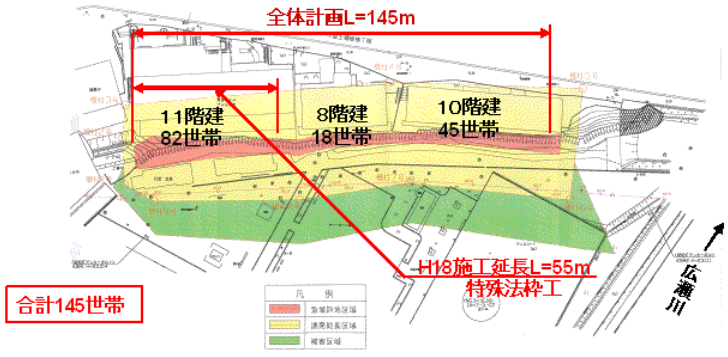
○全体事業内容
施工延長L=145.0m　特殊法枠工A=1，700m2

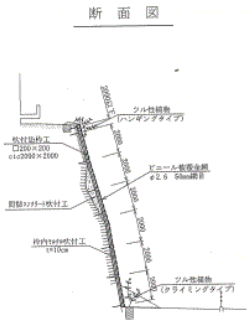






H15地震時小崩落





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：40百万円
○施工延長L=55.0m　特殊法枠工A=650m2を実施します。

事　業　効　果

○マンション3棟（145世帯）等をがけ崩れから保全します。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

制度名	GPS波浪計を活用した沖合波浪（津波）観測網の整備　（直轄） （岩手県、宮城県）

制度着手：平成18年度

制度の必要性・事業の概要

「制度の必要性」

港湾整備に必要な波浪条件の精度を高め、設計、施工の更なる効率化を図るためには、沖合での、より正確な波浪観測が必要となっています。

一方、東北地方は過去に幾度となく津波の被害に見舞われ、尊い人命・財産が失われており、津波情報の早期把握や情報伝達などが地域の課題となっています。人口や産業が集積する臨海部においては、非常時の物流機能と背後地域の安全と安心を確保する必要があります。特に、切迫する宮城県沖地震や、過去に大災害をもたらしている三陸沖を震源とする地震による津波に対しては、湾口防波堤や防潮堤等の整備のみならず、津波観測情報の高度化が求められています。

「制度の概要」

GPS波浪計を用いた沖合波浪情報の収集・分析・提供を実施し、港湾整備に必要な海象情報を取得します。

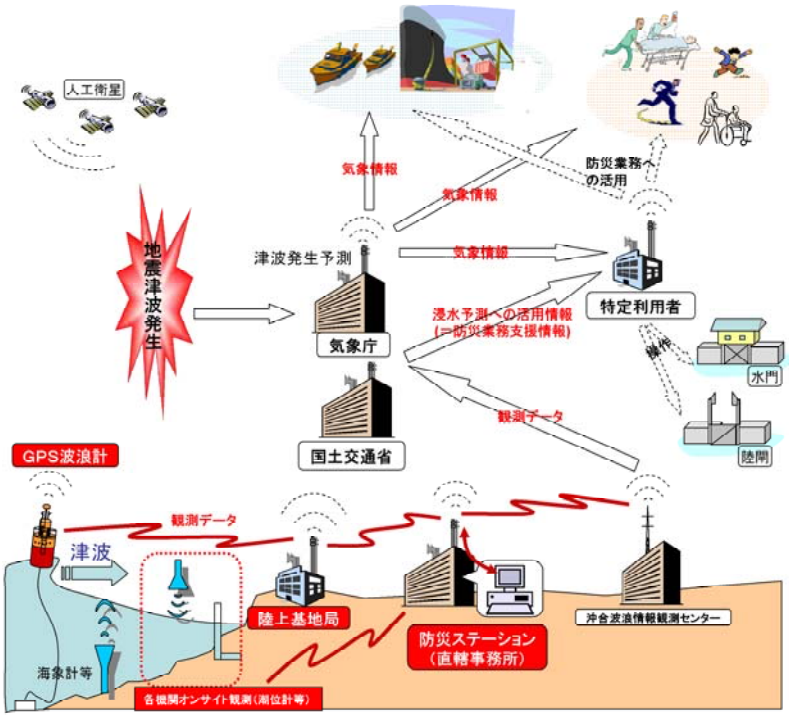
GPS波浪計を沖合に整備することで、地震発生時には、津波情報を港湾への到達の数分から10分程度前に観測して、関係機関等と連携することにより、港湾を含む沿岸域での迅速な津波対策に活用できます。



▲波浪（津波）観測のイメージ



▲GPS波浪計



▲津波早期警戒システムのイメージ

平成18年度実施内容

○実施内容：GPS波浪計を岩手県南部沖（釜石港沖）に1基、宮城県中部沖（牡鹿半島沖）に1基設置し観測網の整備促進を図ります。

制　度　効　果

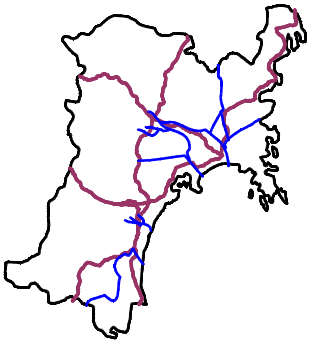
○GPS波浪計を用いた沖合波浪（津波）観測網の整備により、沖合波浪（津波）観測情報の高度化及び地域の津波防災力向上を図ることが可能となります。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	住宅・建築物耐震改修等事業・地域住宅交付金　（補助：事業主体　仙台市） （宮城県仙台市）
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

近い将来、高い確率で発生するといわれる宮城県沖地震等の被害を軽減することにより、住民の安全確保と復旧費等の軽減を目指すため、各方面において緊急的に対策が進められています。特に密集住宅市街地における未耐震化の住宅や緊急輸送道路沿道の建築物は、万が一倒壊した場合に道路等を閉塞し、避難や救出活動等の支障となる危険性があります。

また、震災時の防災拠点施設や避難施設として位置づけられている建築物については、その目的を果たす性能を確保するため早急に耐震化を進める必要があります。

「事業の概要」

①住宅耐震診断事業

旧耐震基準（昭和５６年建築基準法改正以前）で建築された戸建住宅及びマンションを対象に耐震診断に対する助成を行います。

（対象：仙台市全域の戸建住宅１，０００戸、共同住宅（マンション含む）７５棟）

②緊急輸送道路沿道建築物の耐震改修事業

地域防災計画において位置付けられた緊急輸送道路沿道の建築物のうち、旧耐震基準（昭和５６年建築基準法改正前で建築されたものについて、耐震診断に基づき必要な耐震補強を行います。

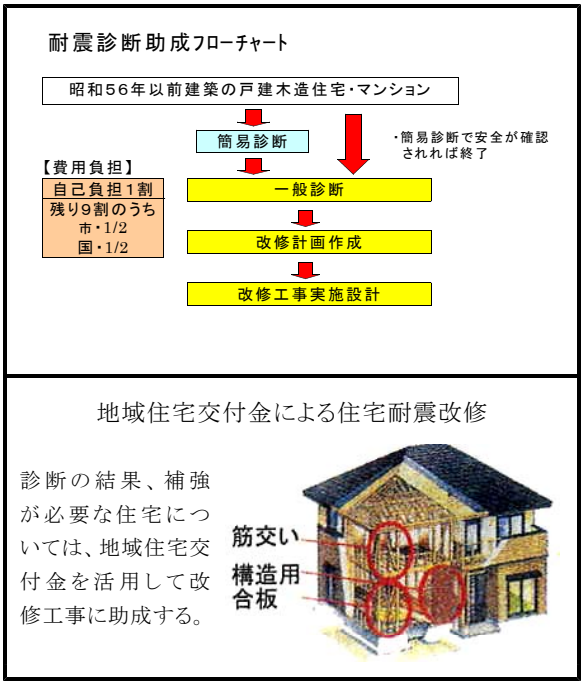




【H15宮城県北部連続地震で被災した小学校と住宅】



【耐震補強工事を実施する仙台市役所本庁舎】



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：３７０百万円

○仙台市役所本庁舎は、平成１８年度に着手し、平成１９年度の完成を図ります。

事　業　効　果

○安全・安心のまちづくりへの寄与と地震による家屋被害の減少が図られます。

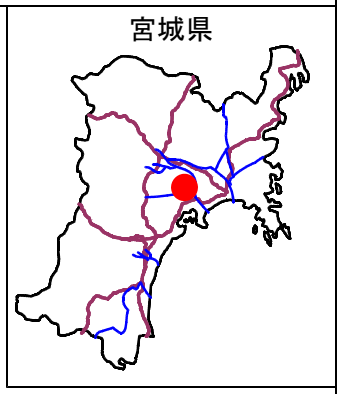
○緊急輸送路沿道の防災拠点施設の耐震性向上による安全性が確保されます。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	鳴瀬川下志田地区直轄河川改修事業（二線堤）〔直轄〕 （宮城県志田郡鹿島台町）

事業着手　：　平成 2 年度	完成・供用の目標年度　：　平成18年度概成予定

事業の必要性・事業の概要



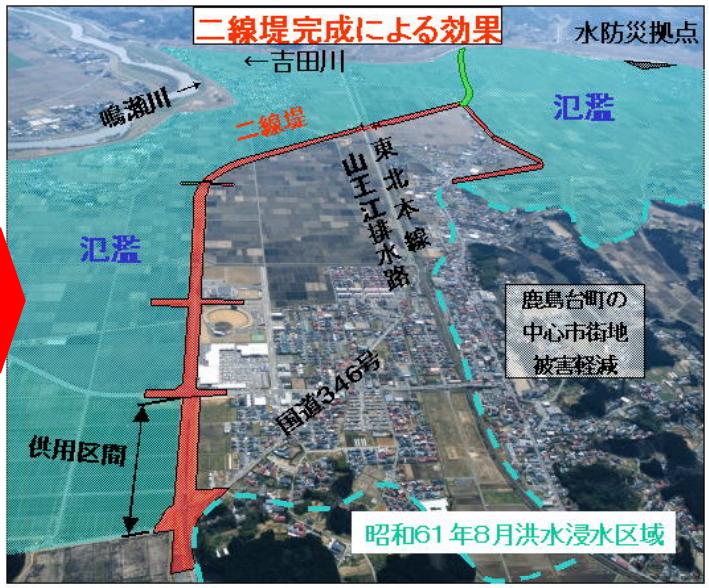
「事業の必要性」

下田地区は、旧品井沼を中心とした閉鎖型の低平地であることから、昔から水害に悩まされてきた地域です。昭和61年8月洪水では吉田川が破堤し、鹿島台町など中心市街地が水没し、都市機能が失われる大きな被害を受けました。このような地域の壊滅的被害を防止し、被害を最小限にとどめる対策が必要となっています。

「事業の概要」

地域の壊滅的被害を防止し、被害を最小限にとどめる事の出来る「水害に強いまちづくり事業」の一環として、国及び県が共同で二線堤（国道346号バイパスも兼用）の整備を実施しています。H18年度には二線堤を概成させ、治水効果を発現させます。





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：747百万円
○平成18年度は樋管ゲートの製作・据付（5基）を行い、二線堤を概成させます。また、国道346号バイパス整備に伴う、JR跨線橋地盤改良を実施し、早期供用開始に向け、事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

○二線堤の整備により、成瀬川・吉田川が破堤しても二線堤内の家屋858戸（面積231ha）が洪水被害から解消されます。

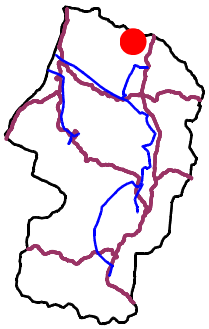
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	最上川水系直轄砂防事業　朴木沢（ほおきさわ）第二砂防えん堤（直轄） （山形県最上（もがみ）郡真室川（まむろがわ）町）

事業着手：平成11年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県

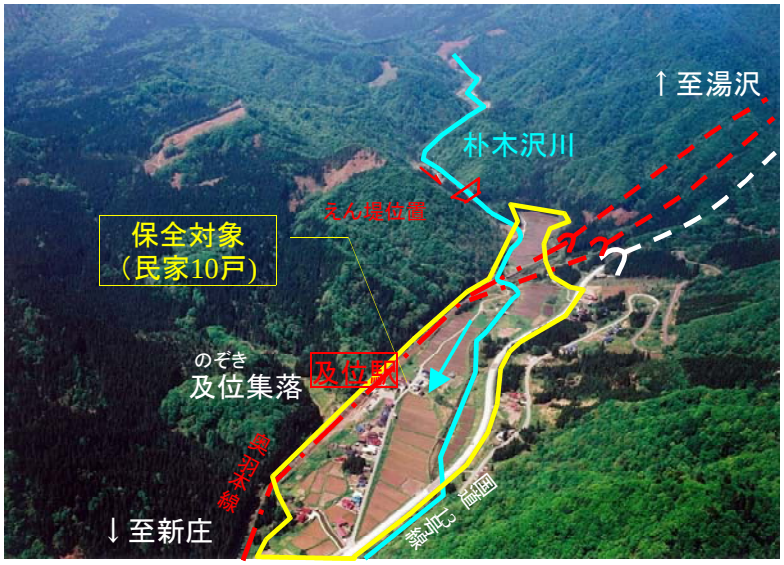


「事業の必要性」

鮭川流域においては昭和50年8月の記録的な災害を契機に再度災害防止のために順次施設整備を進めています。当該箇所は、下流に集落や重要交通網（JR奥羽本線、国道13号）の保全対象を有し、早急に土砂災害の安全度を向上させる必要があります。

「事業の概要」

○構造：重力式コンクリートスリット
○えん堤高・延長：H=12.0m　L=136.5m
○整備土砂量：86,200m3




JR奥羽本線昭和50年災害状況




昭和50年災害土砂崩れ箇所

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：202百万円
○砂防えん堤の完成を図ります。

事　業　効　果

○土砂災害から下流民家（10戸）及び重要交通網（JR奥羽本線、国道13号）を保全します。

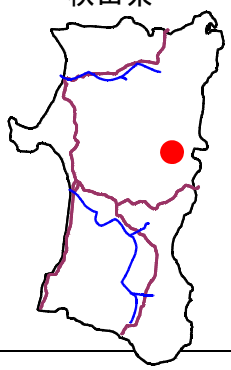
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	八幡平山系直轄火山砂防事業　田沢沢川第一砂防えん堤（直轄） （秋田県仙北市）

事業着手：平成15年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県

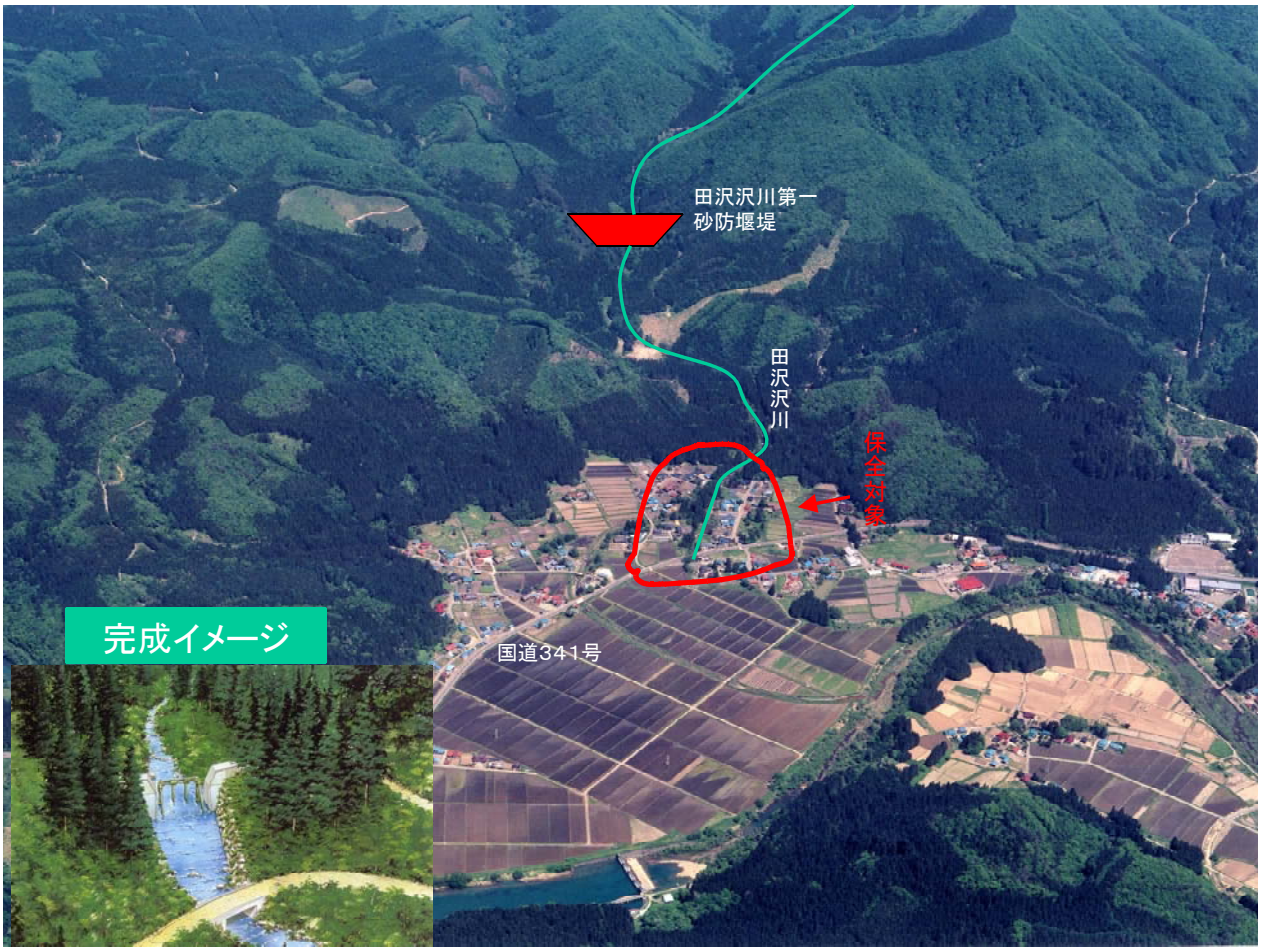


「事業の必要性」

田沢沢川は土石流危険渓流の一つであり、その上流域は荒廃が進み、既設砂防えん堤は満砂の状態で土石流の危険性が高まっており、早期の対策が必要となっています。

「事業の概要」

○構造：鋼製スリット
○えん堤高・延長：H=6.0m　L=53.5m
○整備土砂量：1,600m3



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：125百万円
○砂防えん堤の完成を図ります。

事　業　効　果

○土砂災害から下流民家（34戸）、国道341号を保全します。

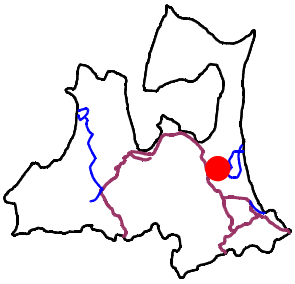
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	七戸川（しちのへがわ）鉄道橋・道路橋緊急対策事業（補助） （青森県上北郡東北町、七戸町）

事業着手：平成14年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県

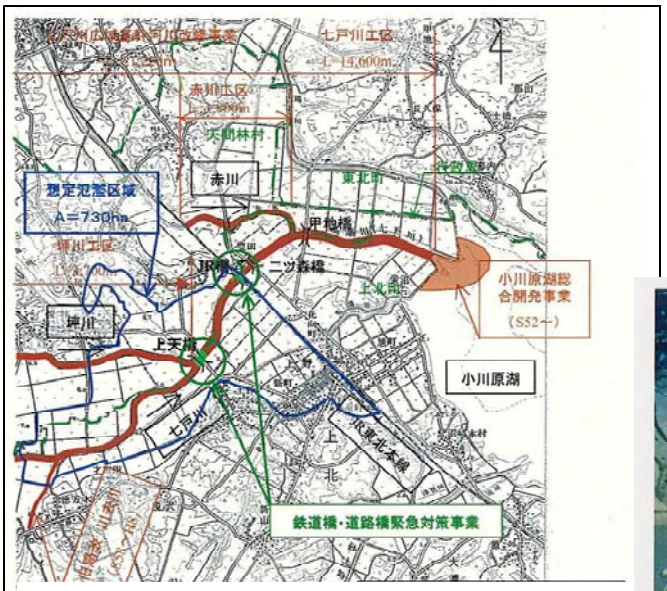


「事業の必要性」

七戸川の3.45km地点に位置するJR東北本線の鉄道橋及び4.8km地点に位置する上天橋がボトルネックとなっており（計画高水流量1,600m3/sに対して鉄道橋が約30%、道路橋が約40%の流下能力となっている）、治水安全度の向上を図る必要がある。

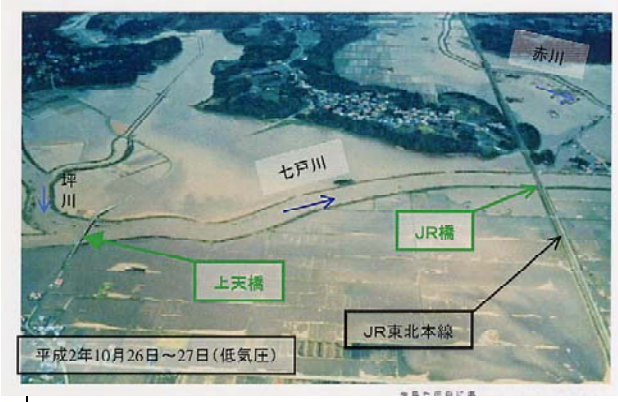
「事業の概要」

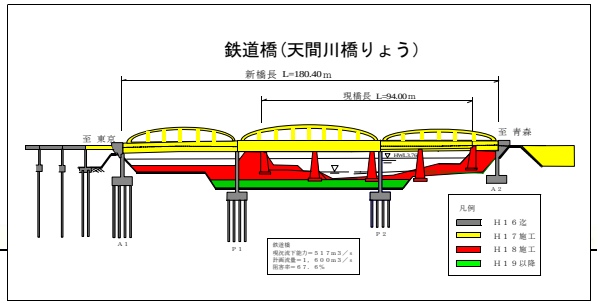
治水安全度の向上のため、鉄道橋及び道路橋の架替を実施します。



被災履歴

発生年月日	浸水面積（ha）	浸水家屋数（戸）
H2.10.26～27	1,901	833
H5.10.26	435	137
H10.9.30～H10.10.2	455	140







平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：　580百万円
○平成18年度は、鉄道橋を実施し、事業の完成を図ります

事　業　効　果

○鉄道橋及び道路橋の架替を完了させ、治水上のネック箇所を解消し、氾濫区域内の住宅643戸の浸水被害を軽減させます。

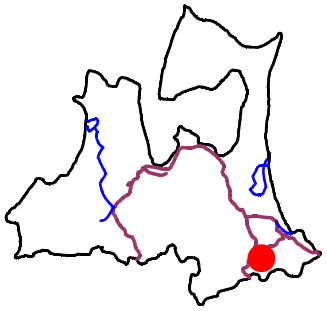
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	馬淵川水防災対策特定河川事業（補助） （青森県南部町）

事業着手：平成14年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



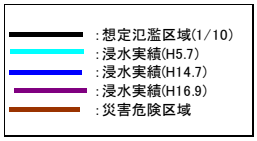
「事業の必要性」

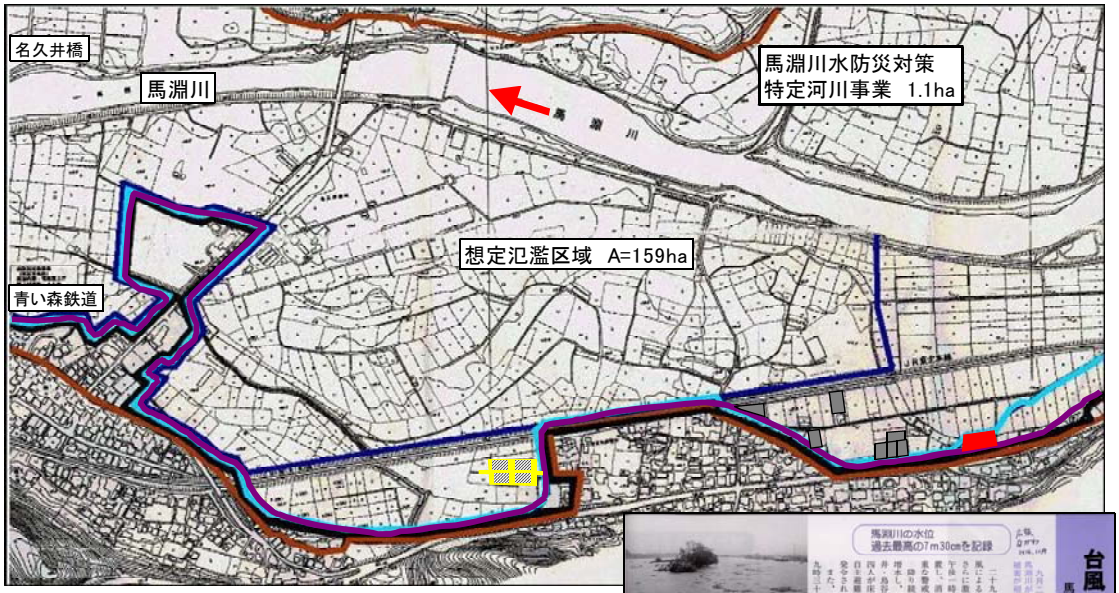
一級河川馬淵川は、S62、H2、H5、H11と立て続けに氾濫し、緊急に治水対策を実施する必要があります。しかし、通常の築堤方式による改修では、多大な費用と期間が必要となります。効率的に短期間で浸水常襲地域の名川町虎渡地区を洪水から守るため、当該地区の宅地嵩上げを実施し、洪水被害を未然に防止します。

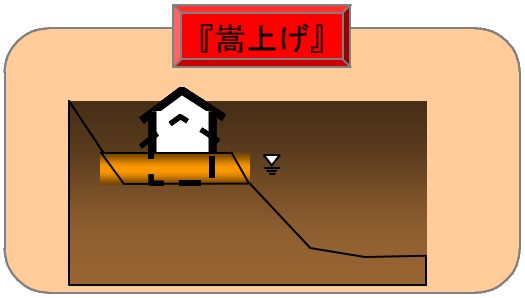
「事業の概要」

治水安全度の向上のため、13戸の宅地嵩上げを実施します。

虎渡地区	被害状況			要因
	床上	床下	合計	
H5.7.27	26戸	12戸	38戸	豪雨
H16.9.30	2戸	4戸	6戸	台風









平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：　76百万円
○平成18年度は、3戸の嵩上げを実施し、事業の完成を図ります

事　業　効　果

○人家13戸の浸水被害を解消します。

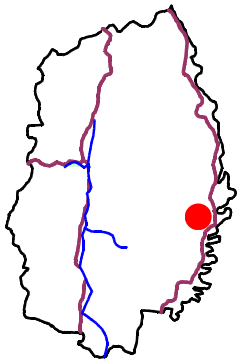
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	小槌川（こづちかわ）地震・高潮等対策河川事業（補助） （岩手県大槌町）

事業着手：平成3年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



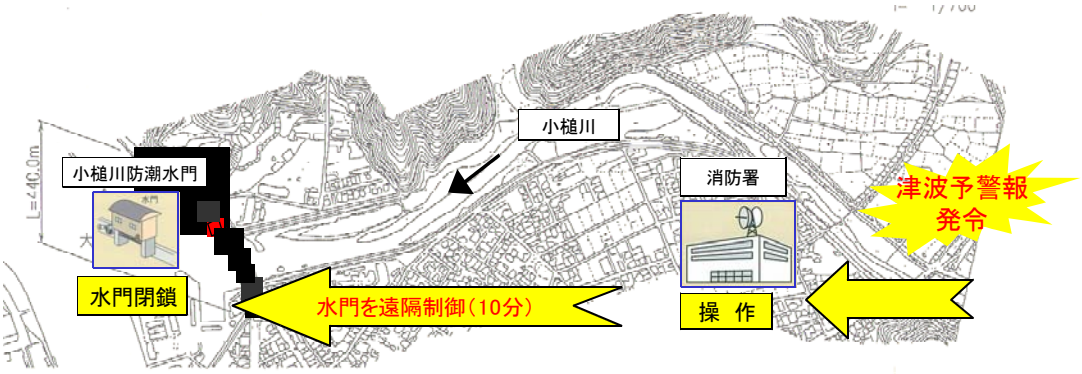
「事業の必要性」

岩手県三陸沿岸地域は、明治29年・昭和8年に発生した三陸津波、昭和35年のチリ地震津波により、多数の人的被害、家屋破損等の甚大な被害を受けていることから、県内で最も津波被害が危惧されています。

このため、河口部に防潮水門（遠隔操作化）を整備し、津波の河川遡上による浸水被害を軽減し、民生の安定を図る必要があります。

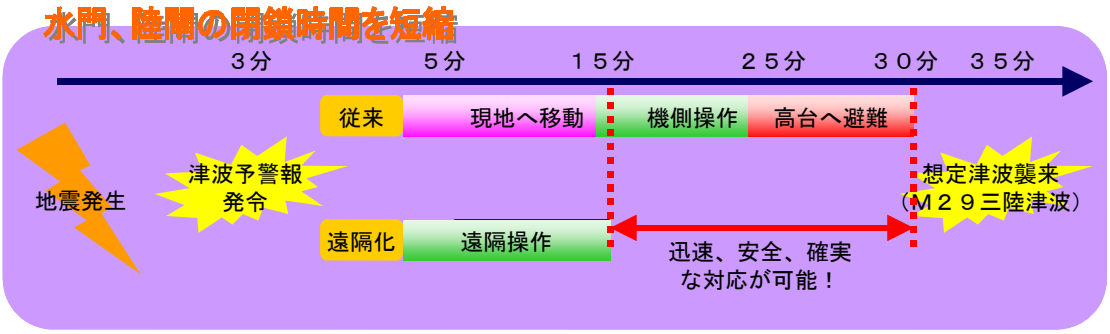
「事業の概要」

津波被害軽減を図るため防潮水門の整備、遠隔操作を実施する。









平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：　205百万円

○平成18年度は、防潮水門の遠隔操作化を実施し、事業の完成を図ります

事　業　効　果

○防潮水門の整備、遠隔操作化により、約2，500人の津波被害を防御するとともに、操作員の安全を確保します。

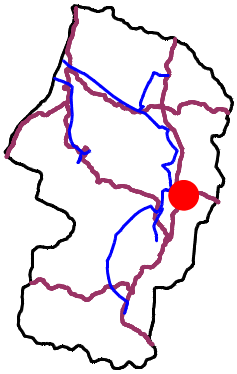
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	菰石川（こもいしがわ）鉄道橋・道路橋緊急対策事業（補助） （山形県山形市）

事業着手：平成14年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

既設の第一菰石川橋梁は、洪水疎通能力が不足しており、治水上のネック箇所となっています。局地的な大雨や集中豪雨時には、橋梁付近の農地や家屋への浸水が度々発生し、沿川住民の生活に不安を与えている状況であり、鉄道橋梁の改築とその前後の河川改修を実施し、治水安全度の向上を図る必要があります。

「事業の概要」

治水安全度の向上のため、鉄道橋の架替、河道掘削・護岸、落差工等を実施します。

▼菰石川上流より下流村山高瀬川合流点までを望む



▼下流よりＪＲ橋（第一菰石川橋梁）を望む



▼家屋浸水状況（H10.9.16撮影）



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：　470百万円
○鉄道橋（ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ）を実施し、事業の完成を図ります。

事　業　効　果

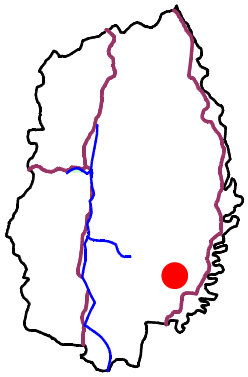
○鉄道橋を含め、一連区間を完了させ、治水上のネック箇所を解消し、氾濫区域内の住宅228戸の浸水被害を軽減させます。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	鷹生（たこう）ダム建設事業（補助：事業主体　岩手県） （岩手県大船渡市）
事業着手：平成元年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

鷹生ダムは、盛川（さかりがわ）の支川鷹生川（たこうがわ）に建設中の、洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給を目的とした多目的ダムです。

盛川沿川では、過去、洪水被害や渇水による水道の給水制限などが発生しています。

鷹生ダムによって洪水被害や、渇水を防ぐことで、安全で安心できる地域づくりを行います。

「事業の概要」

全体計画

ダム形式	：	重力式コンクリートダム
ダム高	：	77.0 m
堤頂長	：	322.0 m
堤体積	：	32.8 万m3
総貯水容量	：	968.0 万m3

進捗状況

平成11～12年度	堤体基礎掘削
平成12～16年度	コンクリート打設
平成17年度	試験湛水を開始



流域概要図

平成14年7月洪水(大船渡市長安寺地区)



鷹生ダム(上空より、平成17年9月15日)



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：　2，750百万円

○試験湛水を完了させるとともに、植栽工などのダム周辺環境整備を実施し、ダム建設事業の完成を図ります。

事　業　効　果

○洪水の際、ダムに流入する330m³/秒のうち300m³/秒をダムに貯めて盛川（さかりがわ）沿川地域の水害を防ぎます。

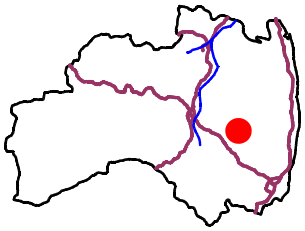
○1日あたり4,630m³の水を上水道へ供給します。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	こまち生活貯水池建設事業（補助：事業主体　福島県） （福島県田村郡小野町）
事業着手：平成6年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



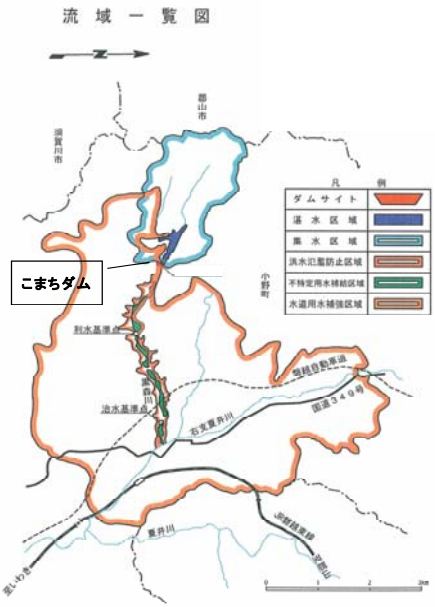
「事業の必要性」

こまちダム（生活貯水池）は、夏井川水系右支夏井川の支川黒森川に建設中の、洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給を目的とした多目的ダムです。

黒森川沿川では、過去に台風や集中豪雨による洪水被害を受けている一方で、夏期に給水車による給水を行うなど渇水被害も発生しております。

こまち生活貯水池によって洪水被害や、渇水を防ぐことで、安全で安心できる地域づくりを行います。

流域一覧図



「事業の概要」

全体計画

ダム型式	：	重力式コンクリート
ダム高	：	37.0m
堤頂長	：	150.0m
堤体積	：	3.0　万m3
総貯水容量	：	77.2　万m3

進捗状況

平成15年度	本体工着手
平成15～16年度	堤体基礎掘削
平成16～17年度	コンクリート打設

平成2年9月出水（小野町菖蒲谷地内）



こまちダム（上流右岸より、H18.2.28撮影



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：　1，100百万円

○試験湛水を開始し、完了させるとともに植栽工・園路工などのダム周辺環境整備等を実施し、ダム建設事業の完成を図ります。

事　業　効　果

○洪水の際、ダムに流入する50m³/秒のうち40m³／秒をダムに貯めて黒森川沿川地域の水害を防ぎます。

○1日あたり1,500m3の水を上水道へ供給します。

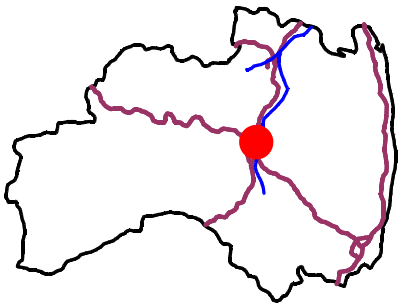
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	一般国道4号　亀田大橋震災対策（直轄） （福島県郡山市）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成18年度着手完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

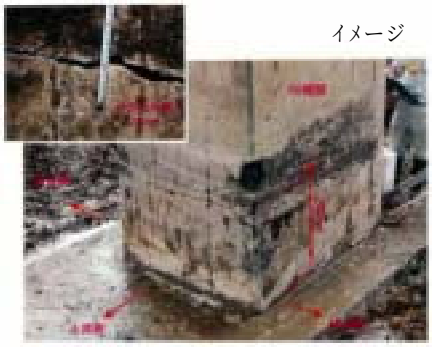
一般国道4号亀田大橋は、一般国道49号及び亀田川を横架する橋長280mの長大橋であり、福島県内陸地域を南北に縦貫する区間にあり、緊急輸送道路に指定されています。

当該橋梁は、近年、大規模地震の発生する確率が極めて高いこと等を踏まえ、地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な対応が求められています。

「事業の概要」

亀田大橋震災対策事業は、地震による落橋防止構造の設置、及び巻き立てによる橋脚の補強を行い、橋梁の耐震性の向上を図るため、平成18年度より事業に着手します。

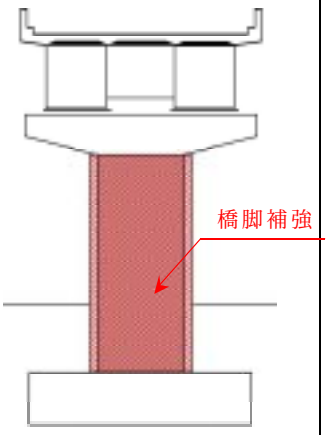
▼震災により被災した橋脚



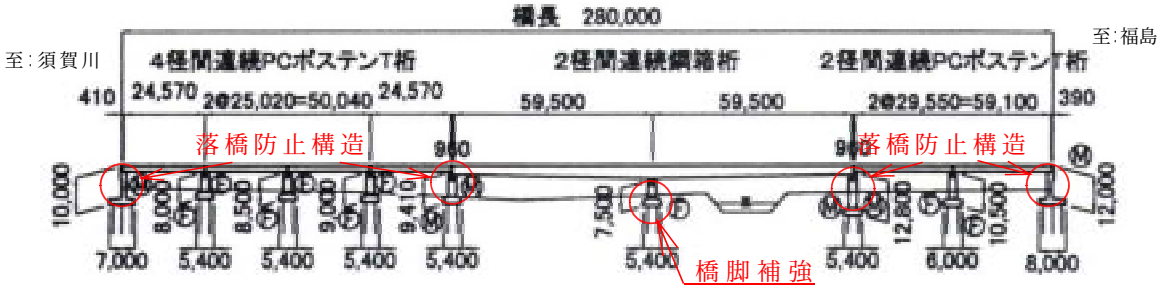
▼亀田大橋全景



▼補強の概要（断面図）



▼補強の概要（側面図）





【橋梁震災対策のイメージ】

◀橋脚補強の実施例

落橋防止構造の実施例▶



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：112百万円

○橋脚補強の整備を推進し、亀田大橋の震災対策の完了を図ります。

事　業　効　果

○橋梁の耐震性能の向上によって、緊急輸送道路ネットワークの確保を図ります。

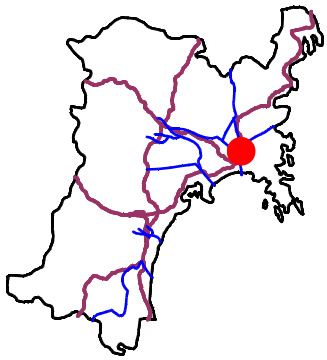
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名　一般国道45号　新飯野川橋震災対策（直轄）
（宮城県石巻市）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成18年度着手完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

一般国道45号新飯野川橋は、一級河川北上川に架橋された橋長442mの長大橋であり、宮城県沿岸地域を南北に縦貫する区間にあり、緊急輸送道路に指定されています。

当該橋梁は、今後高い確率で発生するとされている宮城県沖地震の影響地域に属しており、地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な対応が求められています。

「事業の概要」

耐震補強3箇年プログラム(H17～19)に基づき、地震による落橋防止構造の設置、及び巻き立てによる橋脚の補強を行い、橋梁の耐震性の向上を図るものです。

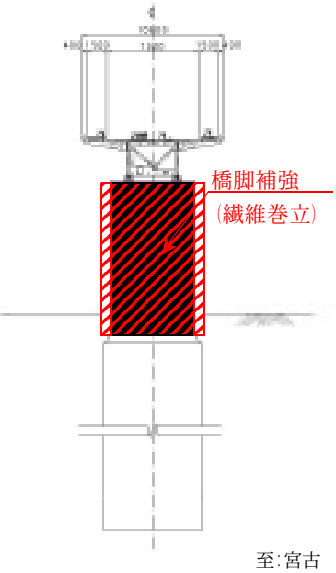
▼震災により被災した橋脚



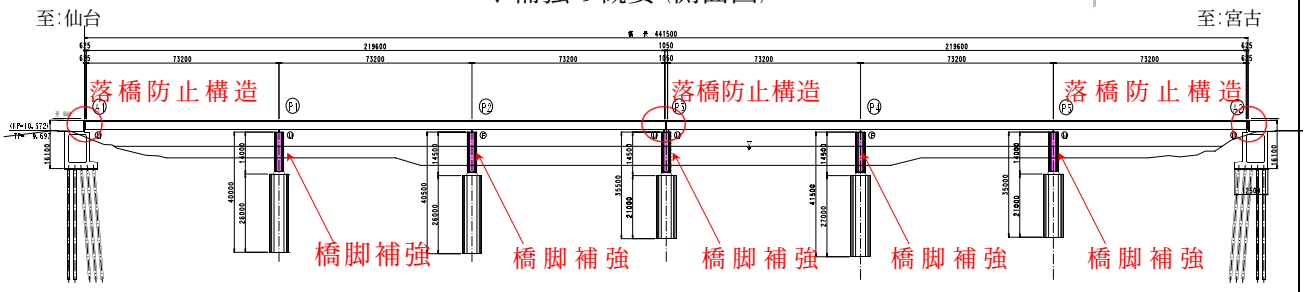
▼新飯野川橋全景



▼補強の概要（断面図）



▼補強の概要（側面図）



【橋梁震災対策のイメージ】



◀橋脚補強の実施例

落橋防止構造の実施例▶



平成18年度の事業費及び事業内容

○事業費：51百万円
○落橋防止装置及び橋脚補強の工事を実施し、新飯野川橋の震災対策の完了を図ります。

事　業　効　果

○橋梁の耐震性能の向上によって、緊急輸送道路ネットワークの確保を図ります。

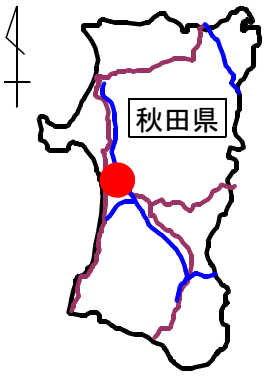
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	一般国道13号　新旭橋（しんあさひばし）震災対策（直轄） （秋田県秋田市（あきたし））

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成18年度着手完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

一般国道13号新旭橋は、雄物川水系旭川に架橋された橋長133.8mの河川橋であり、秋田県内陸部を南北に縦貫する区間にあり、緊急輸送道路に指定されています。

当該橋梁は、近年、大規模地震の逼迫性が指摘されていること等を踏まえ、地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な対応が求められています。

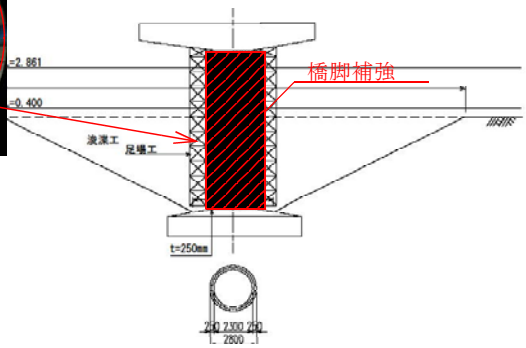
「事業の概要」

新旭橋震災対策事業は、地震による橋脚の倒壊を防止する「橋脚の巻き立て補強」を行い、橋梁の耐震性の向上を図るため、平成18年度より事業に着手します。

▼新旭橋全景

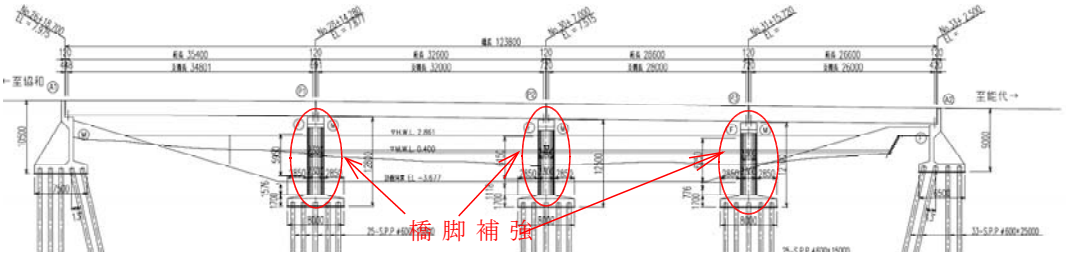


▼補強の概要（断面図）



▼補強の概要（側面図）

至：仙台　　至：宮古



【橋梁震災対策のイメージ】

橋脚補強の実施例▶



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：158百万円

○橋脚補強の整備に着手し、新旭橋の震災対策の完了を図ります。

事　業　効　果

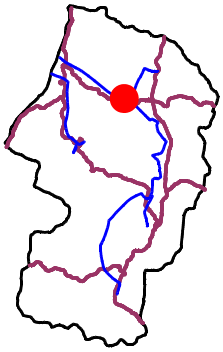
○橋梁の耐震性能が向上によって、緊急輸送道路ネットワークの確保を図ります。

事業名	一般国道47号　蔵岡（くらおか）地区法面防災対策（直轄） （山形県最上郡（もがみぐん）戸沢村（とざわむら））

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成18年度着手完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



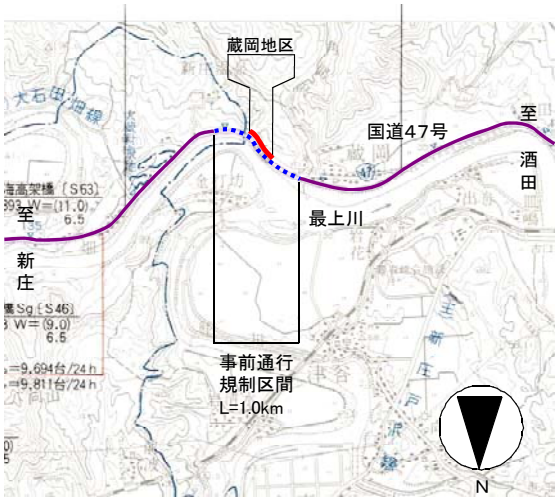
「事業の必要性」

一般国道47号蔵岡地区は、河川と並行した急峻な地形に位置し、降雨による斜面の崩壊の危険性が高く事前通行規制区間（L＝1．0km、連続雨量150mm)に指定されてます。平成8年度に実施した道路防災点検の結果では「要対策」箇所として抽出されており、一般交通の安全確保に向けた対策が必要な箇所です。

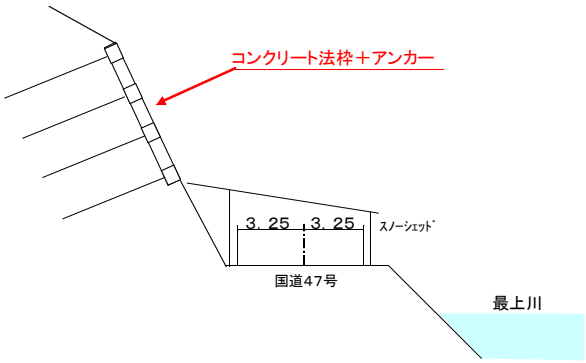
「事業の概要」

落石の危険がある箇所についてコンクリート法枠及びアンカー工を実施し、道路法面の防災機能を高めます。

▼位置図



▼対策の概要



▼現況法面



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：300百万円
○コンクリート法枠及びアンカー工事などの防災対策の完成を図ります。

事　業　効　果

○道路の安全性が向上するとともに、事前通行規制区間の解消に必要な対策が完了します。
（※事前通行規制区間の解消については対策完了後に規制雨量を超過する降雨経験を踏まえた実証を基に判定。）

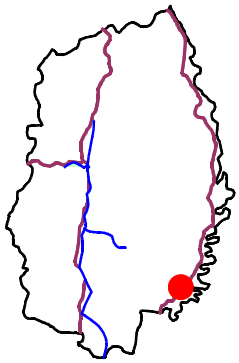
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	一般国道45号　鍬台（くわだい）トンネル補修（直轄） （岩手県大船渡（おおふなと）市～釜石（かまいし）市）

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県

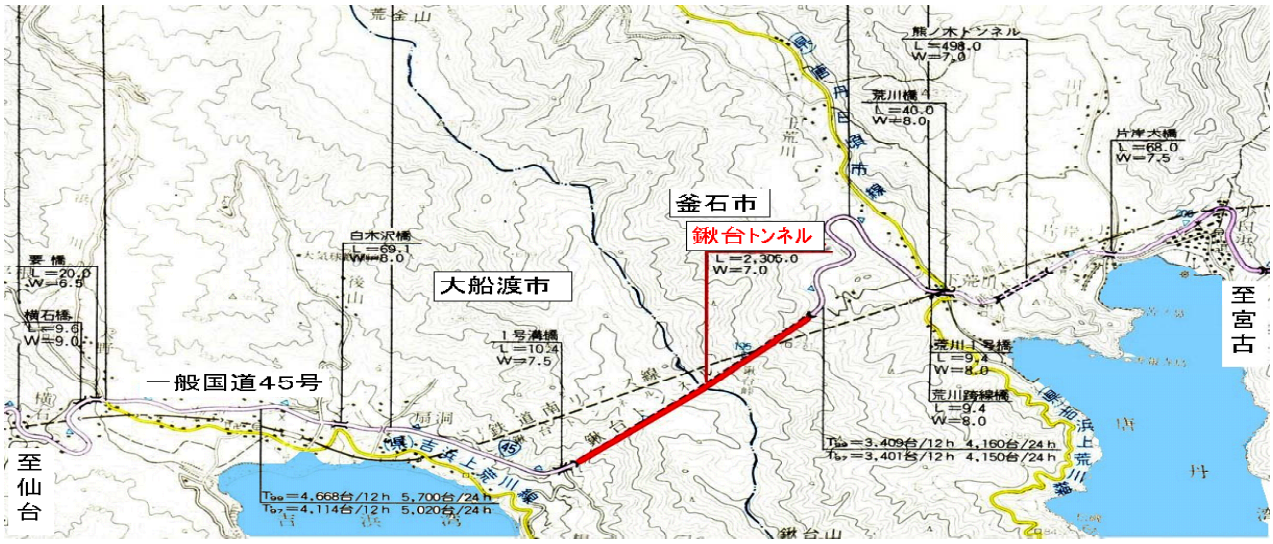


「事業の必要性」

一般国道45号鍬台トンネルは、岩手県大船渡市と釜石市の行政境を貫く全長2，305mの長大トンネルであり、建設から35年が経過し、**老朽化による覆工背面の空洞化、損傷などが認められ**、コンクリートはく離による事故の危険性があることから、一般交通の安全確保のために早急な補修が必要な箇所です。

「事業の概要」

平成16年度より**空洞部のモルタル充填、損傷箇所の断面補修等を実施**しており、平成18年度に補修を完了しトンネルの保全を図ります。



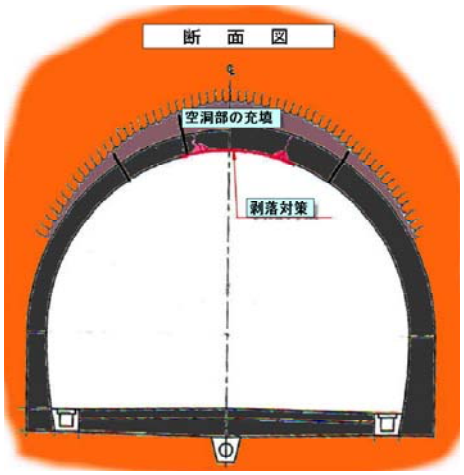
▼鍬台トンネル（大船渡側坑口）



▼老朽化による損傷状況



▼対策概要図



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：200百万円
○鍬台トンネルの補修工事を継続し、トンネル全体の補修の完了を図ります。

事　業　効　果

○鍬台トンネル全体が健全な状態となり、一般交通の安全性が向上します。

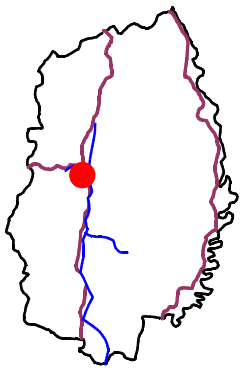
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	一般国道46号　館坂橋橋梁補修（直轄） （岩手県盛岡市）

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



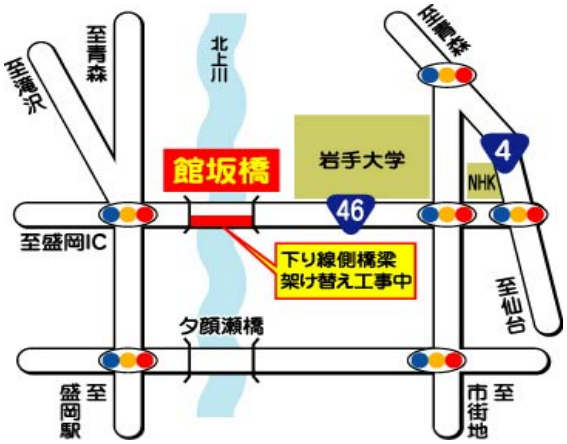
「事業の必要性」

一般国道46号の館坂橋（下り線）は、岩手県盛岡市中心部を流れる一級河川北上川を渡河する橋長68．5mの橋梁で、昭和27年に供用されてから50年以上経過しています。近年の交通量の増加や通行車両の大型化による老朽化が進行し大きな地震に耐えられない状況となっていることから早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

館坂橋（下り線）の架け替え事業は、早急に安全で安心な道づくりを進めるため、橋梁の安全向上を目的とした橋梁架け替え事業です。

▼ 位 置 図



▼ 現 況 図



▼ 橋脚部洗掘状況



＊現在は補強しています

▼ 完 成 予 定 図



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：170百万円
○平成18年度は、橋脚及び上部工の施工を完了し、12月に供用を図ります。

事業効果

○架け替えにより、地震時の安全性・信頼性が確保されます。
○歩道幅員が2．0mから4．0mに広くなることで、快適な歩行空間となります。
○架け替えにあわせて、上空の電線類を橋梁部に収めることにより、自然景観及び白鳥飛来地の環境が向上します。

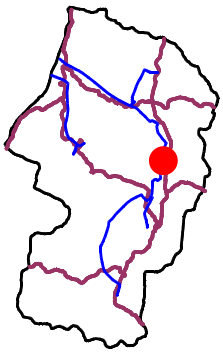
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	一般国道13号　村山大橋床版補修（直轄） （山形県村山市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

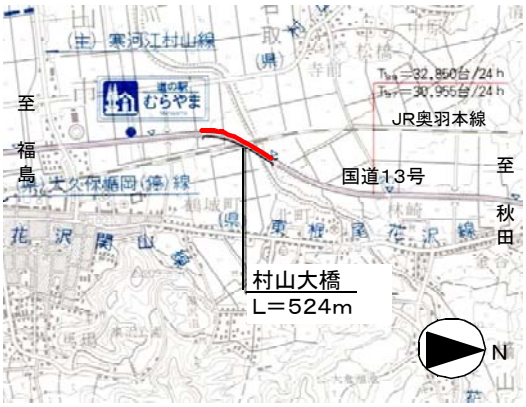
一般国道13号村山大橋は、JR奥羽本線、大旦川に架橋された橋長524mの長大橋です。

当該橋梁は架橋されてから31年が経過し、また交通量（32，850台／日、大型車混入率20．9%）が多いため、輪荷重の繰り返し作用により床版部コンクリートの疲労損傷が著しく、陥没が発生する可能性があります。今後、損傷が進行すれば安全な交通が確保出来なくなるため、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

村山大橋床版補修は、平成17年度より上り車線側の既設床版の補修工事を実施しており平成18年度に工事を完了し橋梁の保全を図ります。

▼位置図



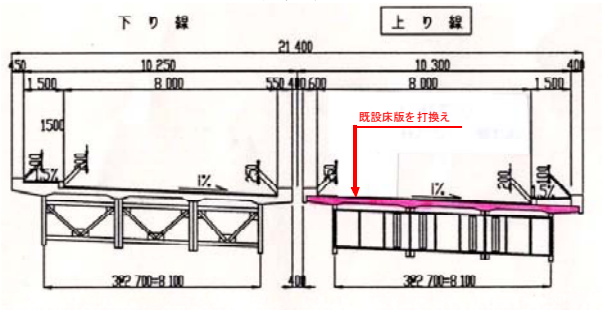
▼村山大橋全景（秋田側から福島方向を望む）



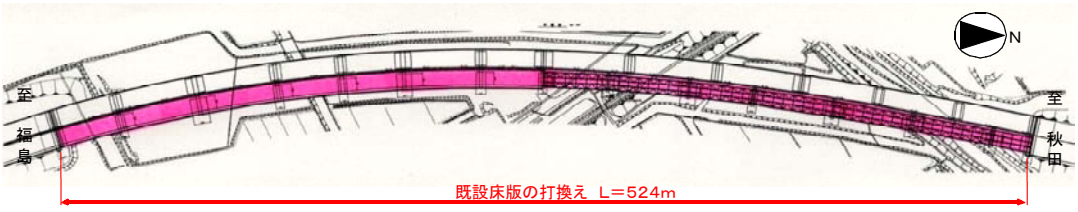
▼床版コンクリートの損傷状況



▼断面図



▼平面図



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：200百万円
○村山大橋の床版打換工事を完了し供用を図ります。

事　業　効　果

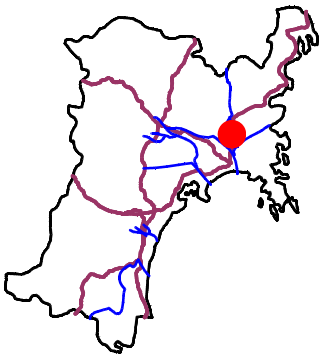
○橋梁補修の完成により橋梁が健全な状態となり、道路の安全性が向上します。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	三陸縦貫自動車道　一般国道45号　矢本石巻道路（直轄） （宮城県石巻市）
事業着手：昭和60年度	完成・供用の目標年度：平成18年度全線暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

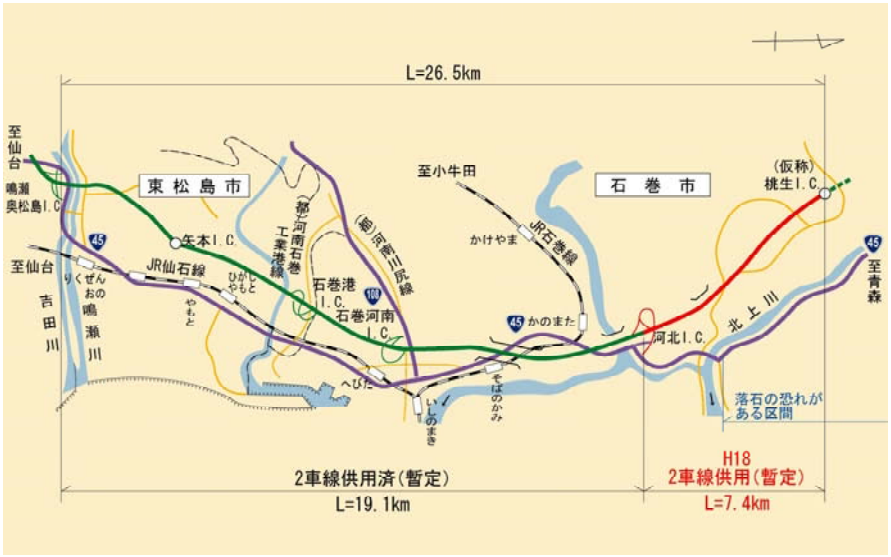


「事業の必要性」

矢本石巻道路は、南三陸沿岸地域を結ぶ道路であり、地域間の交流促進や地域の活性化のため必要となっています。

「事業の概要」

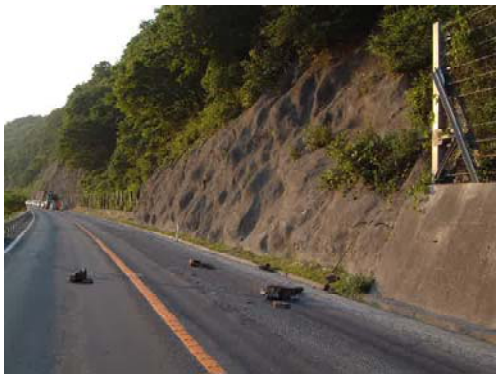
矢本石巻道路は、落石の恐れがある当該区間の代替機能を確保することで、より安全で信頼性の高い交通を確保するとともに、地域間の広域交流・連携に寄与することを目的をした、宮城県東松島市鳴瀬町～石巻市桃生町に至る延長26．5kmの高規格幹線道路です。





5号（石巻市成田）に隣接した法面状況

▲



▲国道45号への落石状況

国道４

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：3，477百万円
○河北IC～桃生IC（仮称）間L＝7．4kmについて、舗装及び付属施設工事を実施し、全線暫定2車線で供用を図ります。

事　業　効　果

○落石の恐れのある区間の代替機能が確保されることで、より安全で信頼性の高い交通の確保が図られます。

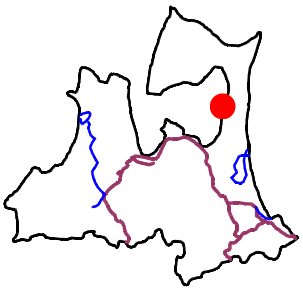
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	向平（むかいたいら）海岸局部改良事業（補助） （青森県上北郡横浜町）

事業着手：平成14年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県

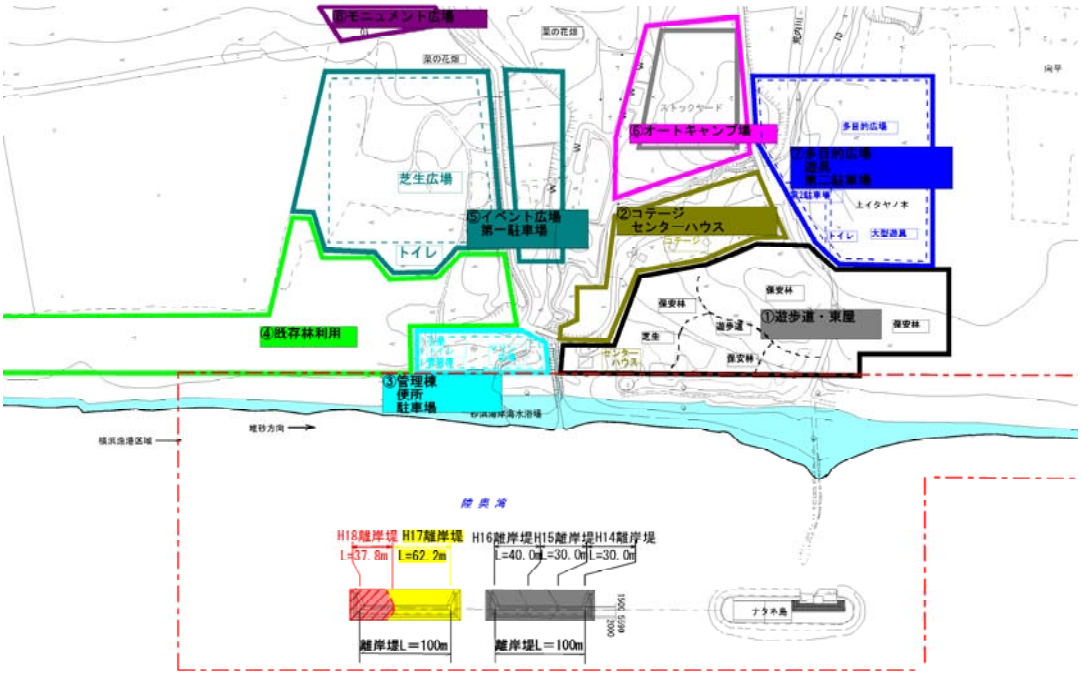


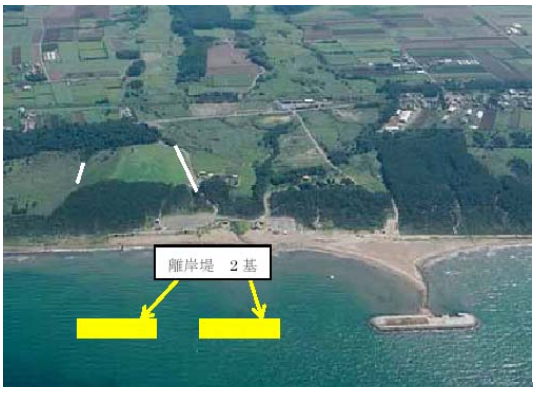
「事業の必要性」

向平海岸は、冬期波浪等による侵食が激しく、砂浜の減少と礫浜（れきはま）化が進んできたことから、離岸堤を整備し、波浪の低減を図るとともに、堆砂効果により砂浜の復元を促進します。また、背後地は町の地域振興計画に位置付けられた環境整備事業が実施されており、それら施設との一体的な利用が図られることにより、広域的な海岸利用を促進します。

「事業の概要」

越波被害を軽減するため、離岸堤を実施する。







平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：　６０百万円
○離岸堤Ｌ＝３７．８ｍを実施し、事業の完成を図ります

事　業　効　果

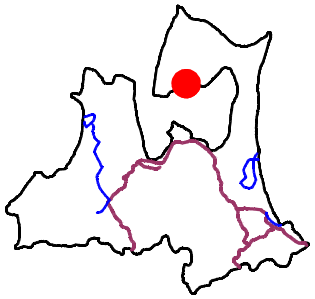
浸水防護対策が必要となる地域の高潮等の越波による浸水被害が解消されます。
浸水面積　３．２ｈａ　→　０ｈａ

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	川内港海岸川内地区　海岸環境整備事業（補助：事業主体　青森県） （青森県むつ市川内町）
事業着手：平成　4年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



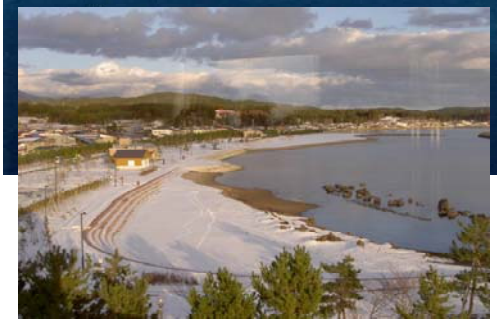
「事業の必要性」

往時は、豊かな砂浜を形成していましたが、年々侵食が進み、対応策として直立護岸が整備されたものの砂浜は失われたままの状態となっていました。このため地域住民から失われた砂浜の復活が強く求められており、人工海浜、護岸、突堤の整備を行い、砂浜の回復と海岸利用の向上を図ります。また、小中学校の教育の場として期待されていることから「いきいき・海の子・浜づくり」の指定を受けています。

「事業の概要」

失われた砂浜の回復と海岸利用の向上を図る海岸環境整備事業です。





整備が進む人工海浜



川内港海岸川内地区完成イメージ

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：　99百万円
○人工海浜（養浜）、植栽、離岸堤（L=60m）を整備し、事業の完成を図ります。

事　業　効　果

○防護される面積　・・・・・　（着工前）0ha　→（完成後）約24ha

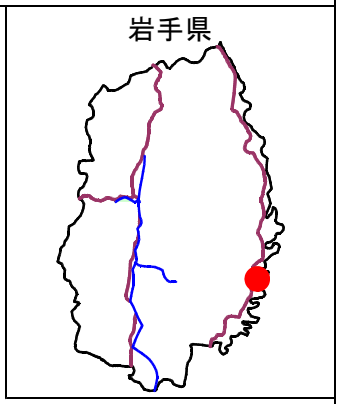
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	釜石港湾口地区防波堤整備事業（直轄） 釜石港須賀地区耐震強化岸壁整備事業（補助：事業主体　岩手県） （岩手県釜石市）
事業着手：昭和53年度	完成・供用の目標年度：平成18年度概成予定（防波堤） 平成18年度完成予定（耐震強化岸壁）

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

三陸沿岸は地理的・地形的条件から津波被害が発生しやすく、高潮による浸水などの被害にたびたび襲われています。また、大規模地震災害が懸念されることから、これらへの対策が必要です。



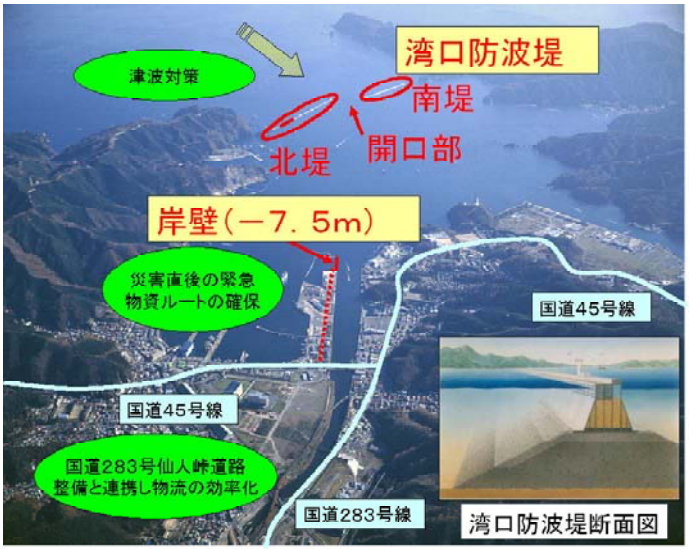
「事業の概要」

本事業は、延長1，960m（北堤990m、南堤670m、開口部300m）で世界最大水深（63m）の湾口防波堤の整備と耐震強化岸壁（130m水深7．5m）により、地震・津波災害からの生命・財産等の防護、静穏度向上による安全な荷役作業の確保、並びに災害直後の緊急物資輸送ルートの確保を図るものです。

また、国道283号の仙人峠道路整備と連携し、物流の効率化を図ります。

過去の大津波による被害状況（釜石以外の地域を含む）

発生年	明治29年	昭和8年	昭和35年
災害名	明治三陸 地震津波	昭和三陸 地震津波	チリ地震 津波
人的被害（人）	21,101	3,536	263
家屋被害（戸）	5,527	10,370	7,750
船舶被害（隻）	6,631	8,123	641







平成18年度事業費及び事業内容

○事業費　：　防波堤整備事業　　950百万円
　　耐震強化岸壁整備事業　　34百万円
○事業内容：防波堤整備事業　平成19年度完成に向け上部約640mを実施し、整備促進を図ります。
　　：耐震強化岸壁　　舗装約1，700m²を実施し、平成18年度完成を図ります。

事　業　効　果

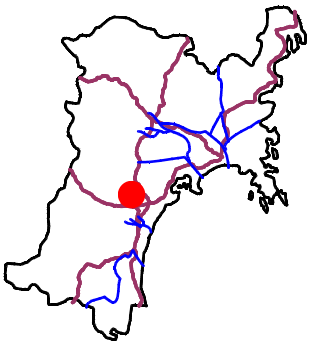
○防波堤整備による津波に対する被害の軽減
　津波による浸水被害面積　141．7ha（未整備）　→　25．3ha（防波堤完成）
○耐震強化岸壁の整備により、震災直後の緊急物資輸送ルートの確保
○国道283号の仙人峠道路整備と連携した物流の効率化

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	都市計画道路　元寺小路七北田線（仙台北部共同溝・堤町工区） （補助：事業主体　仙台市）
事業着手：平成９年度	完成・供用の目標年度：平成１８年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

当該路線は、仙台都心部と仙台市北部の広域拠点（泉中央地区）を結ぶ主要幹線道路です。泉中央地区は大型小売店舗を核とする商業施設や文化センター等の公共施設が立地され、都市機能の急速な集積に伴い電力や通信の需要が増加しつつあり、これらの安定した供給と災害時のライフラインの確保を図るとともに、占用物の埋設工事を起因とする交通渋滞を解消する事が必要です。

「事業の概要」

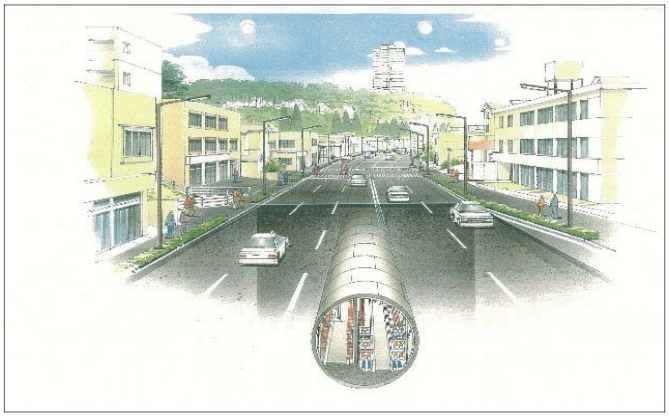
仙台北部共同溝は、災害時のライフラインの確保を図るとともに、道路の掘り返しに伴う道路交通への影響を解消することを目的とした延長1，940mの共同溝整備事業です。



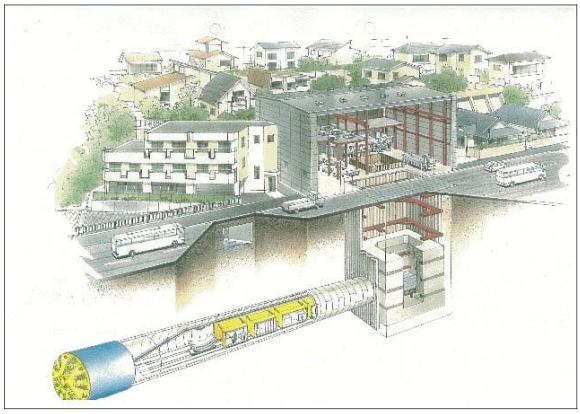
＜位置図＞



＜現況写真：事業実施中の
元寺小路七北田線（堤町工区）＞



＜完成予想図１＞



＜完成予想図２＞

平成１８年度事業費及び事業内容

○事業費：250百万円
○付帯設備と道路復旧工事を行い、事業の完成を図ります。

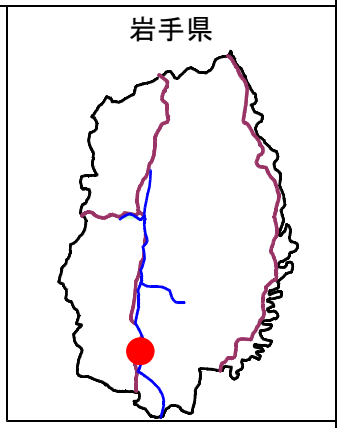
事　業　効　果

○災害時に安定したライフライン（電気、ガス、上下水道等）を確保します。
○スムーズな交通を確保します。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	一関遊水地建設事業（直轄） （岩手県一関市・平泉町・奥州市）
事業着手：昭和47年度	完成・供用の目標年度：平成30年代後半完成予定

事業の必要性・事業の概要



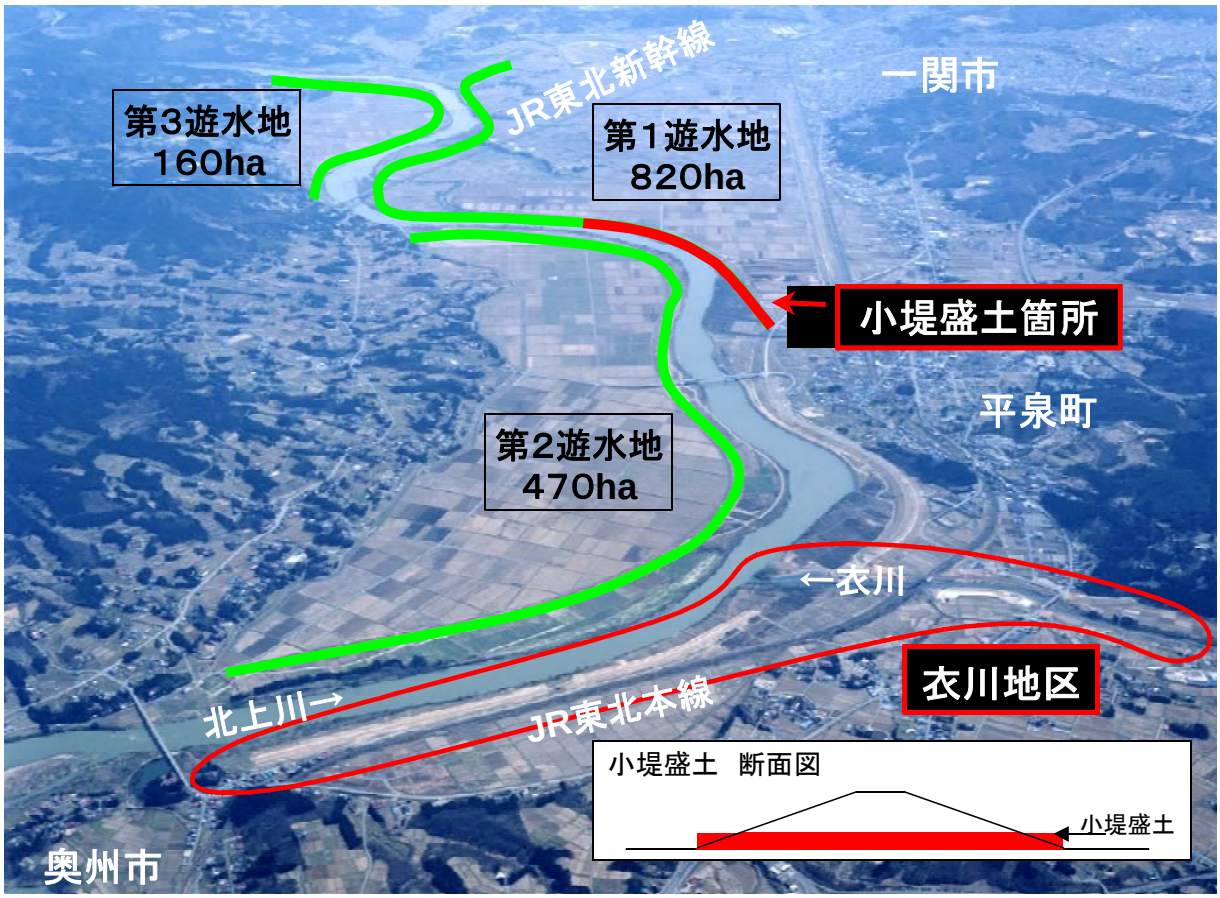
「事業の必要性」

一関遊水地は、一関市などの市街地を洪水から防御する「本堤及び周囲堤」と遊水地内の優良農地の冠水被害軽減を図る「小堤」から構成され、周囲堤については平成15年度に完成しています。一方、衣川地区や小堤が未整備となっているため、平成14年7月洪水では家屋（23戸）や国道4号、さらに遊水地内の農地が浸水するなどの被害が発生しています。このため、本堤及び小堤の早急な整備が必要となっています。

「事業の概要」

遊水地内で唯一無堤地区になっている衣川地区の築堤整備や橋梁架け替え等を促進させ、早期治水効果発現（平成20年度完成予定）を図ります。

また、本堤整備の進捗に合わせ、第一遊水地の小堤盛土に本格着手します。



平成18年度事業費及び事業内容

○事　業　費：2，729百万円（一関遊水地事業全体）
○事業内容：第1遊水地小堤、本川衣川堤防、支川衣川堤防、国道4号衣川橋架替、下之橋架替

事　業　効　果

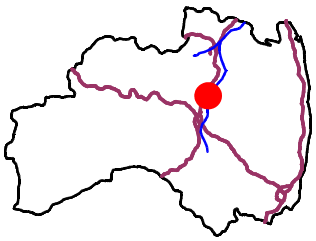
○第1遊水地小堤の施工により、当該地区820haにおける、中小洪水（1／10確率降水）による浸水被害を軽減します。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	阿武隈川（あぶくま）上流本宮左岸地区改修事業（直轄） （福島県安達郡（あだちぐん）本宮町（もとみやまち））
事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成20年代後半完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

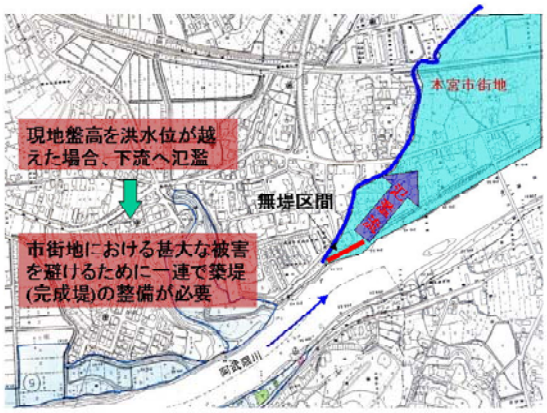
本宮地区は、右岸側が無堤、左岸側が暫定堤高（HWL堤）となっていたため、昭和61年8月洪水、平成10年8月洪水と浸水被害を受けています。このため、右岸側の無堤箇所の築堤整備を進めてきました。こうした中、H14．7月洪水では、計画高水位（H.W.L）に迫る洪水が発生し、背後資産の多い左岸側においても溢水の危険が生じたことから、左岸側の堤防断面の完成化が必要となっています。

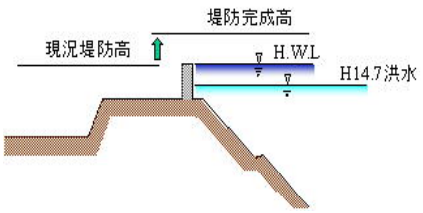
「事業の概要」

この地区において唯一無堤（L=50m区間）となっている上流部の堤防整備を行い、一連効果を発現させます。さらに、今後は暫定堤から完成堤への整備を図り、当該地区の治水安全度を高めます。

平成14年7月洪水









平成18年度事業費及び事業内容

○事業費　543百万円
○築堤　L=50mを実施（無堤の解消）

事　業　効　果

○本宮地区の無堤地区を解消し、洪水被害の軽減を図ります。

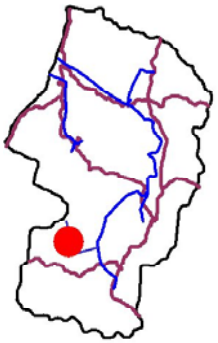
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	長井ダム建設事業（直轄） （山形県長井市）

事業着手：昭和59年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

長井ダムは、最上川の左支川置賜野川の上流長井市平野・寺泉地内に建設中の多目的ダムです。

長井ダムは、最上川本川と置賜野川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、かんがい用水の補給、水道用水の供給、発電の5つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元
・総貯水容量：5,100万m³　・高さ：125.5m　・堤頂長：381.0m
・堤体積：120万m³　・ダム型式：重力式コンクリートダム

○　これまでの事業経緯
平成12～14年度　堤体基礎掘削
平成14年度～　堤体コンクリート打設
平成17年12月末　コンクリート打設108万m³

○　総事業費：1,600億円、完成工期：平成22年度
（平成14年11月12日：基本計画変更告示）

長井ダム堤体コンクリート打設状況　＜下流から＞

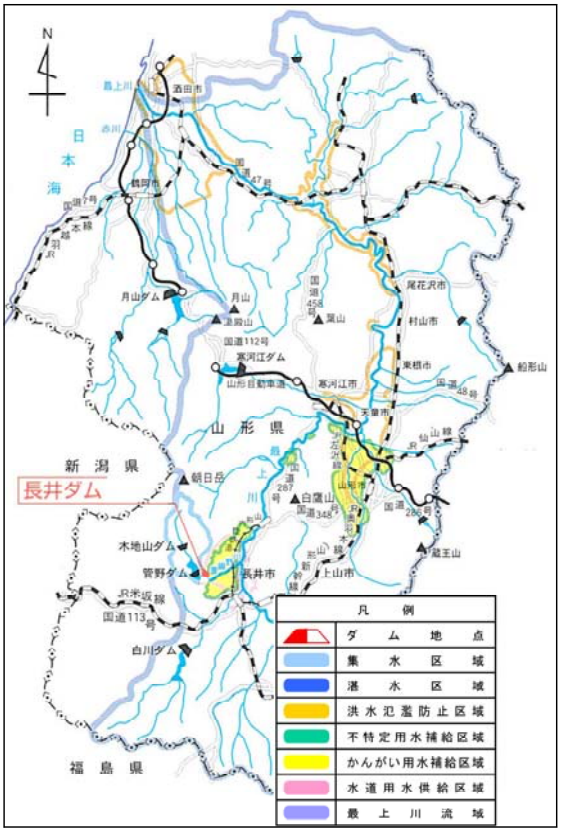


（平成17年10月撮影）

平成14年7月台風出水状況（最上川：白鷹町）



位置図及び計画概要図



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：10，195百万円
○堤体コンクリート打設・取水放流設備製作据付及び付替県道工事等の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　ダム地点における洪水量（計画高水流量）1,000m³/sのうち780m³/sをダムに貯め、220m³/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて最上川本川及び支川置賜野川の洪水被害の軽減を図ります。

○　また、長井市への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

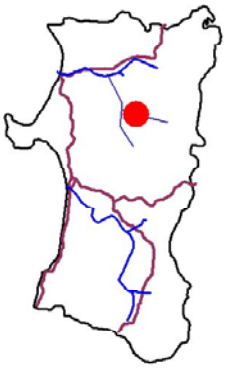
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	森吉山ダム建設事業（直轄） （秋田県北秋田市）

事業着手：昭和61年度	完成・供用の目標年度：平成23年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

森吉山ダムは、米代川の左支川阿仁川の小又川上流に位置する北秋田市根森田・森吉地内に建設中の多目的ダムです。

森吉山ダムは、米代川本川と支川阿仁川及び小又川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給、かんがい用水の補給、発電の5つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元
・総貯水容量 ： 7,810万m³　・高さ ： 89.9m　・堤頂長 ： 786.0m
・堤体積 ： 585万m³　・ダム型式 ： ロックフィルダム

○　これまでの事業経緯
平成14～15年度　堤体基礎掘削
平成15年度～　堤体盛立
平成17年12月末　堤体盛立380万m³

○　総事業費：1,750億円、完成工期：平成23年度
（平成12年6月14日：基本計画変更告示）

本体工事中の森吉山ダム ＜下流上空から＞

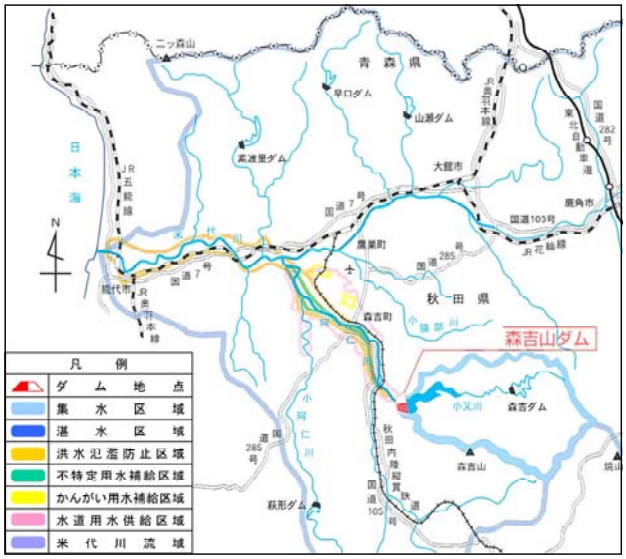


（赤枠はダム堤体の縁取り、平成17年11月撮影）

支川小又川の越水<H9.7>



森吉山ダム計画概要図



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：14，410百万円
○堤体盛立工事等本体工事を推進するとともに、付替県道工事等の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　ダム地点における洪水流量（計画高水流量）2,300m³/sのうち2,200m³/sをダムに貯め、100m³/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて米代川本川及び支川阿仁川・小又川沿川の洪水被害の軽減を図ります。

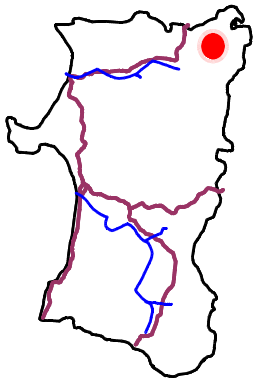
○　また、北秋田市（旧森吉町・旧合川町）への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	砂子沢ダム建設事業（補助：事業主体　秋田県） （秋田県鹿角郡小坂町）
事業着手：平成4年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

砂子沢ダムは、米代川水系小坂川の支川砂子沢川に建設中の、洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給を目的とした多目的ダムです。

小坂川沿川では、過去、洪水被害や渇水による水道の給水制限などが発生しています。

砂子沢ダムによって洪水被害や、渇水を防ぐことで、安全で安心できる地域づくりを行います。

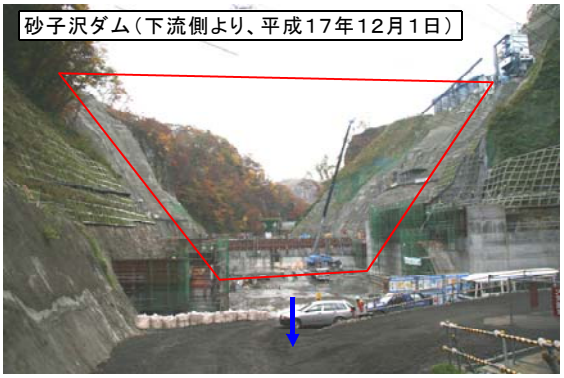
「事業の概要」

全体計画　ダム形式　：　重力式コンクリートダム
　　ダム高　：　78.5 m
　　堤頂長　：　185.0 m
　　堤体積　：　28.3 万m3
　　総貯水容量：　865.0 万m3

進捗状況　平成15～16年度　堤体基礎掘削
　　平成17年度～　コンクリート打設

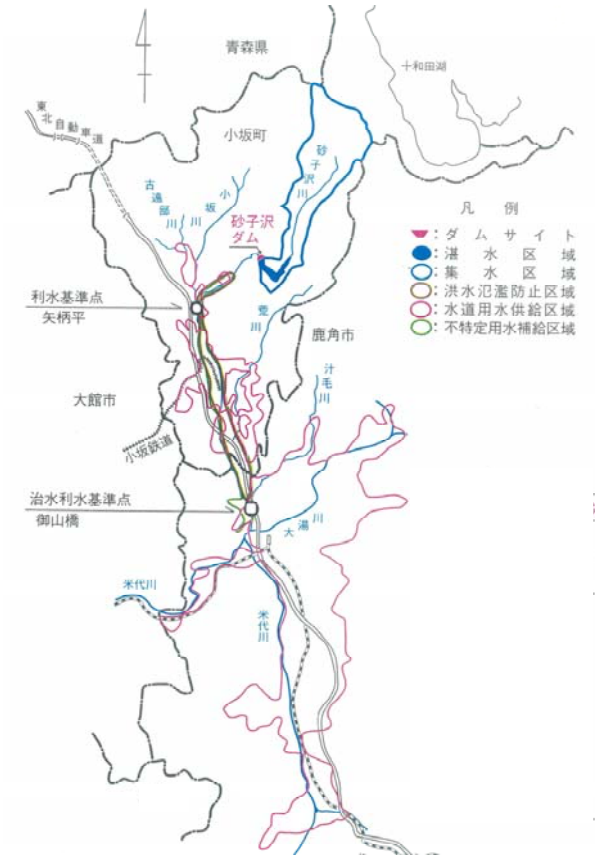


平成8年7月洪水（小坂町小坂地区）



砂子沢ダム（下流側より、平成17年12月1日）

流域概要図



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：3，830百万円
○堤体コンクリート打設及び取水放流設備製作・据付の進捗を図ります。

事　業　効　果

○洪水の際、ダムに流入する130m³/秒のうち100m³/秒をダムに貯めて、小坂川沿川地域の水害を防ぎます。
○1日あたり4,600m³の水を小坂町及び鹿角市の上水道へ供給します。

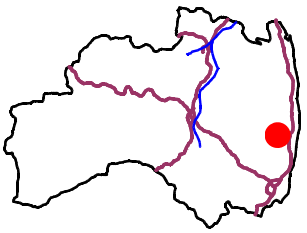
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	木戸ダム建設事業（補助：事業主体　福島県） （福島県双葉郡楢葉町）

事業着手：平成3年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

木戸ダムは、木戸川水系木戸川に建設中の、洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水、工業用水の供給を目的とした多目的ダムです。

木戸川流域では、台風や豪雨による出水によって度々洪水被害を受けている一方で、夏期においてしばしば深刻な水不足に見舞われています。

木戸ダムによって洪水被害や、渇水を防ぐことで、安全で安心できる地域づくりを行います。

「事業の概要」

全体計画

ダム形式	：	重力式コンクリート
ダム高	：	93.5 m
堤頂長	：	350.0 m
堤体積	：	50.4 万m3
総貯水容量	：	1,847.0 万m3

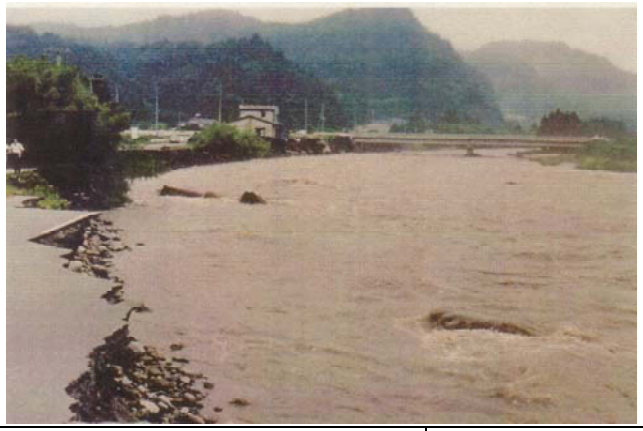
進捗状況

平成12年度	本体工事着手
平成12～14年度	本体基礎掘削
平成14年度～	コンクリート打設

流域概要図



平成元年8月洪水(楢葉町上小塙中川原地区)



木戸ダム(左岸側より、平成18年1月24日)



平成18年度事業費及び事業内容

○事　業　費：　3，370百万円
○本体コンクリート打設を完了させるとともに、試験湛水を開始します。

事　業　効　果

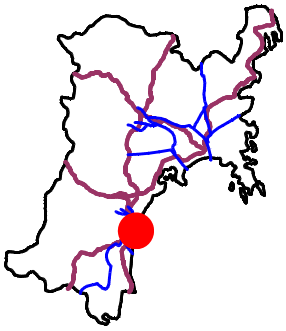
○洪水の際、ダムに流入する1,850m³/秒のうち800m³/秒をダムに貯めて木戸川沿川地域の水害を防ぎます。
○1日あたり最大21,500m³の水を上水道へ供給します。
○1日あたり最大32,300m³の水を工業用水として供給します。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	仙台湾南部海岸直轄海岸保全施設整備事業（直轄） S4号ヘッドランド、堤防整備　（宮城県亘理郡山元町、岩沼市）
事業着手：平成12年度	完成・供用の目標年度：平成20年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

当該海岸は、昭和40年頃から急激に侵食が進み侵食域の大きい箇所では50mを超える砂浜が消失しています。そのため、昭和58年、62年、平成3年、11年、16年には、台風の影響により相次いで堤防等が被災を受けており、恒久的な海岸侵食対策が必要な海岸です。

「事業の概要」

12年度より国直轄事業としてヘッドランド（人工岬）及び堤防整備を主とした対策工を進めています。







平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：906百万円
○中浜工区のS4号ヘッドランド工事のうちヘッド部南半分（L＝75m）の工事を行います。
○蒲崎工区の無堤防区間において、堤防L=50mの工事を行います。

事　業　効　果

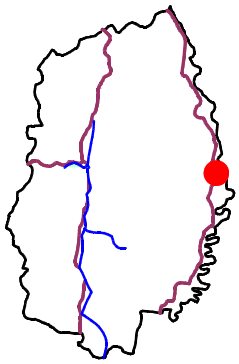
○S4号ヘッドランド（人工岬）整備を推進することにより、漂砂及び養浜材（将来投入）の捕捉効果が高まり、失われた砂浜の早期創出が図られます。
○堤防の整備により、高潮、津波などから背後地のし尿処理場、南浜中央病院、市道（二野倉新浜線）等を保全します。

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	宮古港海岸高浜地区　高潮対策事業（補助 ： 事業主体 岩手県） （岩手県宮古市）
事業着手：平成　6年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

高浜地区は、明治三陸津波をはじめ、昭和三陸津波、チリ地震津波と度重なる津波により、多くの死者、行方不明者、家屋倒壊、流出、浸水等の甚大な被害を受けており、地元住民は津波に対する不安を抱え、恒久的な津波対策の早期完成が強く望まれております。また、高い確率で大規模地震の発生が予測されている事から、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

津波発生時に、人命の最優先防護、財産の流出を軽減するため、防潮堤、陸閘※を整備する高潮対策事業です。　※陸閘：陸上に設置された防潮扉









平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：56百万円
○平成19年度の完成を目指し、防潮堤の整備促進と陸閘の設計を実施する予定です。

事　業　効　果

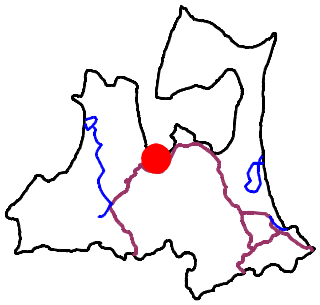
○明治29年の三陸沖地震津波と同規模の津波が発生した場合の被害が解消されます。
　浸水面積　22ha　→　0ha

安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	青森港沖館（あおもり　おきだて）地区複合一貫輸送ターミナル（耐震改良）　（直轄） （青森県青森市）
事業着手：平成15年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

青森港と北海道を結ぶ航路は、本州と北海道のフェリー輸送の約3割にあたる年間約2，200万トンの取扱量があり、本州－北海道間の複合一貫輸送※の大動脈航路です。

大規模地震災害時においても、本州－北海道の物流の混乱を少なくするため、一定の物流機能を確保する必要があります。

※複合一貫輸送：特定の貨物が船舶、鉄道、自動車、航空機など種類の異なる2つ以上の輸送手段により相次いで輸送される場合をいう。

「事業の概要」

本事業は、震災直後から復旧期間における一定の幹線貨物（フェリー）輸送機能を確保するため、青森港沖館地区において、既設岸壁（水深6m）を耐震強化岸壁（延長185m、水深7．5m）に改良整備を行うものです。





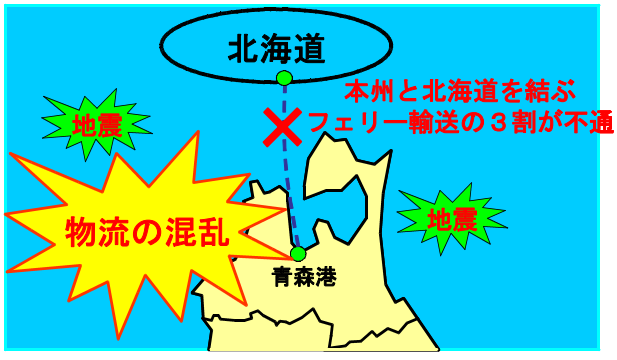
平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：1，550百万円
○地盤改良を実施し、平成19年度の供用を目指します。

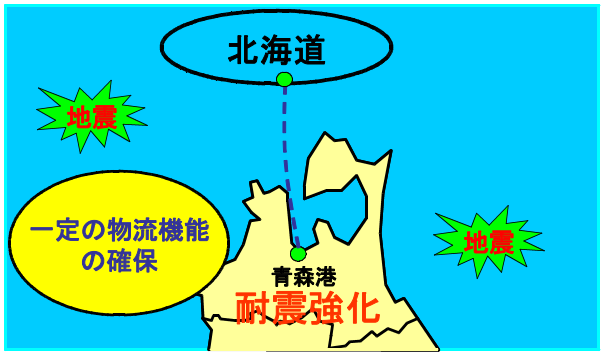
事　業　効　果

○既存岸壁を耐震強化岸壁に改良整備することにより、大規模地震災害時においても、一定の物流機能を確保することが可能となります。

大規模地震災害時現状では…



大規模地震災害時耐震化すると…

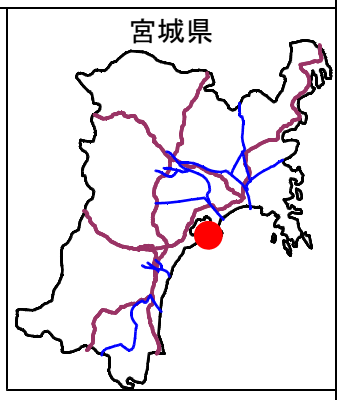


安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	仙台塩釜港仙台港区中野地区耐震強化岸壁改良事業（直轄） （宮城県仙台市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



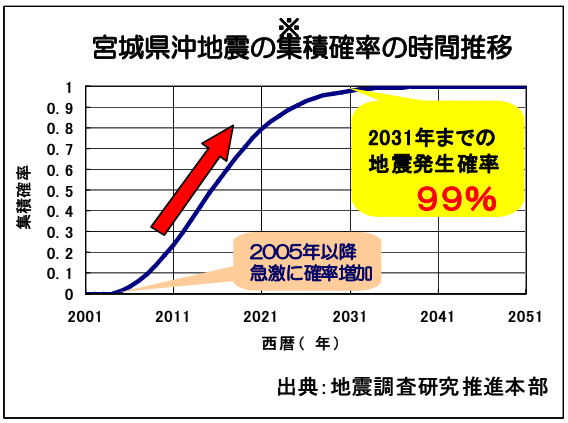
「事業の必要性」

仙台港及びその背後県である仙台市等に甚大な被害を及ぼすことが予想される宮城県沖地震は、30年以内で99%という高い確率で発生すると予想されており、背後の防災ネットワークと一体となった住民避難や被災地の復旧・支援を行う防災拠点機能が求められているため、これらへの対策が必要となっています。

「事業の概要」

本事業は、震災直後の緊急物資輸送及び復旧期間における物流機能を確保するため、既存の高松ふ頭岸壁（延長240m、水深12m）を耐震強化改良するものです。





※前回の地震発生から評価時点までに地震が発生しているはずの確率。



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費　：　600百万円
○平成19年度の完成に向け地盤改良を実施し、整備促進を図ります。

事　業　効　果

○岸壁の耐震強化改良により、震災時に仙台港区から港湾背後の被災地へ緊急物資（衣料品、食料、住宅建材等）の運搬が可能となります。

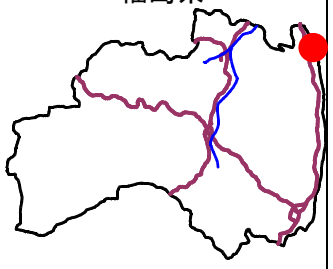
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	相馬（そうま）港3号ふ頭地区耐震強化岸壁整備事業（直轄） （福島県相馬市）

事業着手：平成8年度	完成・供用の目標年度：平成23年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

相馬港及びその背後圏である相馬市等に甚大な被害を及ぼすことが予想される宮城県沖地震は、30年以内で99%という高い確率で発生すると予想されており、災害時に背後の防災ネットワークと一体となった住民避難や被災地の復旧・支援を行う防災拠点機能が求められているため、これらへの対策が必要となっています。

「事業の概要」

本事業は、震災直後の緊急物資輸送及び復旧期間における物流機能を確保するため、3号ふ頭地区に耐震強化岸壁（延長240m、水深12m）を整備するものです。





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：520百万円
○岸壁本体（ケーソン）製作4函、据付3函を実施し、整備促進を図ります。

事　業　効　果

○岸壁の耐震強化により、震災時に相馬港から港湾背後の被災地へ緊急物資（衣料品、食料、住宅建材等）の運搬が可能となります。

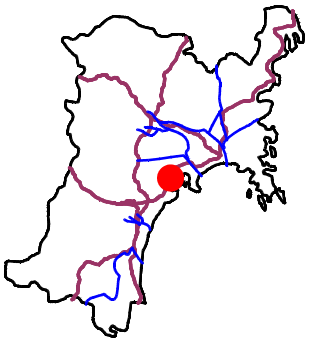
安全で安心できる地域づくり　防災・減災対策の推進

事業名	塩竈市（しおがま）都市水環境整備事業（補助：事業主体　塩竈市） （宮城県塩竈市）

事業着手：平成　6年度

事業の必要性・事業の概要

宮城県

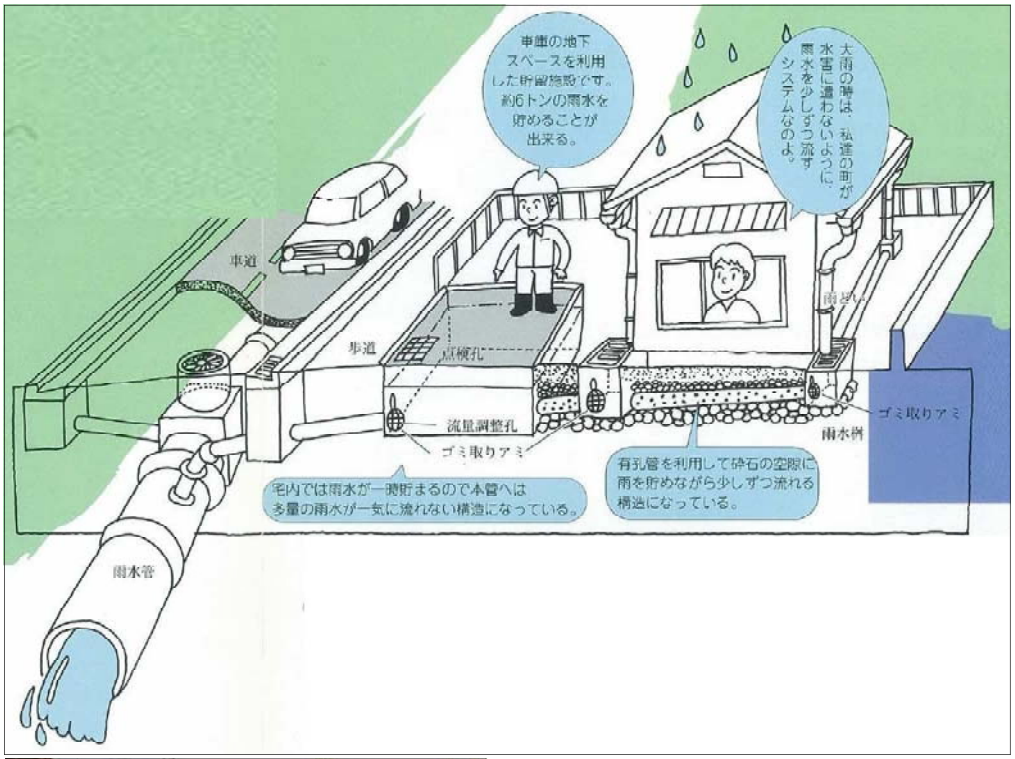


「事業の必要性」

塩竈市では都市化の進展と併せ、昭和61年8月、平成2年10月等の大雨により浸水被害が生じており、下水道による雨水貯留・排水機能の強化が必要です。

「事業の概要」

大雨による市街地の浸水被害を防ぐため、雨水排水のための下水道管と排水ポンプ場施設などの整備とあわせ、市民の協力を得て私有地内に雨水を一時的に貯め排水量を調節するための貯留浸透施設を整備します。





＜車庫の地下貯留槽タイプ（6．2m^3）＞



＜車庫の地下砕石空隙貯留タイプ（7．2m^3）＞

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：90百万円
○貯留浸透施設の整備（約40基）を推進します。

事　業　効　果

○　雨水貯留浸透施設の整備により雨水の流出を抑制し、都市浸水被害を軽減します。

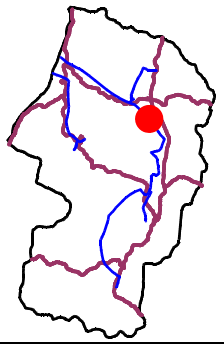
安全で安心できる地域づくり　雪対策の推進

事業名	横山（よこやま）地区消流雪用水導入事業（直轄） （山形県北村山郡（きたむらやま）大石田町（おおいしだ））

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成20年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



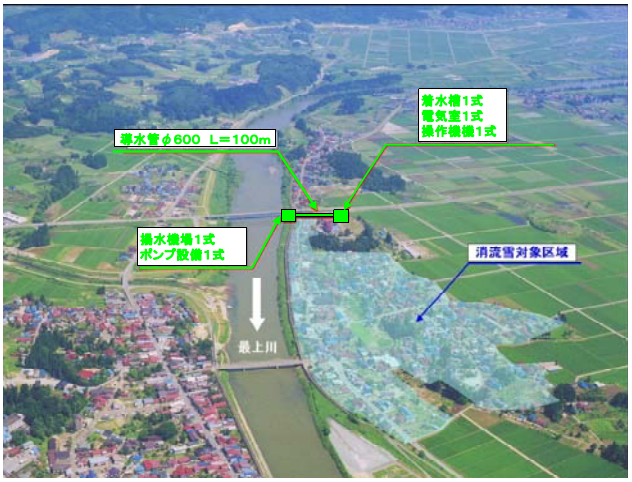
「事業の必要性」

横山地区は、最大積雪深が250cmを記録するなど、日本でも有数の豪雪地帯となっています。さらに大量の降雪の排雪先として小河川や歩道が利用されていました。しかし、小河川では冬期に水量が不足するため、河道閉塞による流水の阻害や道路交通への障害など、地域住民の生活に大きな支障をきたしていることから、積雪対策が重要な課題となっています。

「事業の概要」

水量が不足している小河川の流況改善（流量増）を目的として、水量の豊富な最上川から消流雪用水を導入するための取水設備、導水路、管理設備等を整備するものです。









平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：100百万円
○詳細設計・用地調査を行い、事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

○除雪作業の軽減を図ると共に、雪害の防止や住民の生活環境の改善、安全な道路交通の確保が可能となります。

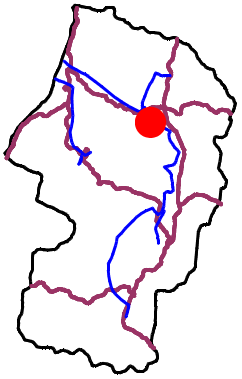
安全で安心できる地域づくり　雪対策の推進

事業名	清水（しみず）地区消流雪用水導入事業（直轄） （山形県最上（もがみ）郡大蔵（おおくら）村）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

清水地区は、最大積雪深が203cmを記録するなど、日本でも有数の豪雪地帯となっています。さらに大量の降雪の排雪先として小河川や歩道が利用されていました。しかし、小河川では冬期に水量が不足するため、河道閉塞による流水の阻害や道路交通への障害など、地域住民の生活に大きな支障をきたしていることから、積雪対策が重要な課題となっています。

「事業の概要」

水量が不足している小河川の流況改善（流量増）を目的として、水量の豊富な最上川から消流雪用水を導入するための取水設備、導水路、管理設備等を整備するものです。











先例地（真室川地区）事業効果



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：523百万円
○導水管L=100m等の整備を行い、清水地区の消流雪用水導入事業の完成を図ります。

事　業　効　果

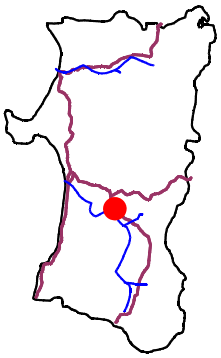
○除雪作業の軽減を図ると共に、雪害の防止や住民の生活環境の改善、安全な道路交通の確保が可能となります。

安全で安心できる地域づくり　雪対策の推進

事業名	一般国道13号　北楢岡防雪柵　整備事業（直轄） （秋田県大仙市）
事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

一般国道１３号の大仙市北楢岡地区は、地形上強風と相まって吹雪等による視界不良が起こりやすい状態にあります。

当該地区の冬期交通安全の確保と通学児童の冬期歩行環境の改善を図る対策が求められています。

「事業の概要」

当該地区は冬期北西の風が強く、道路に対し斜め方向に発生する地吹雪にも対応できる改良タイプの防雪柵の整備を視界不良が生じる600m区間を対象とし、平成１７年度から事業に着手しています。

防雪柵の効果が低く視界不良



吹き溜まりによる歩道の堆雪







平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：４５百万円
○継続して事業を推進し残区間300mに対して実施し、対象区間(L=600m)全ての完成を目指します。

事　業　効　果

○路面の吹き溜まりの解消し冬期の車道有効幅員を確保。
○吹雪による視界不良を解消し冬期の交通安全を向上。
○歩行者の冬期歩行環境を改善。

安全で安心できる地域づくり　雪対策の推進

事業名	板柳地区消流雪用水導入事業（直轄） （青森県北津軽郡板柳町）

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

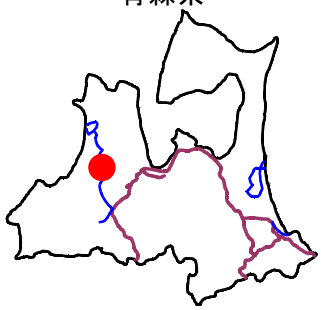
事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

板柳地区は、最大積雪深が173cmを記録するなど、日本でも有数の豪雪地帯となっています。さらに大量の降雪の排雪先として小河川や歩道が利用されていました。しかし、小河川では冬期に水量が不足するため、河道閉塞による流水の阻害や道路交通への障害など、地域住民の生活に大きな支障をきたしていることから、積雪対策が重要な課題となっています。

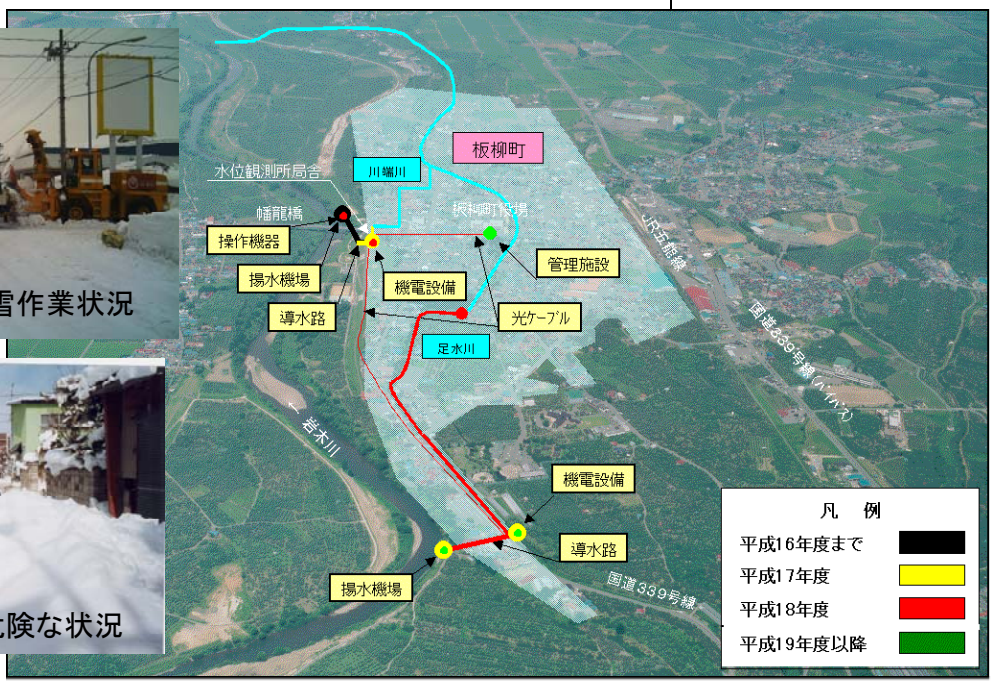
「事業の概要」

小河川の流況改善（流量増）を目的として、水量の豊富な岩木川から消流雪用水を導入するための取水設備、導水路、管理設備等を整備するものです。











事業効果イメージ





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：494百万円
○導水管L=約1,200m等の整備を行い、板柳地区の消流雪用水導入事業の進捗を図ります。

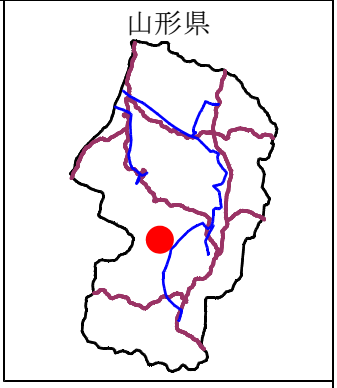
事　業　効　果

○除雪作業の軽減を図ると共に、雪害の防止や住民の生活環境の改善、安全な道路交通の確保が可能となります。

安全で安心できる地域づくり　　雪対策の推進

事業名	今平雪崩対策事業（補助）：事業主体　山形県） （山形県西村山郡朝日町）
事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成21年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



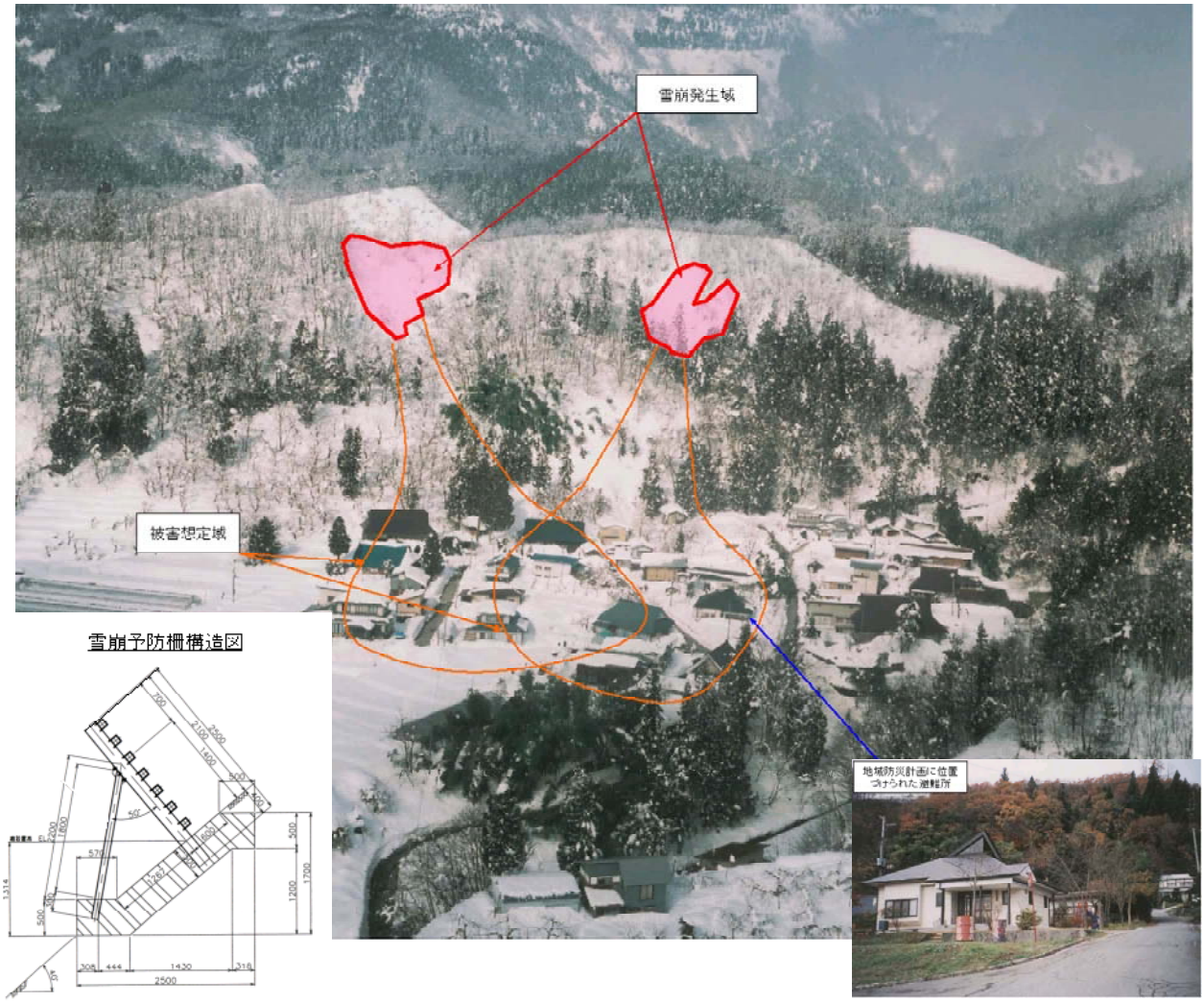
「事業の必要性」

今平地区は、西村山郡朝日町今平地区に位置しており、保全対象として民家14戸、町道、公民館、及び地域防災計画に指定されている避難所を抱える雪崩危険箇所です。斜面の高さ約90m、勾配40度、既往最大積雪深2.7mを記録する豪雪地帯で、一部に植生が疎の部分があることから、雪崩による家屋等への被害が懸念されるため、雪崩防止施設の整備により雪崩災害に対する安全を確保し、民生の安全を図る必要があります。

「事業の概要」

○全体事業内容

雪崩予防柵工34基（λ型　H=2.1m）



雪崩予防柵構造図

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：26百万円
○雪崩予防柵工8基（H=2.1m）を施工します。

事　業　効　果

○　民家14戸、町道、公民館、地域防災計画に位置づけられている避難所を雪崩被害から保全します。

安全で安心できる地域づくり　雪対策の推進

施策名	一般国道46号冬期道路サービス向上に向けた取り組み（直轄） （岩手県・秋田県）

施策着手 ： 平成16年度

施策の必要性・施策の概要

岩手県・秋田県



「施策の必要性・概要」

岩手県と秋田県を結ぶ一般国道46号は、平均交通量が1万台／日を超える主要幹線道路ですが、年間累加降雪量が10mを超える仙岩峠（岩手・秋田県境）を有するなど、冬期には厳しい環境にさらされるため、冬期道路サービスの向上が望まれています。

そこで、プロドライバーや沿線地域の生活者、観光客など幅広い道路利用者を対象に、地区座談会、Webアンケート、ヒアリングなど様々な手段によるコミュニケーションを通じ、徹底的にニーズの掘り起こしを行いました。

出発前（自宅や職場）、移動途中、道路走行中といったドライバーの実際の場面を想定しながら、掘り起こした利用者ニーズに対応した道路サービスメニューを構築し（全13メニュー）、岩手河川国道事務所と秋田河川国道事務所が連携しながら冬期における道路サービスの向上に取り組んでいます。

○サービス事例

・国道46号の路面情報（ライブカメラ画像）や降雪情報を集約して提供するホームページ・携帯サイトの立ち上げ（46NAVI）。

・道の駅において、路面情報や規制状況などの道路情報を知ってもらえるよう、目につき易い道路情報コーナーの配置や大型ディスプレイを設置するなど情報提供方法を工夫。

・除雪車後尾に設置した電光掲示板で意思表示することで、後続ドライバーに情報提供するとともに除雪車の待避所としても利用できる「もしもしピット」※を整備。

※もしもしピットとは、ドライバーがクルマを停めて安全に携帯電話を使用できる停車帯。



▲46NAVI（ホームページ）



▲道の駅「協和」道路情報コーナー



▲除雪車後方表示装置と待避所（もしもしピット）利用

平成18年度の予定

○これまで実施してきたサービス内容について更に分析・評価しつつ、引き続き取り組みを継続します。また、効果のあった取り組みについては、他の事務所にも推奨し、拡大を図ります。

施 策 の 効 果

○事前に路面の情報等を入手できることで、安全への行動の変化・意思決定に寄与する。
○道の駅において、立ち止まって眺めるだけで道路情報を得ることが出来るため、安全性の向上が期待できる。
○ドライバーのイライラを緩和し、除雪車の無理な追い越しなどの危険行為の抑制につながる。

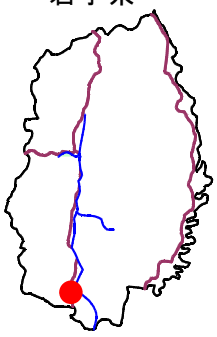
安全で安心できる地域づくり　少子化・高齢化等への対応

事業名	一般国道4号　大槻（おおつき）交差点（直轄） （岩手県一関（いちのせき）市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

本事業箇所は、岩手県一関市の市街地北部に位置する一般国道4号と一般国道342号・(県)一関北上線との交差点であり、死傷事故が岩手県平均の約13倍の確率で発生している事故多発箇所で、「事故危険箇所※」にも指定されていることから、早急な対策が必要とされています。また、本交差点は岩手県の主要渋滞ポイント（最大渋滞長930m・最大通過時間8分）にも位置づけられています。

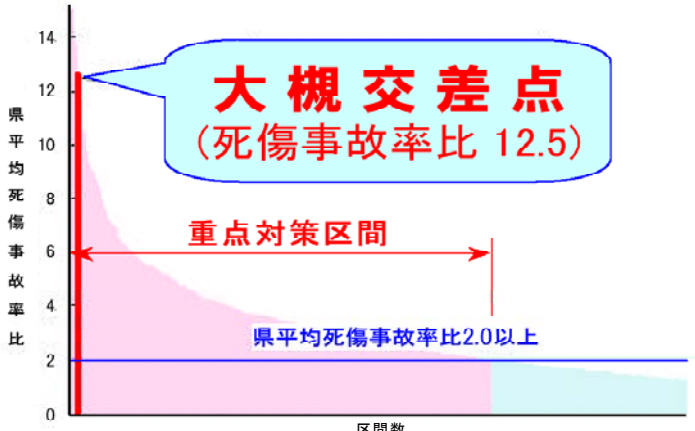
※「事故危険箇所」：死傷事故に遭う確率が全国幹線道路平均の5倍以上の箇所等を指定
（指定箇所数：全国約4千箇所、東北142箇所）

「事業の概要」

本事業は、当該交差点の交通事故を削減するため、発生する交通事故の約７割を占める右折事故や追突事故の対策として、右折レーン延伸・減速路面標示・右折誘導線設置等の交差点改良を行うものです。



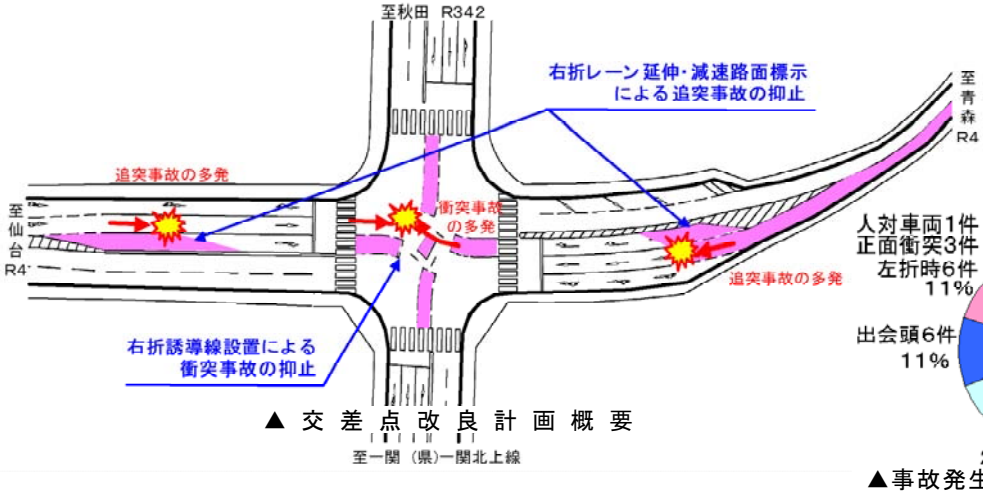
▲ 位　置　図



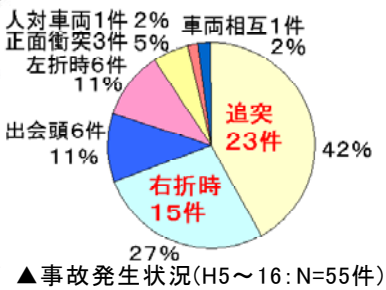
▲優先度明示明示方式による死傷事故率比（H12～15）
※県平均死傷事故率比：死傷事故に遭う確率の県平均に対する倍率



▲大槻交差点の交通状況（国道4号仙台方面）



▲ 交 差 点 改 良 計 画 概 要



▲事故発生状況（H5～16：N=55件）

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：150百万円
○交差点改良事業の完成・供用を図ります。

事　業　効　果

○安全で円滑な交通を確保し、死傷事故の削減を図ります。

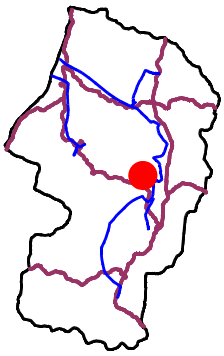
安全で安心できる地域づくり　少子化・高齢化等への対応

事業名	一般国道112号　南一番町歩道（直轄） （山形県山形市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

当該事業箇所は、山形市街地南部のDID地区(人口集中地区)に位置し、国道13号・112号・286号等の幹線道路に囲まれた「あんしん歩行エリア※」の外周を形成する区間で、近隣には学校・合同庁舎等公共施設が多数存在しています。「あんしん歩行エリア」の死傷事故抑止のため、歩行者等の安全な通行経路確保や通過交通の排除等、公安委員会と連携した面的・総合的な対策が必要とされています。

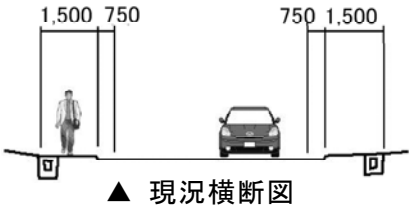
※「あんしん歩行エリア」：単位面積あたりの事故発生割合が高い地区を選定。
（全国約1,000箇所、東北56箇所）

「事業の概要」

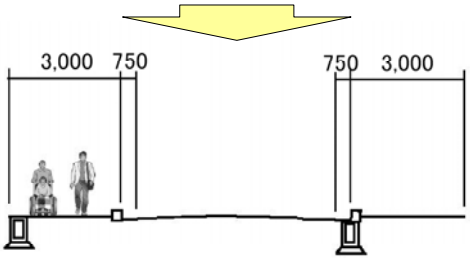
本事業は、自転車や車椅子がすれ違い可能な幅員の確保等、歩道のバリアフリー化により、安全で快適な歩行空間を形成し死傷事故の抑止を図るものです。



▲ 整備箇所図



▲ 現況横断図



▲ 計画横断図



▲ 現　況



▲ 整備イメージ

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：141百万円
○歩道の拡幅・バリアフリー化を推進し、事業の完成・供用を目指します。

事　業　効　果

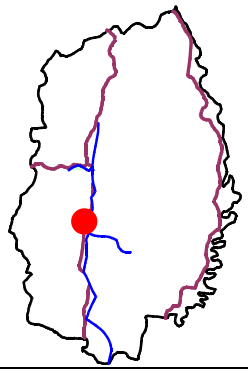
○歩行者・自転車の安全性向上に加えて、高齢者・身体障害者をはじめとする全ての人々が安全で快適に利用できる歩行空間が形成されます。

安全で安心できる地域づくり　少子化・高齢化等への対応

事業名	花城町（かじょうちょう）地区優良建築物等整備事業（補助：事業主体　花巻市） （岩手県花巻市）
事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

花巻市は、中心市街地の衰退、空洞化が深刻な問題となっており、老朽化した住宅市街地の再開発が課題となっています。本事業は、優良建築物等整備事業により、高齢の単身・夫婦世帯に対して、自家用車に頼ることなく生活できる高齢者向け優良賃貸住宅と多様な世帯向けの分譲マンション整備の補助金を交付します。

「事業の概要」

花巻市の中心市街地活性化基本計画に基づき、優良建築物等整備事業を実施します。住宅、医療施設、高齢者福祉施設、商業施設の複合建築物のほか、交流スペースとして広場を設置し、さらに、まちづくり交付金により整備済みの河川敷公園と一体的空間形成を図ります。



＜位置図＞



＜完成予想図＞



←高齢者向け優良賃貸住宅の概要

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：５７９百万円
○平成１８年度の完成を目指します。

事　業　効　果

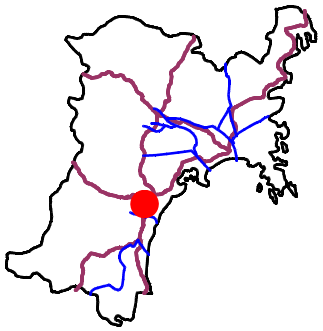
○老朽化した住宅市街地の再開発が促進されます。
○高齢の単身夫婦世帯に対応した高齢者向け優良賃貸住宅と医療、福祉施設を街なかに供給します。
○街なか居住の推進と世代間コミュニティの醸成を目指し多世代向けマンションを供給します。
○施設内に多目的広場を設け、隣接する河川敷公園との一体的空間を提供します。

安全で安心できる地域づくり　少子化・高齢化等への対応

事業名	仙台市営西中田（にしなかだ）住宅ストック総合改善事業（補助：事業主体　仙台市）（宮城県仙台市）
事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

仙台市は、コンパクトな市街地の形成を目標としており、鉄軌道を基軸としたまちづくりを推進しています。公的賃貸住宅においてもこの基本的方針により、中心部や鉄軌道沿線への整備を進めるとともに、市内に散在する市営住宅団地の再編も進めています。

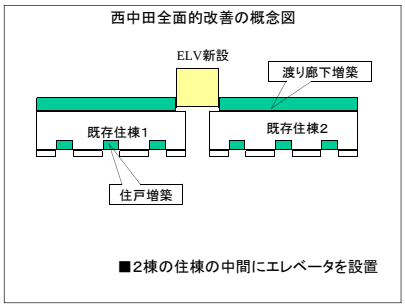
市営西中田住宅は、ＪＲ南仙台駅に近接する利便性の高い立地条件であり、多様な世帯の入居ニーズが高いことから、既存ストックを活用した全面的改善により高齢者の単身・夫婦世帯など多様な世帯構成に的確に対応できる多様な間取りの公営住宅の供給が必要となっています。

「事業の概要」

西中田住宅団地内の全１３棟のうち、８棟について計画的に全面的改善事業を進めています。対象の８棟は、隣接する２棟を１ブロックとして中間にエレベータを設置し、各住戸へのアクセスは渡り廊下を設置することでバリアフリー化を図っています。また、既存ストックを有効に活用するという地球環境に配慮した事業計画となっています。



＜位置図＞





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：２４７百万円
○平成１８年度の完成を目指します。

事　業　効　果

○既存ストックを有効活用し、コスト縮減を図ります。
○多様な間取りの市営住宅を供給することにより、多様な世帯構成に対応します。
○バリアフリー化、耐震化を促進し、安全安心な公営住宅を供給します。

安全で安心できる地域づくり　　**少子化・高齢化等への対応**

事業名	優良建築物等整備事業（アスベスト改修型）・地域住宅交付金 （東北管内各県）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

平成１７年６月に顕在化したアスベスト問題に対応し、平成１８年通常国会において「石綿による健康被害の救済に関する法律案」と建築基準法の一部改正などの関連４法案が成立しました。これを受けて平成１７年度補正予算において優良建築物等整備事業を拡充し、アスベスト改修型を創設するとともに、地域住宅交付金の基幹事業にアスベスト対策型が追加されました。これらの事業により引き続き多数の者が利用する建築物や住宅のアスベスト対策が喫緊の課題となっています。

「事業の概要」

①優良建築物等整備事業（アスベスト改修型）
（対象建築物）　多数の者が利用する建築物で露出してアスベストが施工されているもの
（補 助 対 象）対象建築物の調査に要する費用、除去や封じ込め又は囲い込みに要する費用

②地域住宅交付金
（対象建築物）　公的賃貸住宅（基幹事業）、民間戸建住宅等（提案事業）
（補 助 対 象）対象建築物の調査に要する費用、除去や封じ込め又は囲い込みに要する費用



【建築基準法改正により規制された吹付アスベスト】



【建築基準法改正により規制されたアスベスト含有吹付ロックウール】

⇒

【対策例】



【除去】



【封じ込め】



【囲い込み】

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：３７７百万円（東北管内の合計）
○平成１８年度の完成を目指します。

事　業　効　果

○安全・安心のまちづくりへの寄与されます。
○住宅の安全性が確保されます。

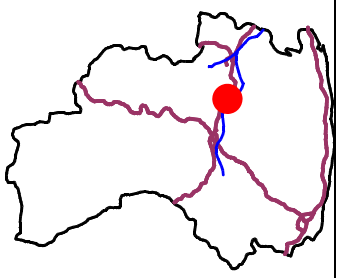
安全で安心できる地域づくり　**少子化・高齢化等への対応**

事業名	二本松公共職業安定所（ハローワーク二本松）（直轄） （福島県二本松市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

二本松公共職業安定所（ハローワーク二本松）は昭和42年に完成しましたが、施設の経年による老朽化が著しく、また近年,求職者が増加傾向にあり、現在の建物では、多様化した雇用情報提供サービスに支障が出てきています。

ハローワークは「人と地域を支える雇用情報センター」として外来者の利便、職員の公務能率の向上を図り、社会環境の変化に伴う多様化した国民のニーズにも機能が十分発揮出来るよう整備されなければならないことから、施設の建て替えが求められています。

「事業の概要」

厚生労働省より平成17年度委託を受け、二本松公共職業安定所（RC-2、延べ面積993㎡）の建て替えを行うものです。

施設の重点整備項目としては以下を考慮します。

①高齢者・障害者等はもとより、すべての人が安全かつ円滑に利用できるよう、きめ細かく配慮した高度なバリアフリー化庁舎の整備を行います。

②二本松の地域性を考慮した親しみやすく、訪れやすい施設整備を行います。

③社会環境の変化に伴い多様化する雇用ニーズに対応出来るフレキシブルな空間設計を行います。

④ライフサイクルコストを視野に入れたコスト縮減を図ります。



完成予想図

⑤地球環境保全対策の推進の為、環境負荷低減を図ります。

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：292百万円
○福島労働局二本松公共職業安定所の完成を図ります。

事　業　効　果

○社会環境の変化に対応した柔軟な業務運営が可能になります。
○高齢者・障害者等にやさしいユニバーサルデザインを取り入れ、地域性を考慮し、親しみやすく訪れやすい施設整備を行うことにより、来庁者のみならず周辺住民からも親しまれる職業安定行政サービスの向上に寄与されます。

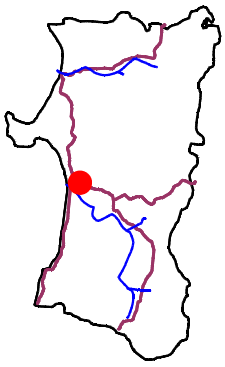
安全で安心できる地域づくり　少子化・高齢化等への対応

事業名	一般国道7号　土崎（つちざき）歩道（直轄） （秋田県秋田（あきた）市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成21年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

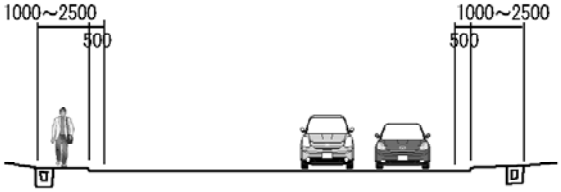
本事業箇所は、秋田市街地北部のDID地区(人口集中地区)にあり、近隣にJR奥羽本線土崎駅(利用者約5千人/日)、学校、市役所支所、郵便局、図書館等公共施設が多数存在し、秋田市交通バリアフリー基本構想における重点整備地区(土崎地区)の特定経路に指定されている区間ですが、自転車や車いすがすれ違い困難な狭幅員区間や段差・傾斜等が多数存在し、バリアフリー化が必要な区間です。

「事業の概要」

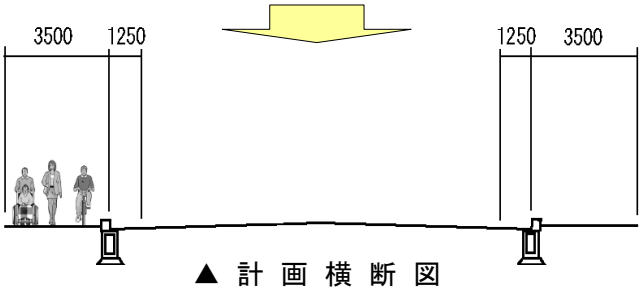
本事業は、広幅員歩道の整備、段差・アップダウンの改善、視覚障害者誘導ブロックの整備等のバリアフリー化により、誰もが安全かつ快適に通行可能な歩行空間の確保を図るものです。



▲ 歩 道 現 況



▲ 現 況 横 断 図



▲ 計 画 横 断 図



◀ 整 備 箇 所 図

〔重点整備地区〕
交通バリアフリー法に基づき策定された「交通バリアフリー基本構想」において、優先的にバリアフリー化を推進することとされている区域。

〔特定経路〕
重点整備地区内の特定旅客施設から高齢者・障害者等が利用する官公庁・福祉施設等までを結ぶ主たる経路。2010年までに「道路のバリアフリー基準」に適合した歩道等を整備する経路。

〔準特定経路〕
重点整備地区内の回遊性・滞在性を高めるための特定経路の補完経路。特定経路に準じてバリアフリー化を推進する経路。

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：48百万円
○用地買収に着手します。

事　業　効　果

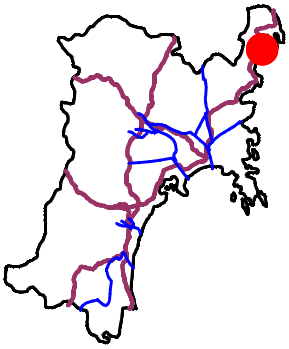
○高齢者・身体障害者をはじめとする全ての人々が安全で快適に利用できる歩行空間が形成されます。

強い東北の創造　**広域的な交流連携の促進**

事業名	三陸縦貫自動車道　一般国道45号　本吉気仙沼道路 （宮城県本吉郡本吉町～気仙沼市）
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：

事業の必要性・事業の概要

宮城県

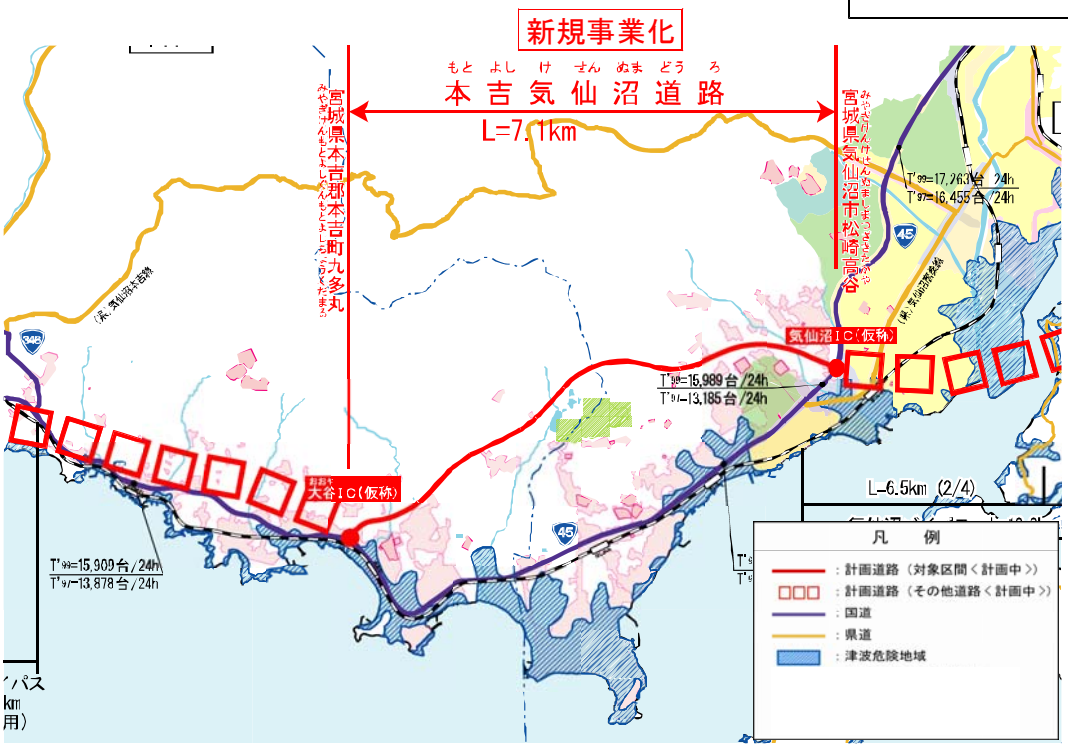


「事業の必要性」

一般国道45号における当該区間は、朝夕の通勤時において激しい渋滞や事故が発生しています。また、今後、宮城県沖地震が高い確率で発生すると想定されており、津波被災時の代替路確保が必要となっています。

「事業の概要」

本吉気仙沼道路は、当該区間における一般国道45号の交通混雑の解消・緩和、交通の安全性や災害発生時の代替路確保を図るとともに、地域間の交流・連携を促進することを目的とした、延長7．1kmの道路です。





▲渋滞の激しい気仙沼市街地



▲渋滞に起因する事故が発生

平成18年度の事業費及び事業内容

○事業費：20百万円
○早期用地着手に向け、調査設計等の実施を図ります。

事　業　効　果

○代替路線の確保（宮城県沖地震発生時の津波浸水被害による大幅な迂回・孤立化の解消）
○時間短縮効果があります。（本吉町～気仙沼市間　現況約35分→整備後約22分　約13分の短縮）

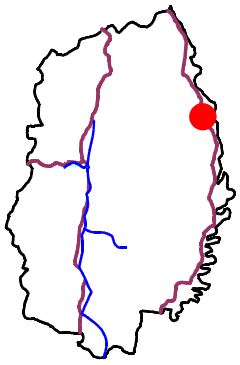
強い東北の創造　広域的な交流連携の促進

事業名　三陸北縦貫道路（さんりくきたじゅうかんどうろ）　一般国道45号　尾肝要道路（おかんようどうろ）（直轄）
（岩手県下閉伊郡田野畑村（しもへいぐんたのはたむら））

事業着手：平成18年度

事業の必要性・事業の概要

岩手県

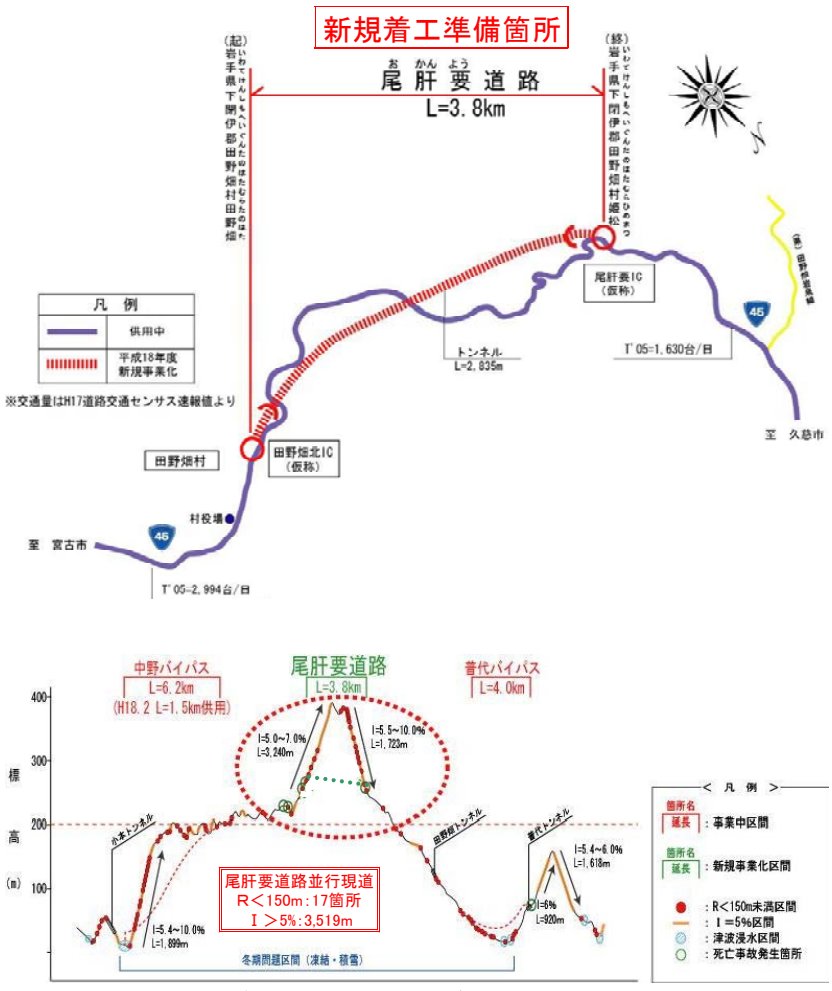


「事業の必要性」

尾肝要道路の並行現道は一般国道45号最大の峠である閉伊坂峠を擁しており、隘路が多数存在します。積雪・凍結時には大型車の立ち往生やスリップ事故が発生するなど交通機能が著しく低下し、救急医療においても道路線形の悪さから救命活動に支障が出ています。当該区間は一般国道45号に代わる代替路が無い事から、これらの問題を解消する道路の整備が必要となっています。

「事業の概要」

尾肝要道路は、当該区間における一般国道45号の隘路解消を図るとともに地域間の交流・連携を促進することを目的とした延長3．8kmの道路です。





▲隘路区間が連続する尾肝要地区



▲線形不良区間での走行状況

▲一般国道45号縦断図（岩泉町～普代村間）



▲冬期の大型車けん引状況

平成18年度の予定及び事業内容

○事業費：20百万円
○調査設計等の実施を図ります。

事　業　効　果

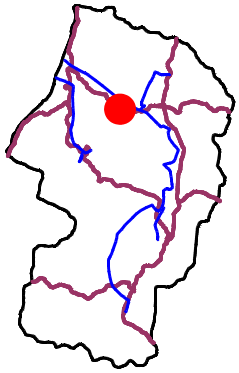
○急勾配・急カーブ区間の回避による安全性の向上、事故・災害時における代替路機能の確保等信頼性の高い交通の確保が図られます。

強い東北の創造　**広域的な交流連携の促進**

事業名	新庄酒田道路　一般国道47号　高屋道路（直轄） （山形県最上郡戸沢村）
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：

事業の必要性・事業の概要

山形県

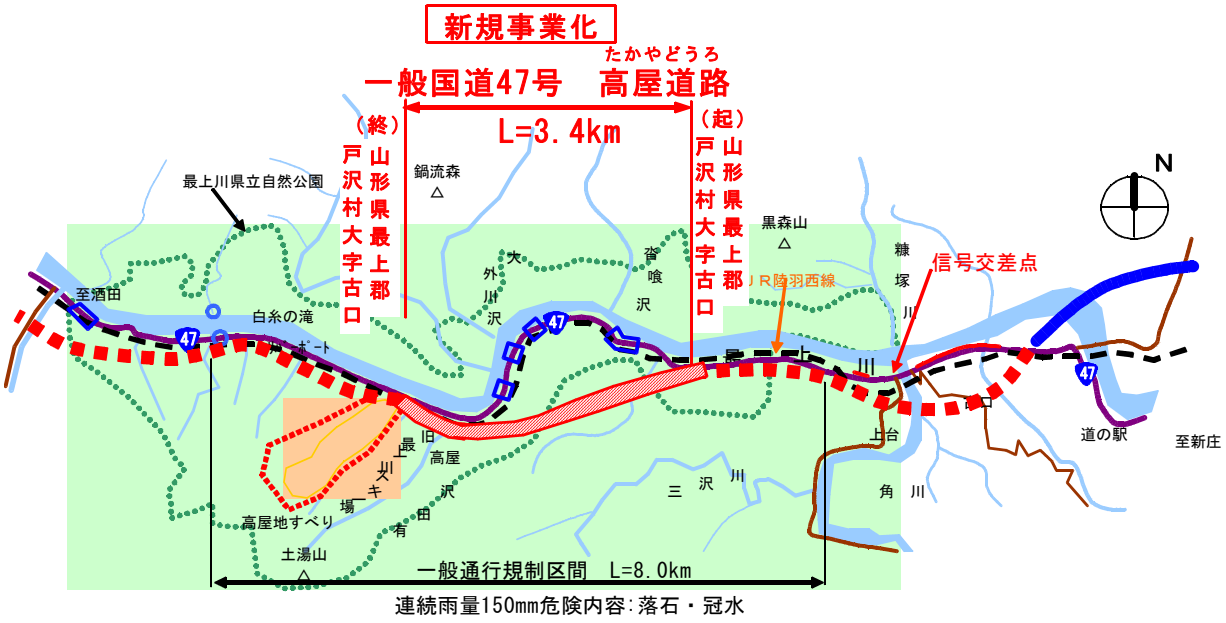


「事業の必要性」

一般国道13号における当該区間は、異常気象等の自然誘発による一般通行規制区間（L=8.0km：連続雨量150mm）があり、更に幅員縮小、線形の悪さから交通事故が多発している。また、災害や交通事故による全面通行止めは過去5年間で14回発生しており、主要幹線道路としての機能が確保されておらず、通勤や産業活動に支障をきたしていることから、早急な整備が必要となっています。

「事業の概要」

高屋道路は、当該区間における一般国道47号の交通の安全性や地域間の交流・連携を促進することを目的とした延長3.4kmの道路です。





▲スノーシェッド内での大型車の事故



▲土砂流出に伴う通行止め状況

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：20百万円
○早期用地着手に向け、調査設計等の実施を図ります。

事　業　効　果

○幅員狭小、線形不良区間を解消し、交通事故が減少
○部分的に代替路線が確保され、迂回が解消
○スムーズで快適な走行が可能となり、地域間交流促進に寄与

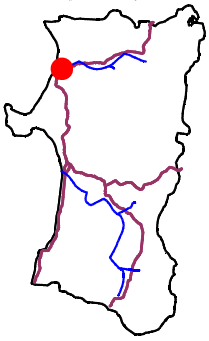
強い東北の創造　広域的な交流連携の促進

事業名	日本海沿岸東北自動車道　一般国道7号　琴丘能代道路（直轄） （秋田県山本郡三種町～能代市）

事業着手：昭和58年度	完成・供用の目標年度：平成18年度部分暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

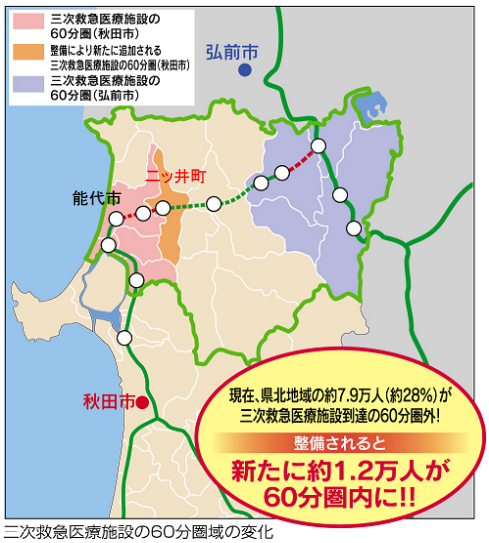
能代市内の国道7号では市街部等で交通混雑が発生しています。また、三次救急医療施設の60分カバー圏が秋田県北地域では72%（東北平均75%）にとどまっており、圏域の拡大が早急に求められています。さらに、人口減少、地場産業低迷等が顕著である秋田県北地域では、秋田市(秋田港)や大館能代空港等とのアクセス向上が求められています。

「事業の概要」

琴丘能代道路は、主要渋滞ポイント能代高校前交差点の渋滞緩和と三次救急医療施設60分カバー圏の拡大、秋田市(秋田港)へのアクセス向上等を目的とした延長33．8kmの自動車専用道路で、能代南ICまでの17．1kmについては供用済み、残る16．7kmについて事業を行っています。







三次救急医療施設の60分圏域の変化

※市町村合併前の市町村単位で表現しております



整備が進む琴丘能代道路（能代南ICから能代東IC方向を望む）

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：7，512百万円
○能代南I.C～能代東I.C間のL＝6．7㎞について、舗装及び付属施設工事を実施し、部分暫定供用を図ります。

事　業　効　果

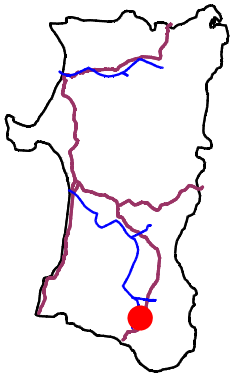
○国道7号の渋滞緩和(主要渋滞ポイント:能代高校前渋滞長700mが整備後500m未満に)
○三次救急医療施設60分圏域の拡大(カバー圏域に新たに旧ニツ井町(約1.2万人)が加わります)
○緊急輸送道路ネットワークの形成

強い東北の創造　広域的な交流連携の促進

事業名	東北中央自動車道　一般国道13号　湯沢横手道路（直轄） （秋田県湯沢市～横手市）
事業着手：昭和59年度	完成・供用の目標年度：平成18年度部分暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

一般国道13号における当該区間は、交通量の増加と車輌の大型化による交通混雑、特に冬期間の交通渋滞が著しく、沿道の生活環境の悪化等を引き起こしており、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

湯沢横手道路は、当該区間における一般国道13号の交通混雑の解消及び沿道環境の改善を図るとともに、地域間の交流・連携に寄与することを目的とした延長29．0kmの道路事業です。





▲国道13号湯沢市上関地内の
冬期交通状況





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：1，470百万円
○三関I．C～須川I．C区間のL＝5．5kmについて、舗装及び付属施設工事を実施し、部分暫定供用を図ります。

事　業　効　果

○医療面への支援
三関I．C付近に移転した雄勝中央病院への所要時間が約3分短縮されます。
○冬期交通環境の向上
民家が建ち並び、冬期には道路の幅員狭小が原因の走行速度低下を起こす現国道13号を回避することができます。

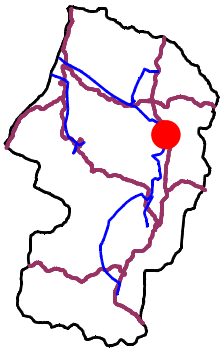
強い東北の創造　**広域的な交流連携の促進**

事業名	東北中央自動車道　一般国道13号　尾花沢新庄道路（直轄） （山形県尾花沢市～新庄市）

事業着手：昭和61年度	完成・供用の目標年度：平成18年度部分供用予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



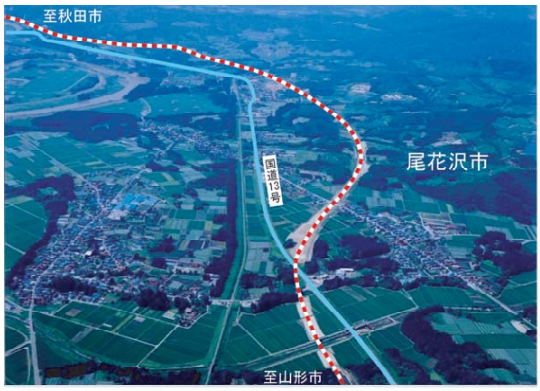
「事業の必要性」

一般国道13号における当区間は、大型車両等の通過交通が多く、沿道に暮らす住民の安全性の低下や、生活環境の悪化が大きな問題となっています。また現道は急勾配箇所が点在するため、冬期間は凍結によるスリップで登れなくなる車両も多く、安定した走行が確保されません。また、朝夕のラッシュ時に「野黒沢交差点」「名木沢交差点」で渋滞が発生しており、通勤や産業活動に支障をきたしていることから、国道としての機能低下が著しく、早急な整備が必要となっています。

「事業の概要」

尾花沢新庄道路は、当該区間における一般国道13号の交通の安全性や地域間の交流・連携を活性化することを目的とした延長18.2kmのバイパス事業です。





▲施工中の尾花沢新庄道路（野黒沢地区上空）



▲名木沢交差点における渋滞状況



平成18年度の予定

○事業費：1，440百万円
○舗装工事を実施し、一部区間（野黒沢～毒沢）L＝6．1kmについて供用を図ります。

事　業　効　果

○騒音や振動等の低減による沿道環境の改善
○冬期走行環境の改善
○尾花沢市～新庄市の所要時間の短縮　：　24分（現況）→12分（全線整備後）

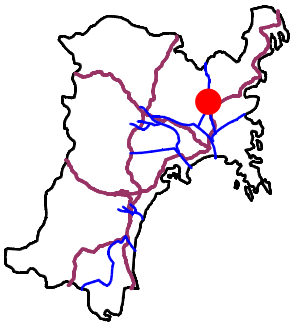
強い東北の創造　**広域的な交流連携の促進**

事業名	三陸縦貫自動車道　一般国道45号　桃生登米道路（直轄） （宮城県石巻市～登米市）

事業着手：平成5年度	完成・供用の目標年度：平成18年度部分暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



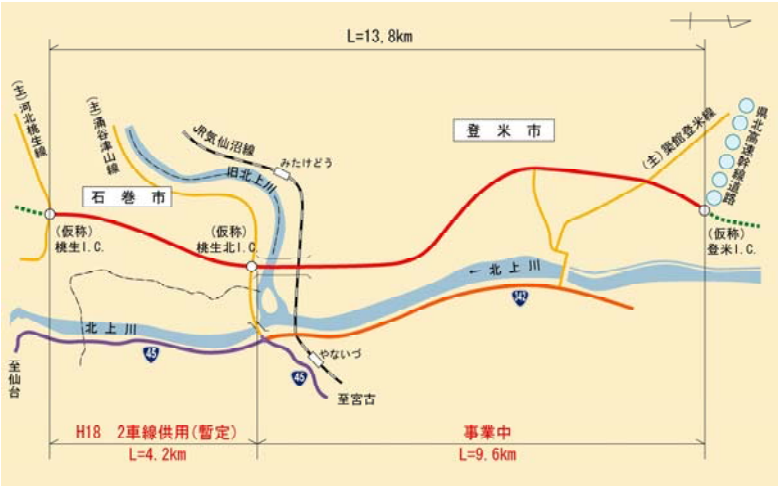
「事業の必要性」

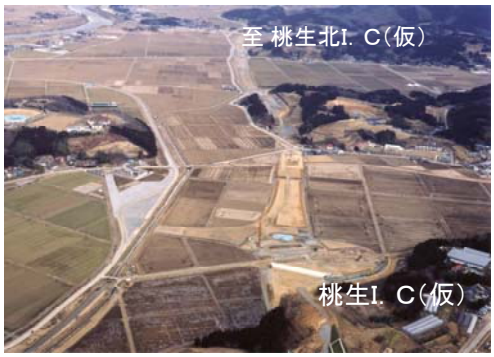
桃生登米道路は、南三陸沿岸地域を結ぶ道路であり、交流促進や地域の活性化のため必要となっています。

また、第3次救急医療施設へ60分で到達できない地域が存在し、一刻も早い救命救急活動を支援する道路整備が求められています。

「事業の概要」

桃生登米道路は、地域間の広域交流連携に奇与することを目的とした、宮城県石巻市桃生町から宮城県登米市中田町に至る延長13.8kmの道路です。

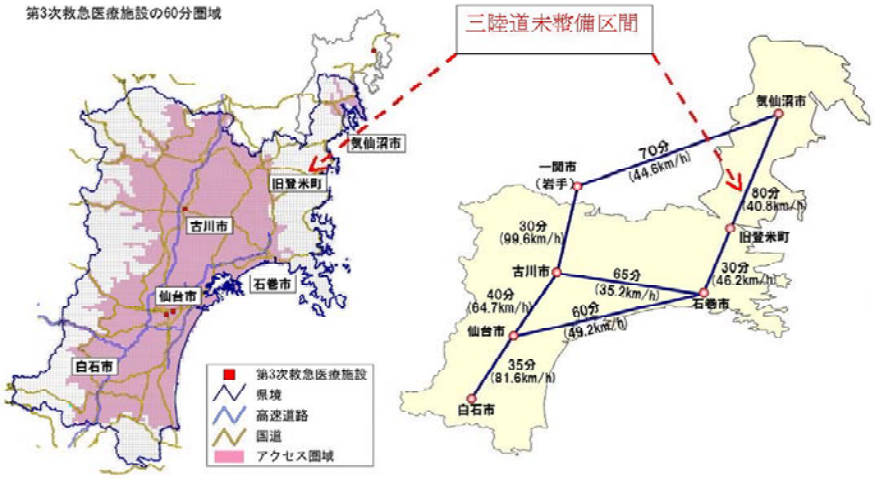




▲現在施工中の桃生登米道路

三陸自動車道が未整備なために、第3次医療施設へ60分で到達できない地域が存在！

▶第3次救急医療施設へ60分でアクセスできない地域が存在



◀主要都市間の所要時間が長い

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：5，208百万円

○桃生IC（仮称）～桃生北IC（仮称）までの区間L=4.2kmについて、舗装及び付属施設工事を実施し、部分暫定供用を図ります。

事　業　効　果

○高速道路ICアクセス性の向上（広域交流促進の支援）

○第3次救急医療施設へのアクセス性の向上（救急医療活動の支援）

○旧登米町役場から仙台市役所までの時間短縮　90分（整備前）→65分（全線暫定供用後）25分短縮

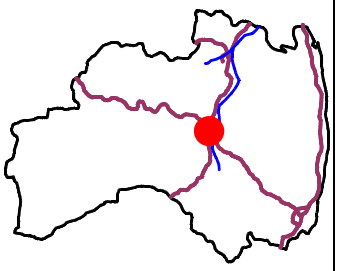
強い東北の創造　**広域的な交流連携の促進**

事業名	郡山西環状道路　一般国道4号　郡山バイパス（針生立体化）（直轄） （福島県郡山市）

事業着手：昭和49年度	完成・供用の目標年度：平成18年度部分暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

一般国道4号郡山バイパス（あさか野バイパス）は平成14年度に全線4車化供用を図りましたが、平面交差点3箇所が連続している針生地区で朝夕のピーク時をはじめとする交通渋滞が著しく、郡山都市圏における広域的な交流・連携の推進を図るうえでも早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

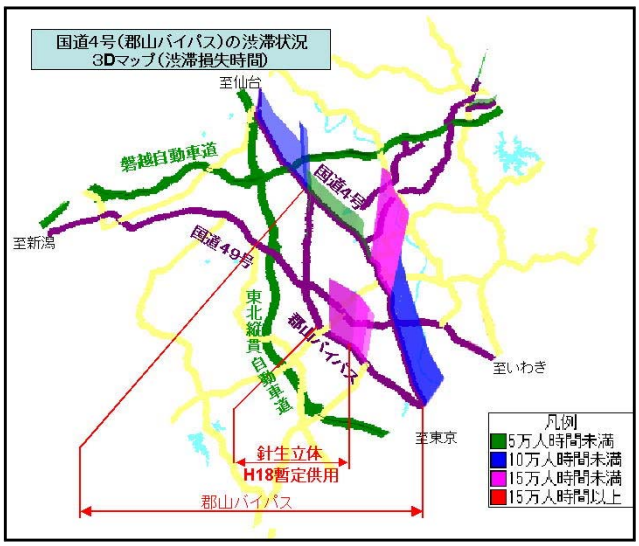
郡山バイパスは郡山市街地の交通混雑の緩和や交通の適切な分散導入により都市圏交通の円滑化を目的とした延長17．2kmの4車線道路で平成7年にはバイパス部（14．1km）が地域高規格道路に指定されています。

当該バイパスは平成14年度に全線4車線供用を図りましたが、3箇所の平面交差が連続する針生地区の渋滞緩和に向けた立体化事業を推進します。





▲針生地区における渋滞の状況



▲渋滞状況3Dマップ



▲針生高架橋（仮称）完成予想図

注）渋滞損失時間：一般県道以上の道路における渋滞がない場合の所用時間と実際の所要時間の差

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：1，480百万円
○針生高架橋の床版工、舗装工事等を実施し、部分暫定供用を図ります。

事　業　効　果

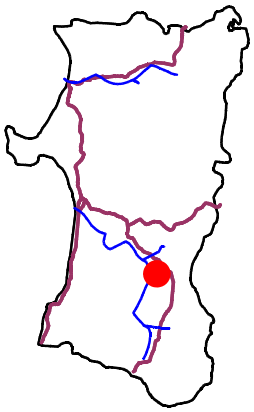
○主要渋滞ポイント「台新交差点」の渋滞解消
・渋滞長　1，070m（現況）→380m（暫定供用後）　・通過時間8分（現況）→4分（暫定供用後）

強い東北の創造　広域的な交流連携の促進

事業名	本荘大曲道路　一般国道105号　大曲西道路（補助：事業主体　秋田県） （秋田県大仙市（だいせんし））
事業着手：平成9年度	完成・供用の目標年度：平成18年度暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

一般国道105号 大曲西道路は、地域相互の交流促進及び高速ICや秋田新幹線駅との連絡等を強化することを目的とし、全国的に形成される地域高規格道路整備の一環として建設される自動車専用道路で、秋田県沿岸部と内陸部を結ぶ骨格道路として早期に整備する必要があります。

「事業の概要」

大曲西道路は本荘大曲道路の一部を構成する道路であり、大仙市周辺市町村から秋田自動車道へのアクセス強化と大仙市街地部における交通混雑の解消を目的とした延長6．8kmの暫定2車線（将来4車線）の自動車専用道路です。



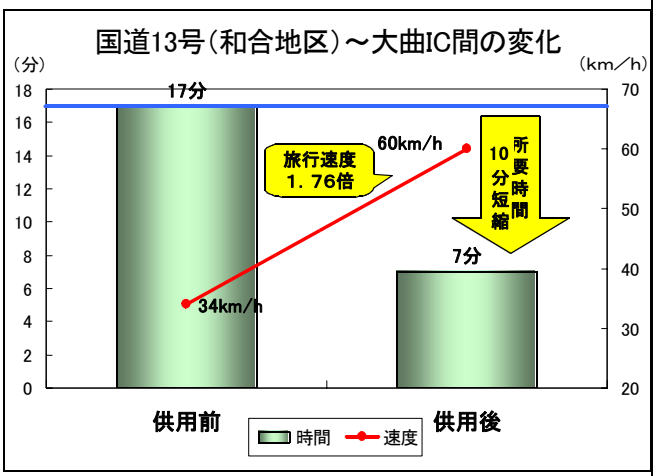


▲大仙市街方向へ渋滞が発生（大曲橋）



▲完成予想図（大曲ICから大仙市街を望む）

▼大曲西道路の整備効果



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：　　70百万円
○法面工、標識設置工、照明灯設置工等を実施し、暫定供用を図ります。

事　業　効　果

○国道13号から秋田自動車道・大曲IC間のアクセス強化、市街地の渋滞緩和
　旅行速度　　34km／h（現況）　→　60km／h（全線供用後）
　所要時間　　17分（現況）　→　7分（全線供用後）

強い東北の創造　**広域的な交流連携の促進**

事業名	格子状骨格道路ネットワーク事業 （東北６県）

事業の必要性・事業の概要

「事業の概要」

都市間距離と峠と雪を克服し、広域的な交流・連携を促進するとともに、都市と周辺市町村との連携による新しい地域間のつながりを支援するため、高規格幹線道路と地域高規格道路による4本の南北軸、7本の東西軸で構成される格子状骨格道路ネットワークについて、投資効果を最大限に発揮できるよう重点的かつ効率的に整備を進めます。また、東北中央道 東根～尾花沢間が新たに新直轄方式として編入して高速自動車国道（3路線8区間）について、引き続き事業・調査を進めます。

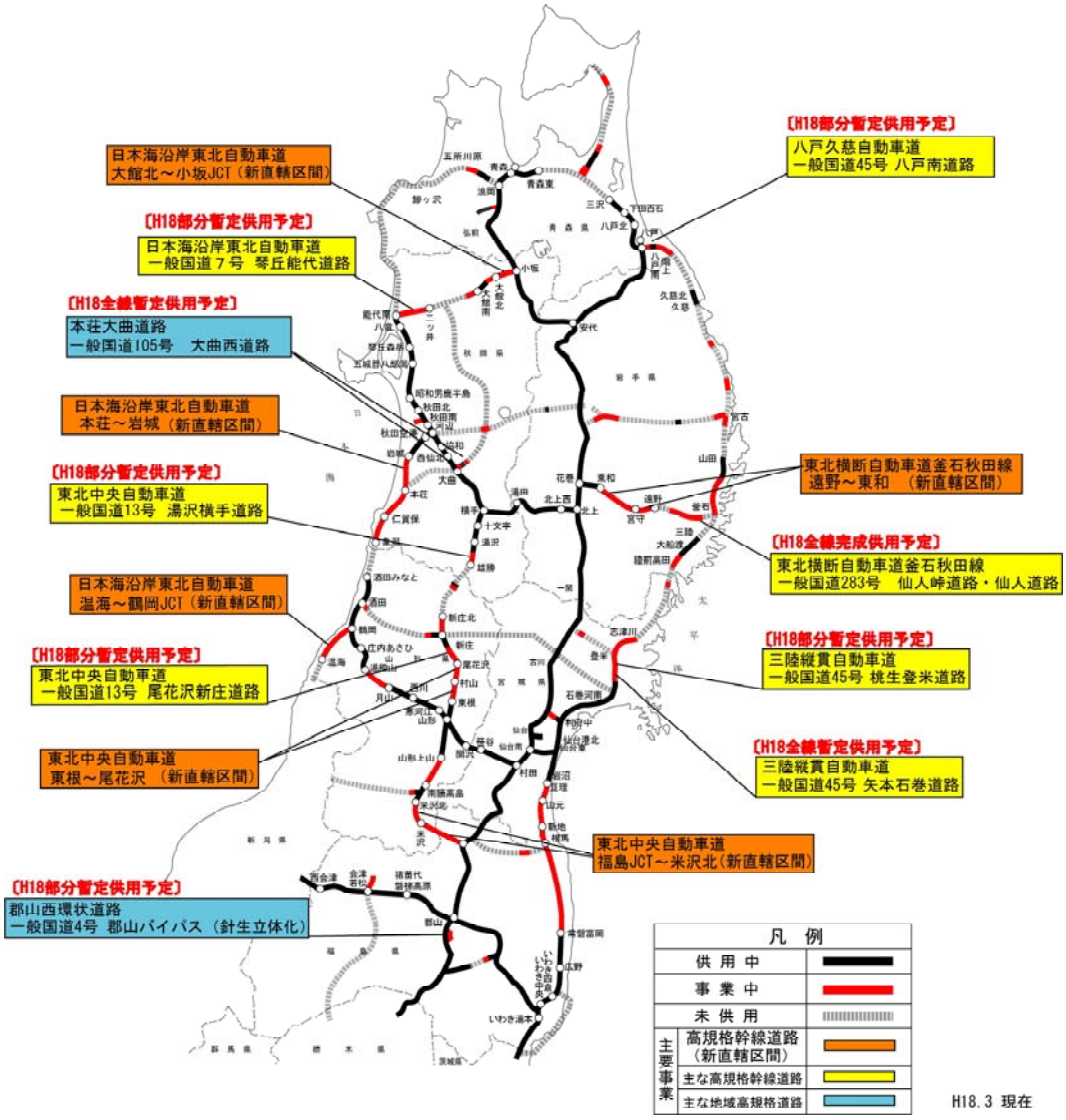
【延長（km）】

		全体計画	H17末まで	H18末まで	H19末まで
高規格幹線道路	全国	14，000	8，836	ー	ー
	東北	2，204	1，394	52	1，519
地域高規格道路	全国	6，950	1，707	ー	ー
	東北	660	83	3	112

成果目標	現在	5年後	長期
規格の高い道路を使う割合	8%	約9%	約15%

※目標年次は、「社会資本整備重点計画」(H15～19)に即し、H14年度末を現在とし、5年後の目標値を設定。

［東北地方における自動車専用道路ネットワーク］

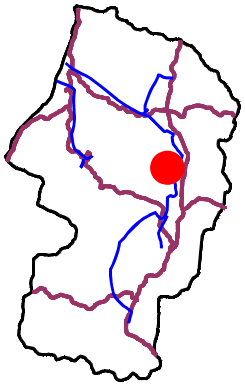


強い東北の創造　国際競争力の強化

事業名	最上川水系直轄総合水系環境整備事業（村山地区フットパス）（直轄） （山形県村山市）
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



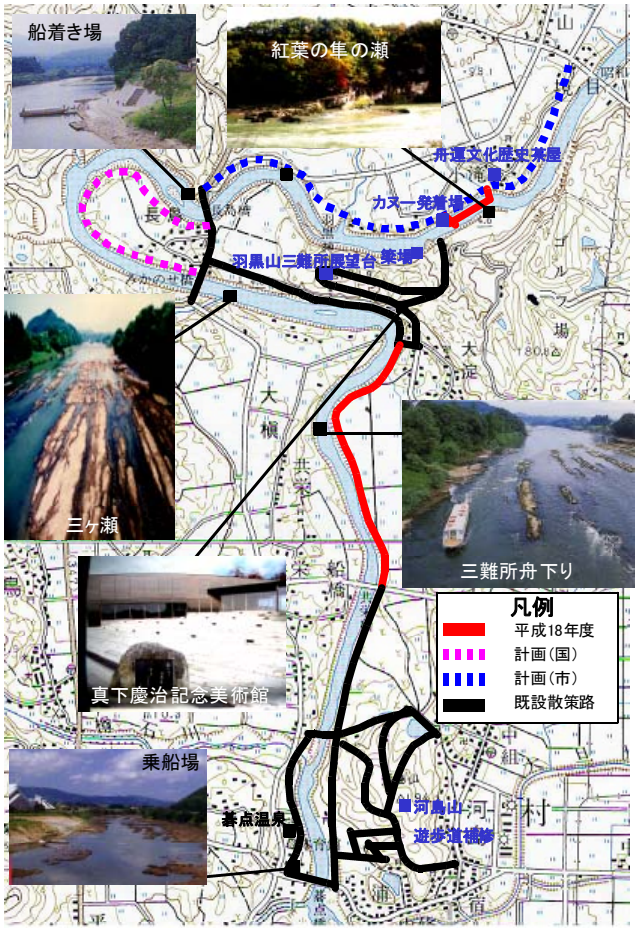
「事業の必要性」

本事業は、国内外の観光旅行者の集客に寄与することを目的とした『最上川観光交流空間づくりモデル事業』のハード整備の一つとして位置づけられています。村山地区において美しい自然と沿川の魅力ある観光資源をつなぐ「フットパス」（歩くことを楽しむための小みち）の整備を図る事で、観光利用の促進と地域の活性化に貢献するものです。

「事業の概要」

「魅力と魅力をつなぐ小径（こみち）づくり」を整備テーマとして、基盤となる散策路等を国が整備し、河川外の案内看板や施設は自治体が整備、地元が維持管理を実施するなど、国と地域が一体となった『かわまちづくり』を進めます。

【整備概要図と周辺の観光拠点】





【整備イメージ】





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費　：50百万円
○事業内容：散策路、階段、河道整正、案内板の整備を推進します。

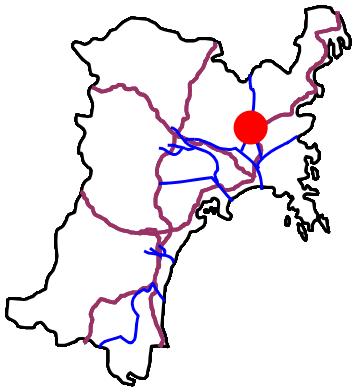
事　業　効　果

○観光の拠点と拠点を結ぶフットパスネットワークを構築し、観光利用の促進と地域活性化へ寄与
○散策路を活用する事からの健康促進効果
○川を活かした自然体験活動の場の創出

事業名	北上川水系直轄総合水系環境整備事業（歴史公園整備）（直轄） （宮城県登米市、石巻市）
事業着手：平成18年度	完成目標年度：平成21年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



位置図

「事業の必要性」

当該地区は歴史的背景から河川との結びつきが深く、古くは川村孫兵衛や明治政府による河川改修が行われ、藩政時代には廻米の舟運と相まって地域の交流拠点でした。また、輸送手段の変化で舟運は衰退した現代ですが、近年、舟による地域間の交流が活発になってきております。このような背景を受け、当該地区では北上川を軸とした水辺の交流拠点の整備とあわせて、歴史的土木構造物の保存と河川改修の歴史を見て、学ぶことのできる公園の整備が望まれています。

「事業の概要」

本事業は、北上川の河川事業の歴史・文化を後世に継承する総合学習の場、地域の交流の場としての拠点整備を進めるものであり、地元自治体が実施する公園整備とあわせて、国が基盤整備、船着場、緩傾斜堤等の整備を実施します。また、整備にあたっては、地域住民がまとめた基本構想「学ぶ、体験する、交流する」をコンセプトをもとに、地域住民と一体となった『かわまちづくり』に取組んでいます。

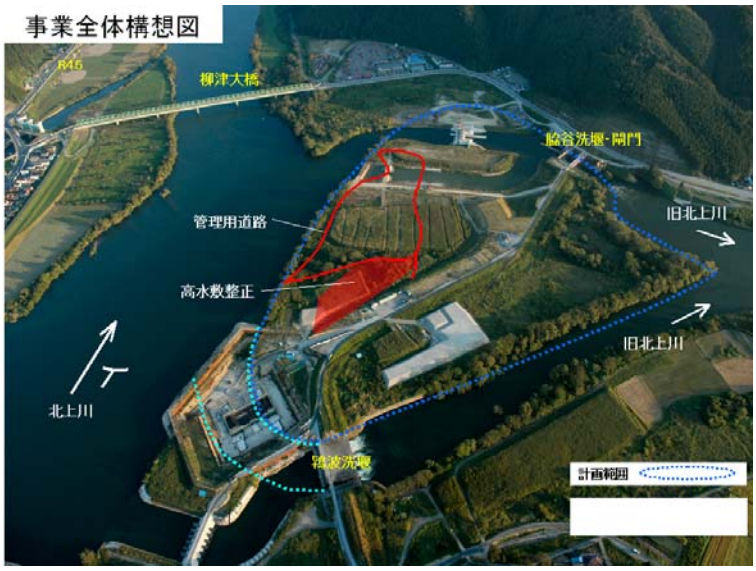
船着場・管理用道路（イメージ）



展望広場（イメージ）



事業全体構想図



鴇波洗堰



脇谷洗堰・閘門



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費　：85百万円
○事業内容：高水敷整正、管理用道路工の整備を推進します。

事　業　効　果

○歴史的土木構造物（脇谷洗堰・閘門、鴇波洗堰）の保存と次世代への歴史・文化の継承
○舟運や交流拠点整備による水辺利用者の増加
○周辺関連事業（桃生ＩＣ）と連携を図った整備による水辺への観光客の誘客

強い東北の創造　**国際競争力の強化**

施策名	日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン） （東北管内全域）

施策着手：平成18年度～

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性・概要」

「日本風景街道」は、地域固有の景観、自然等の資源を有効に活用し、訪れる人と迎える地域の交流による地域コミュニティの形成に資する美しい道路空間形成を実施するための取り組みであり、地域（官民）が主体となって活動するものです。

東北地方においては、豊かな自然と歴史、文化、風景が数多く残存しており、これらを活用した観光振興を図るため、地域固有の魅力を引き出した活動計画を策定し進めていくこととしております。



▲東北における「日本風景街道」取り組みイメージ

平成18年度の予定

○実際に道空間づくりに取組む地域への支援のあり方、地域が主導となった取組を行う上での課題等を把握し、新たな仕組みや制度の検討を行うため、ケーススタディとして先行的に取り組むモデルルートを全国で20件程度選定し、関係機関と調整を図りながら取り組みを進めていきます。

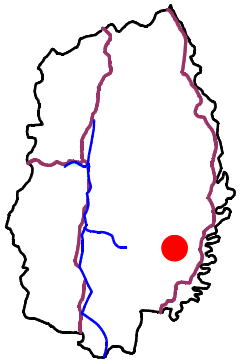
強い東北の創造　**国際競争力の強化**

事業名	東北横断自動車道釜石秋田線 一般国道283号　仙人峠道路（直轄権限代行）・仙人道路（補助：事業主体　岩手県） （岩手県釜石市～住田町（すみたちょう）～遠野（とおの）市）

事業着手：平成4年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

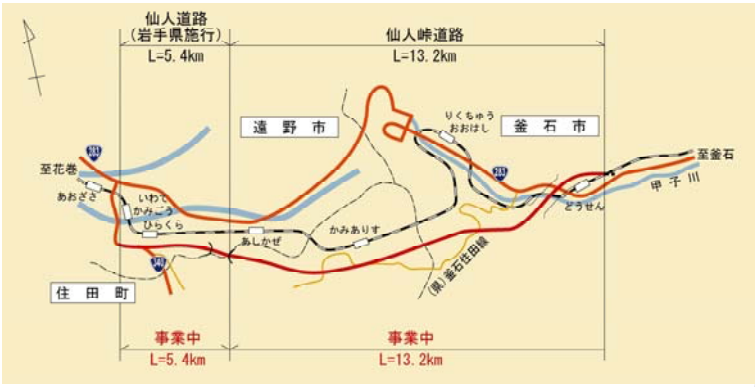
一般国道283号における当該区間は急カーブ・急勾配が連続し隘路（あいろ）区間となっております。

また、大型車のすれ違いが困難な仙人トンネル（Wmin=6．0m）や事前通行規制区間（連続雨量100mm以上）があるなど早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

直轄権限代行として施行している仙人峠道路は直轄施工（13．2km）、岩手県施工（5．4km）、全線18．6kmの自動車専用道路です。

現道の平面・縦断線形不良、異常気象時通行規制区間等の交通隘路区間の解消のほか、高規格幹線道路としての地域間交流の拡大・連携、安全確実な交通の確保を目的としています。





▲大型車のすれ違いが困難な仙人トンネル



仙人峠道路・仙人道路供用による釜石～金ヶ崎の所要時間の変化
［横断道全線整備時には釜石-金ヶ崎間が1時間10分で結ばれます］

■自動車出荷や、釜石市エコタウン事業など、釜石港と内陸・他地域との連携が重要視されています。



釜石港に輸送された自家用車

出典：東北横断自動車道釜石・秋田線
釜石・花巻間建設促進期成同盟会
釜石自動車道利用促進協議会
『釜石道がつながると』より抜粋

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：5，070百万円（直轄）、2，260百万円（補助）
○トンネル換気設備工事、舗装工事等を実施し、事業の完成を図ります。

事　業　効　果

○隘路区間の解消により、安全性が向上します。
○時間短縮効果があります（約35分の短縮）。
○岩手県の自動車産業など、釜石港を利用した物流の安定性・安全性が向上します。

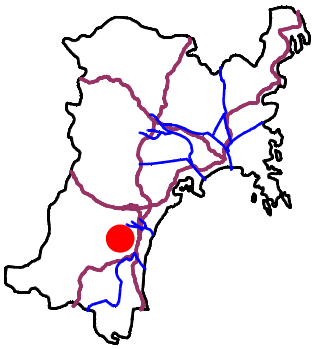
強い東北の創造　国際競争力の強化

事業名	一般県道　仙台館腰線（せんだいたてこし）　整備事業（補助：事業主体　宮城県） （宮城県名取（なとり）市）　（補助・地方道路交付金事業・住宅市街地基盤整備事業補助）

事業着手：平成11年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



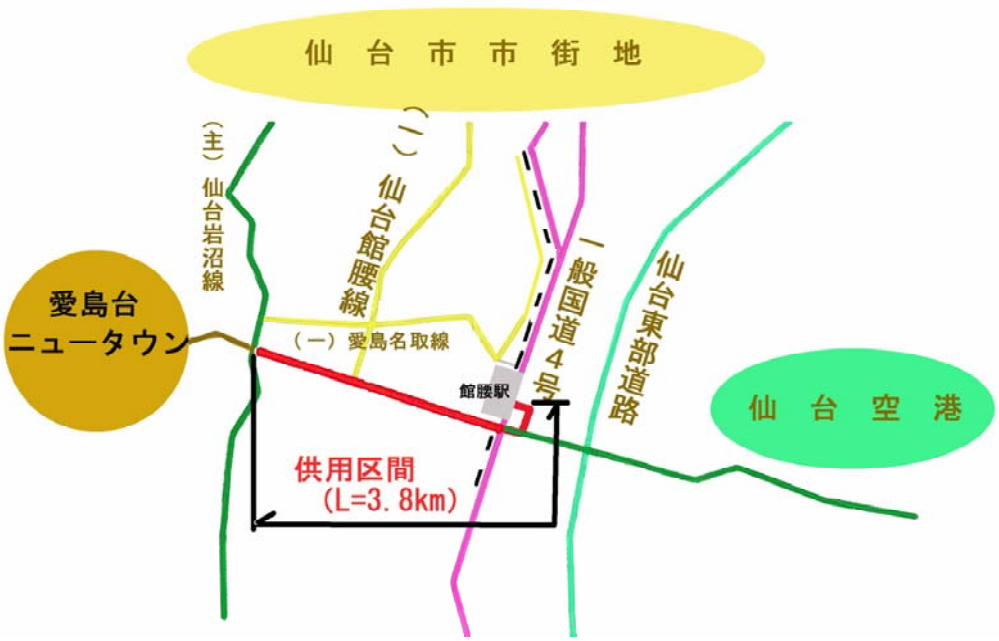
「事業の必要性」

仙台市市街地からの仙台空港、宮城県南部へのアクセス向上、一般国道4号の渋滞緩和が図られます。

現在整備中の愛島台（めでしまだい）ニュータウンとJR館腰駅が直結し公共交通機関を利用する通勤・通学者の方の利便性の向上が図られます。

「事業の概要」

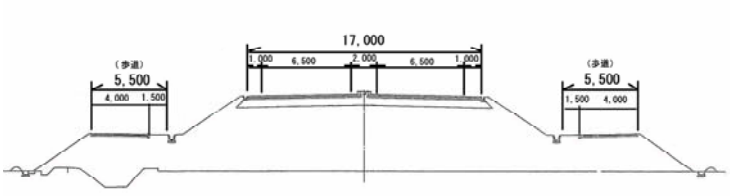
一般県道仙台館腰線は、仙台市街地と一般国道4号を結ぶ県道であり仙台市街地と仙台空港、愛島台ニュータウンをアクセスする道路です。





一般国道4号、JR東北本線を跨ぐ橋梁。
（橋長　309m）

標　準　横　断　図



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：610百万円
○舗装工等を実施し、事業の完成を図ります。

事　業　効　果

○仙台空港へのアクセス人口割合の増加。
○一般国道4号の交通量の分散に伴う渋滞の減少。
（一般国道4号交通量：整備前587百台／日　→　整備後536百台／日　51百台／日減少）

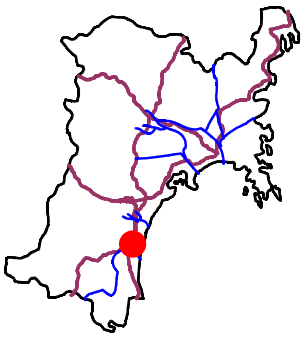
強い東北の創造　**国際競争力の強化**

事業名	仙台空港アクセス鉄道整備事業（直轄） （宮城県名取市・岩沼市）

事業着手：平成14年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

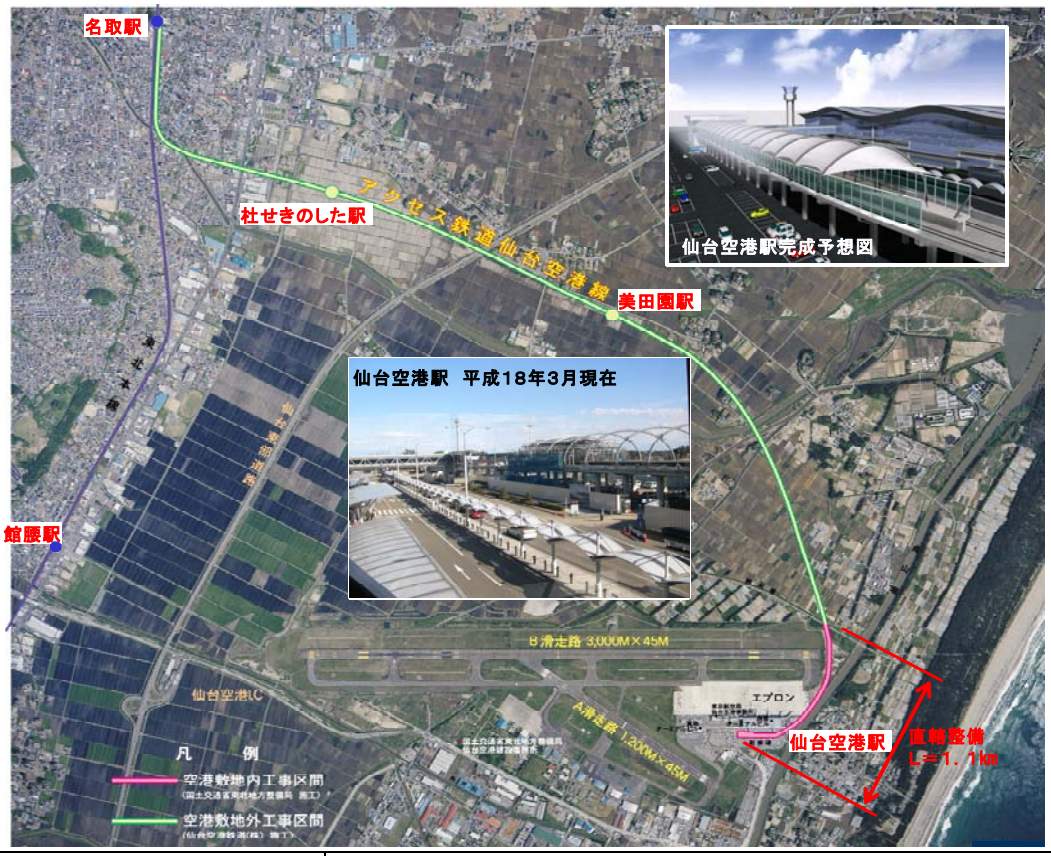


「事業の必要性」

仙台空港は、年間約320万人の旅客利用のある東北地方の空のゲートウェイとして、ビジネス、観光そして物流の拠点空港として機能しています。しかし、地方中枢都市である仙台市からのアクセスは、唯一公共交通機関のバスのみであり、更なる空港機能充実を図るには空港へのアクセスを改善し空港利用者の利便性の向上を図ることが必要不可欠となっております。このようなことから、定時性、速達性、広域性に優れ、かつ大量輸送が可能なアクセス鉄道の整備が必要です。

「事業の概要」

整備区間はJR東北本線名取駅から仙台空港ターミナルビルまでの約7.1km（単線）で、このうち空港敷地内約1.1kmを直轄事業として平成14年度に着手しており、平成17年度には鉄道土木施設が完成しました。平成18年度は、仙台空港駅付近の環境整備を行います。第三セクター仙台空港鉄道株式会社が行う整備とあわせて平成18年度末の開業へ向けて整備を進めます。



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：194百万円
○平成18年度末の開業を目指して仙台空港駅付近の環境整備（駐車場の整備等）を行い事業の完成を図ります。

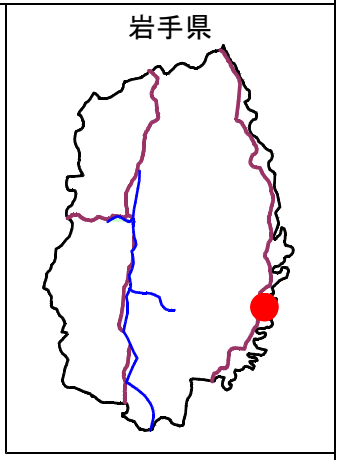
事　業　効　果

○公共交通機関による仙台空港への1時間アクセス圏内の人口
　現　況　108万人　⇒　アクセス鉄道開業後　215万人
　約2倍

強い東北の創造　**国際競争力の強化**

事業名	釜石港須賀地区多目的国際ターミナル整備事業 （補助：事業主体　岩手県）　（岩手県釜石市）
事業着手：平成3年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



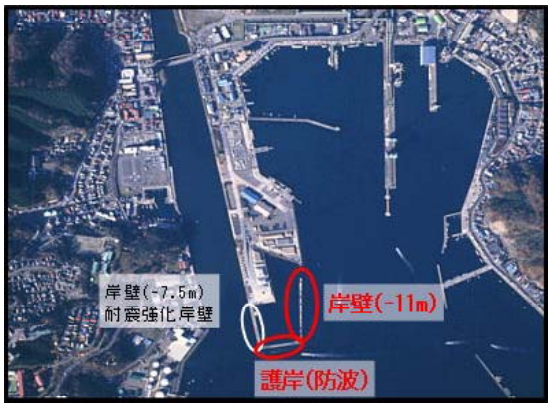
「事業の必要性」

釜石港須賀地区多目的国際ターミナルは、内陸部に立地している自動車関連企業等の生産・消費活動に対応した物流機能の充実を目的に、釜石港と内陸部を結ぶ国道283号（仙人峠道路）とあわせて、整備を進めています。

また、釜石港は静脈物流ネットワークの拠点となる『リサイクルポート』の指定を受けており、金属くずをはじめとするリサイクル貨物を取扱う施設としても、地域経済の活性化に寄与することが期待されるものです。

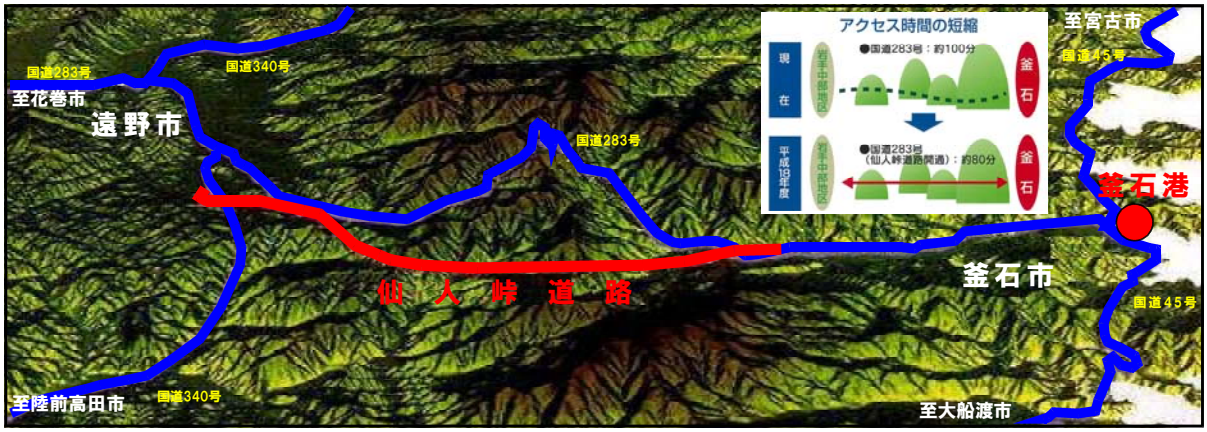
「事業の概要」

釜石港須賀地区において、大型船に対応した多目的国際ターミナル（延長190m、水深11m岸壁等）の整備を行うもので、隣接する水深7．5mの耐震強化岸壁とともに整備しています。



【整備状況】


【完成予想図】



【道路整備と連携した港湾整備事業】

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：80百万円
○舗装工事：（約2，700㎡）を実施し、平成18年度完成を目指します。

事　業　効　果

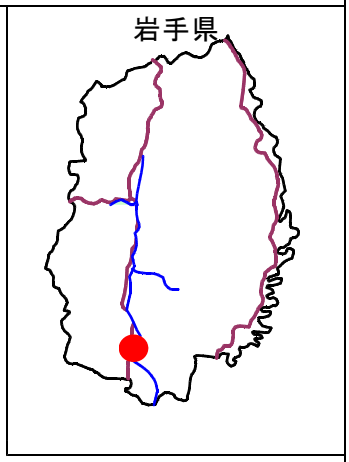
○大型岸壁の不足や物流コストの増大が解消され、物流の効率化が図られます。
○対応船舶　現　状　：　5,000DWT級(水深7．5m)1バース※
　　完成後　：　5,000DWT級(水深7．5m)2バース、18,000DWT級(水深11m)1バース
　　※対象とする船舶が1隻停泊できる岸壁の単位。（1隻分＝1バース）

強い東北の創造　**国際競争力の強化**

事業名	北上川水系直轄総合水系環境整備事業（平泉地区水辺プラザ）（直轄） （岩手県西磐井郡平泉町）

事業着手：平成17年度	完成目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

平泉町は、奥州藤原氏ゆかりの地域であり、中尊寺や毛越寺等の文化遺産が数多く残っており、H20年の世界遺産登録を目指しています。

整備地区周辺には藤原氏の政庁と考えられる柳之御所跡が発掘され、河川改修、国道４号バイパス事業においてもこの遺跡を保全しながら進めています。町では史跡公園として整備を進めており、既に「柳之御所資料館」を開館するなど北上川を機軸に歴史・文化や自然等を素材とした地域の交流ネットワークの拠点整備が進められ、河川としても連携した整備が望まれています。

「事業の概要」

世界遺産登録推進事業をはじめとした自治体のハード・ソフト事業との連携を図り、周辺景観と調和し、訪れた人々が水辺で楽しめる河川の親水空間の創出と、自然を残した河川に親しめるよう散策路や親水護岸、船着き場などの整備を、平泉の歴史・文化と一体となった『かわまちづくり』を実施していきます。







平成18年度事業費及び事業内容

○事業費　：145百万円
○事業内容：散策路、緩傾斜坂路、親水護岸、石張工の整備を推進します。

事　業　効　果

○世界遺産にふさわしい史跡公園と調和が図られた空間の創出
○北上川の歴史回廊構想として舟運等を活用した水辺利用者の増加
○世界遺産と連携を図った整備による水辺への観光客の誘客

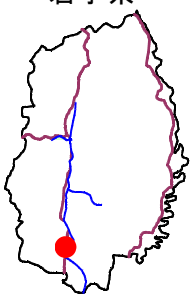
強い東北の創造　**国際競争力の強化**

事業名	一般国道4号　平泉（ひらいずみ）バイパス （岩手県西磐井郡平泉町（にしいわいぐんひらいずみちょう））

事業着手：昭和56年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県

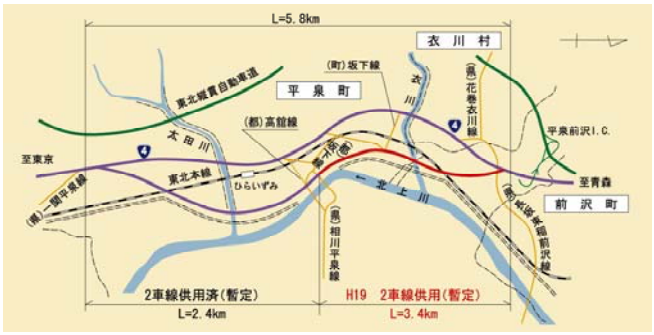


「事業の必要性」

平泉町は、中尊寺（ちゅうそんじ）をはじめとする多くの史跡・名所が点在し、平成20年度には、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録を目指しており、平泉町のまちづくりの核として、北上川の洪水から町を守る一関遊水地事業、訪れた人々が楽しめる親水空間となる平泉地区水辺プラザの整備、平泉の歴史文化施設を巡るためのウォーキング・トレイル事業、毛越寺（もうつうじ）線身近なまちづくり支援街路事業など、国、県、町が一体となり歴史・文化を活かせる各種事業を展開しております。これらの事業とともにまちづくりの一翼を担う一般国道4号は、近年の自動車交通の増大と車両の大型化により交通混雑や沿道環境の悪化が著しく、早急な改善が望まれています。

「事業の概要」

平泉バイパスは、安全で快適な道路交通の確保を図るため、事業に着手し、平成11年度には延長2，400mで暫定2車線で供用しています。また柳之御所（やなぎのごしょ）遺跡の永久保存に伴い、遺跡回避のため堤防とバイパスを川側に変更して事業を進めています。





▲平泉バイパスを上空から望む



▲春の藤原祭り時の国道4号の渋滞状況



▲堤防及び国道の計画線を変更



▲堤防と国道の一体整備イメージ

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：1，970百万円
○平成19年度の全線暫定2車線供用を目指し、改良工事、平泉北こ線橋上・下部工の工事を促進します。

事　業　効　果

○現道の交通量がバイパスに転換し、交通混雑の緩和、沿道環境の改善が図られ、世界遺産登録を目指す平泉町のまちづくりを支援します。

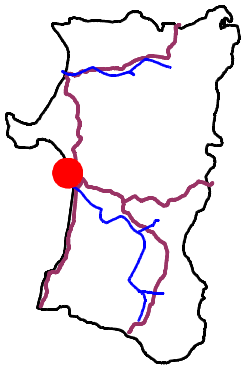
強い東北の創造　**国際競争力の強化**

事業名	秋田港外港地区防波堤整備事業　（直轄） （秋田県秋田市）

事業着手：平成3年度	完成・供用の目標年度：平成21年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



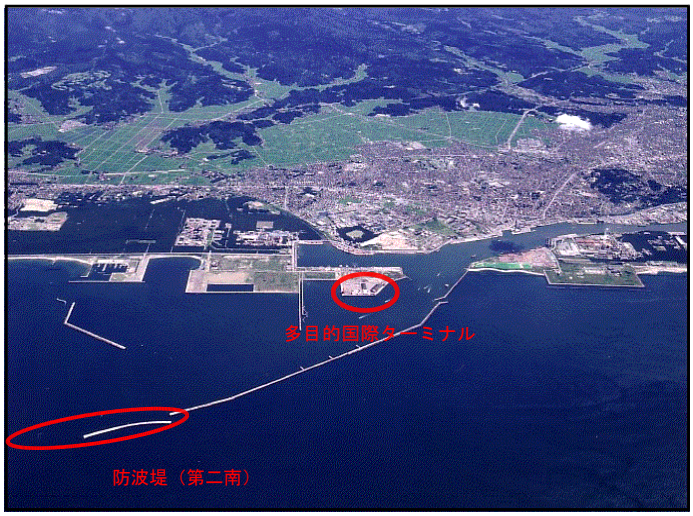
「事業の必要性」

秋田港外港地区の多目的国際ターミナルでは、コンテナ貨物や鉱産品等が取扱われていますが、冬季風浪によって港内が擾乱※し、貨物の荷役に障害が生じています。

また、長距離フェリーの安全性や定時性が確保されていない等の課題もあるため、防波堤の整備によって港内の静穏度を向上させることが求められています。 ※海面が乱れ、荒れている様子。

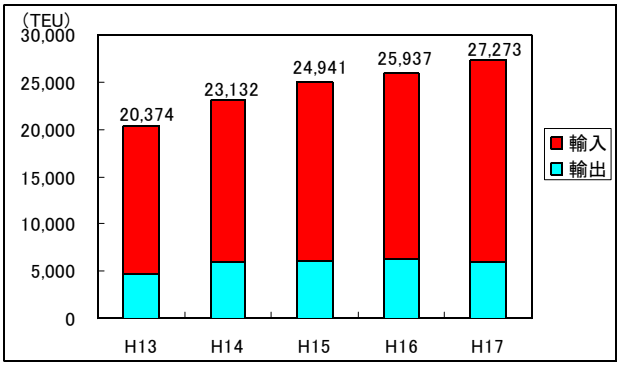
「事業の概要」

防波堤（延長1,400m）の整備によって港内の擾乱を抑え、多目的国際ターミナルの静穏度向上と航行船舶の安全性の向上を図ります。

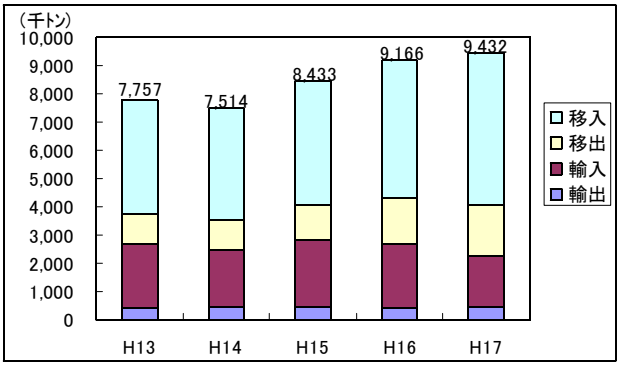




【多目的国際ターミナルの状況】



【増大するコンテナ貨物】



【秋田港の貨物動向】

※H17年貨物量データ：港湾管理者等からのヒアリング値

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：1，400百万円
○防波堤本体（ケーソン）の製作1函、据付2函、基礎工約130mを実施し、事業の進捗を図ります。

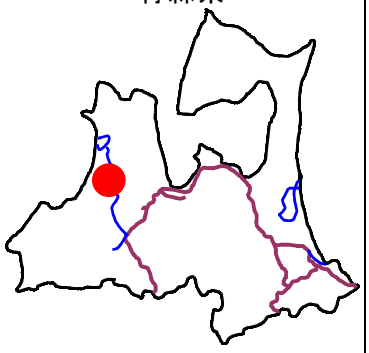
事　業　効　果

○多目的国際ターミナルの静穏度が向上し、物流の効率化が図られます。
○航行船舶の安全性の向上が図られます。

事業名	岩木川水系直轄総合水系環境整備事業（魚がすみやすい川づくり）（直轄） （青森県北津軽郡中泊町）

事業着手：平成18年度	完成目標年度：平成25年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



位置図

「事業の必要性」

岩木川は、その昔、漁獲量が豊富であり魚類の生息環境が良好な河川であったと言われています。しかし、広大な津軽平野の農地をうるおすため取水堰などの建設等により、魚類の遡上・降下が困難な河川となっており、遡上環境の改善が望まれています。そのような背景をうけ、魚がすみやすい環境を再生・復元し、川の連続性を確保する環境整備を水系一貫となって実施していく必要があります。

「事業の概要」

本事業は、自然再生事業として関連機関と連携調整を図りながら、魚道機能の改善及び樋管の堤外水路の段差解消を行い、魚類の生息環境の向上を図るとともに、川の連続性を改善し、魚のすみやすい川づくりを流域一体となって取組んでいきます。



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費　：22百万円
○事業内容：設計検討（魚道改良、堤外水路の段差修正）を整備します。

事　業　効　果

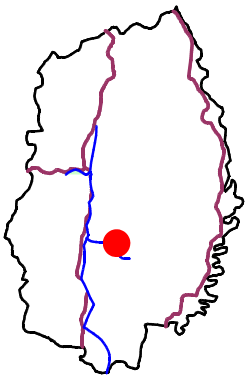
○河川の連続性確保と魚の遡上環境が改善されます。
○流域全体における健全な水域・生態系ネットワークを構築します。

美しい東北の実現　自然環境との調和・共生の推進

事業名	北上川直轄総合水系環境整備事業（田瀬ダム貯水池水質保全事業）　（直轄） （岩手県花巻市東和町田瀬）
事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成18年度予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

田瀬ダムの貯水池は、約9,440haの水田に灌漑用水を供給しています。また、漕艇場として全長2，000mの国内B級コースとして認定され、オリンピック代表や関東圏の大学が合宿に訪れているほか、平成11年度全国高等学校総合体育大会のコースとしても使用されているなど多くの大会が開かれており、漕艇場としての評価も高く且つボート利用も多い場所です。

また、ダム湖畔には釣り公園やオートキャンプ場、ヨットハーバー、親水公園などが整備され、数多くの方々に利用されています。

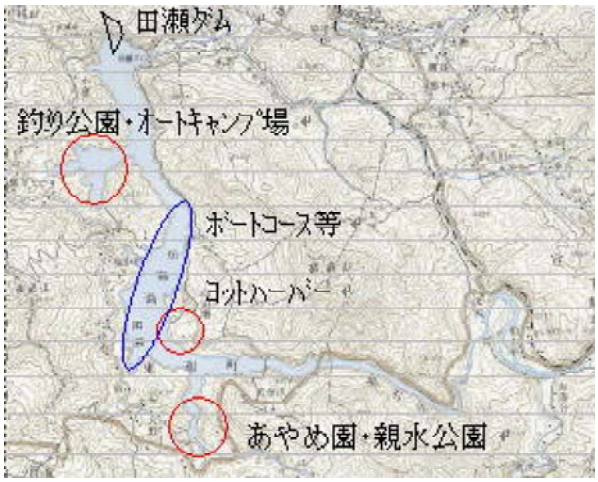
しかし、近年、アオコの発生が顕著化し、安全な水利用が懸念されるほか、ボート利用の支障となったり、憩いの場として利用されている箇所からの景観の悪化が懸念されることから、水質の改善が必要となっています。

「事業の概要」

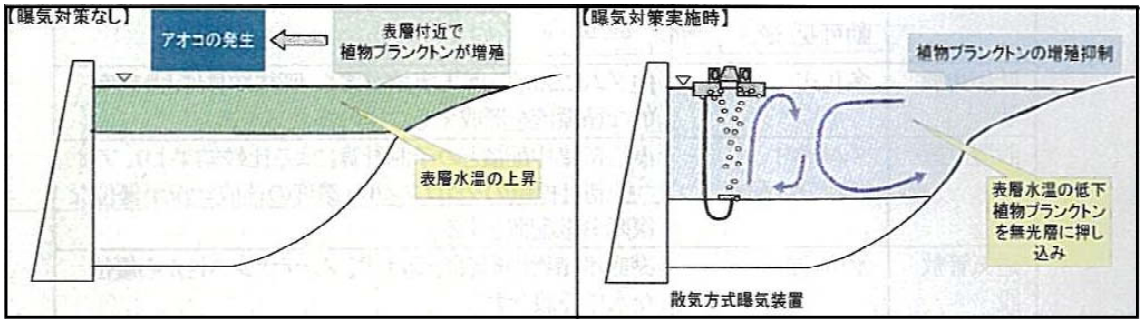
本事業は、田瀬ダム貯水池内に曝気循環施設を設置し、貯水池に循環流を発生させ植物プランクトンが異常増殖し難い環境を創出し、貯水池内の水環境を総合的に保全するものです。



アオコ発生状況



田瀬ダム貯水池平面図



ダム水質対策の例

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：190百万円
○水質保全施設（水力コンプレッサ建屋、曝気循環設備送気配管）を設置し事業の完成を目指します。

事　業　効　果

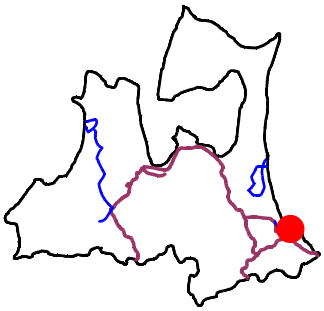
○水質を保全することにより、安全な水利用及び湖面利用を目指します。

美しい東北の実現　**自然環境との調和・共生の推進**

事業名	八戸港河原木地区　港湾環境整備事業〔沼館〕（補助：事業主体　青森県） （青森県八戸市）
事業着手：平成8年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

八戸港河原木地区は、港湾施設の老朽化や他地区への機能移転などにより使用されなくなり、遊休地が生じていることから、都市計画において沼館地区一帯を再開発地区と定め、これらの遊休地を活用し、まちづくりと一体とした市民が集い、憩い、賑わう複合空間の創出を目標とする環境整備が求められています。

「事業の概要」

水辺にボードウォークを配し、また、対岸の工業地帯から商業地帯への急激な変化を緩和する役割として植栽、築山等を配した環境整備（緑地面積24,300㎡）を行っています。

▼事業実施箇所



▼整備イメージ図



平成18年度事業費及び事業内容

○事　業　費：86百万円
○事業内容：遊歩道、植栽、照明施設等を整備して事業の完成を図ります。

事　業　効　果

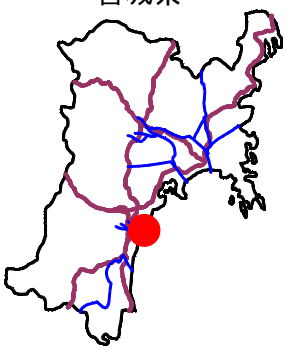
○当緑地は周辺商業施設等からの来訪者を含め利用者も増加してきていることから、今後、市民が集い、憩い、賑わう複合空間として利用されることが期待されています。

美しい東北の実現　自然環境との調和・共生の推進

事業名	名取川河川改修事業（藤塚（ふじつか）地区）（直轄） （宮城県仙台市）
事業着手：平成14年度	完成・供用の目標年度：平成22年完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

仙台東部に位置する藤塚地区は、名取川及び七北田川と海岸沿いを流れる貞山運河に囲まれた低平地であり、名取川の直轄管理区間において唯一の無堤区間となっていることから、早急な治水対策が必要となっています。しかし、当地区には貴重な自然環境が残る井土浦及び貞山運河があり、これら自然環境を考慮した堤防計画並びに整備が求められています。

「事業の概要」

当該地区の河川改修計画は、干潟を締め切る直線の堤防計画でしたが、貴重な井土浦の干潟を保全するため、築堤計画の見直しを行いました。

さらに、この地区は慶長時代に開削された貞山運河が存在し、歴史的景観が形成されているため、自然環境及び景観に配慮した施工を行います。




昭和61年8月出水状況


環境省レッドデータブックの絶滅危惧種に指定されているヒヌマイトトンボ


貞山運河の自然景観

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費　425百万円
○堤防敷の用地取得を図ります。

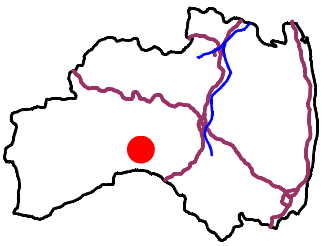
事　業　効　果

○洪水時の住宅地等への浸水被害を軽減するとともに、豊かな自然環境を保全します。

事業名	一般国道289号　甲子道路（直轄権限代行） （福島県南会津郡下郷町～西白河郡西郷村）
事業着手：平成7年度	完成・供用の目標年度：平成20年度全線供用予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

一般国道289号における当該区間には、延長約6．9km（甲子峠）が交通不能区間となっております。

現在、南会津地方から県南地方までの間は、険しい峠に阻まれ遠く迂回することを余儀なくされています。当該地方の広域的な交流・連携の推進を図るうえでも通行不能区間解消等の早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

甲子道路は交通不能区間解消を目的とした延長約5．9kmの2車線道路で直轄権限代行区間として事業を進めています。

また、甲子道路の一部が日光国立公園に位置し、自然環境が豊かなことから、自然との調和・共生を考え「エコロード」として事業を進めています。





▲現在の国道289号



▲甲子トンネル坑口（下郷側）

◆生態系への配慮　ー既存の緑を守るー

地域の生態系へ配慮し、外来種を極力使用せず、工事区域内のカエデ類などの既存種苗を採取し、苗畑で育成した後、のり面に植栽。



苗畑での育成状況



切土法面への植栽



盛土法面への植栽

▲甲子道路「エコロード」の取り組み

平成18年度の事業費及び事業内容

○事業費：3，510百万円
○甲子トンネル（L=4，345m）工事の推進を図ります。

事　業　効　果

○通行不能区間の解消により南会津地方と県南地方の地域間交流が期待されます。
○時間短縮効果があります。（下郷町～白河市間　現況約77分→整備後約52分　約25分の短縮）

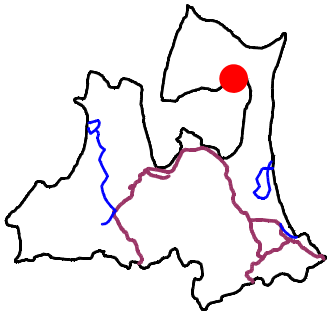
美しい東北の実現　自然環境との調和・共生の推進

事業名	大湊（おおみなと）港海岸大湊（おおみなと）地区　侵食対策事業（補助：事業主体　青森県） （青森県むつ市）

事業着手：平成12年度	完成・供用の目標年度：平成23年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

既設の直立護岸は昭和43～48年度に建設され、基礎部の洗掘、ひび割れ等の老朽化が著しい状況にあります。現在、背後に人家が密集しており防災対策上から老朽化対策が急務となっております。さらに近年、地域住民から海と親しめる豊かな生活空間の復活も求められております。また、天然記念物のコクガンの生息地でもあることから当該事業により海岸防護と併せて、「エコ・コースト事業」の導入により生態系など自然環境にも配慮した整備が必要です。

「事業の概要」

国土保全、人命・財産等の保護と海域環境保全を行う侵食対策事業です。



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：　70百万円
○自然環境に配慮し、自然石を活用した緩傾斜護岸への改良を行い、整備促進を図ります。

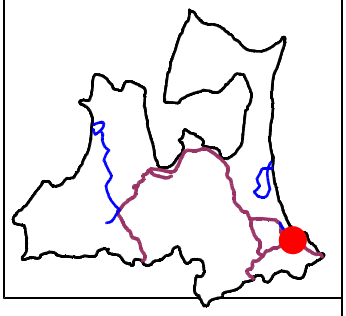
事　業　効　果

○防護される面積　・・・・　（着工前）0ha　→　（完成後）約15ha

事業名	八戸久慈自動車道　一般国道45号　八戸南道路（直轄） （青森県八戸市～三戸郡階上町）
事業着手：平成7年度	完成・供用の目標年度：平成18年度部分暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



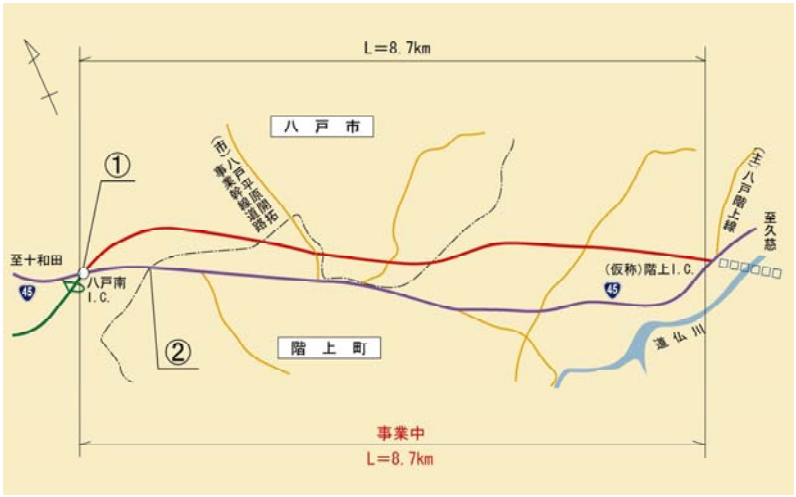
「事業の必要性」

一般国道45号における当該区間は、青森県内第2の都市である八戸市と結びつきの強い階上町をはじめ、三陸沿岸の岩手県北地域とをつなぐ重要な区間となっていることから、交通が集中し、特に国道45号大開交差点付近において、渋滞が発生しています。

また、周辺地域を南北に結ぶ唯一の幹線道路であることから、災害時における信頼性の高い緊急輸送路の確保が求められているなど、早急の対策が必要となっています。

「事業の概要」

八戸南道路は、八戸市－久慈市間を結ぶ「八戸久慈自動車道」の一部を構成し、地域間の交流・連携に寄与することを目的とした延長8．7kmのバイパス事業です。また、「CO_2削減アクションプログラム」に位置づけることによって、当該区間における主要渋滞ポイント「大開交差点」の解消によるCO_2排出の抑制を図ります。

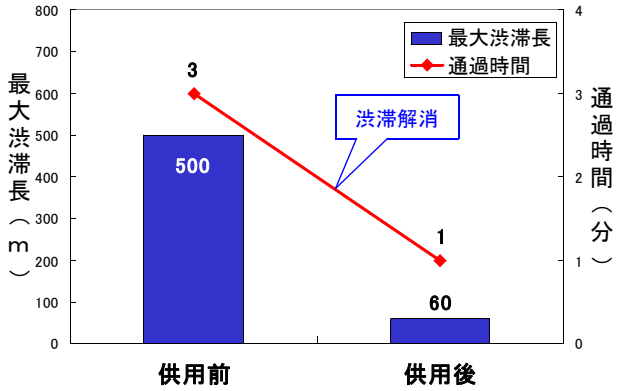


▼①国道45号大開交差点の渋滞状況
（八戸市大字妙地内）





▲②大雨により冠水した国道45号
（八戸市大字大久保地内）



▲大開交差点渋滞長・通過時間の推移（休日：下り）

大開交差点の渋滞解消によるCO_2削減量

約1,700t－CO_2/年

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：2，910百万円
○国道45号を跨ぐ橋梁を完成し、一部区間L＝3．4kmについて暫定供用を図ります。

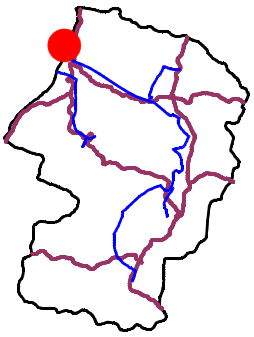
事　業　効　果

○大開交差点の渋滞解消　最大渋滞長500m→60m　通過時間 3分→1分
○階上町方面から八戸ICへのアクセス向上　26分→23分　3分短縮
○大開交差点の渋滞解消により、CO_2約1,700t－CO_2/年削減、同等の効果を樹木によるCO_2吸収で得るためには167haの植樹が必要
○災害時の緊急輸送路の確保

事業名	酒田港（さかた）　循環資源取扱支援施設整備事業 （補助：事業主体　酒田港リサイクル産業センター（仮称））（山形県酒田市）
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県

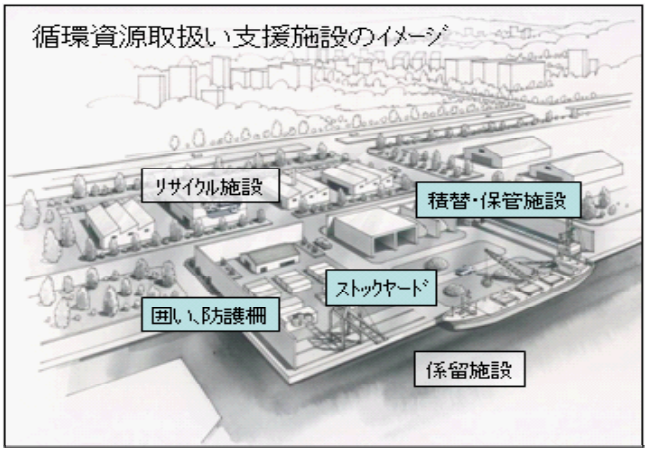


「事業の必要性」

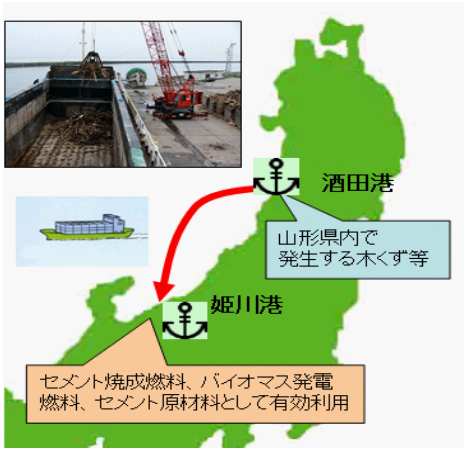
循環型社会の形成を促進するためには、広域的な循環資源の流動を図るネットワークの構築が必要となります。広域的かつ大量な輸送を行うためには、船舶による海上輸送が効果的であり、それを支える機能として、臨海部において循環資源を安全かつ効率的に取扱う保管施設の整備が求められています。特に酒田港においては、遠隔地のリサイクル産業との連携が必要であるため、循環資源取扱支援施設の整備が求められています。

「事業の概要」

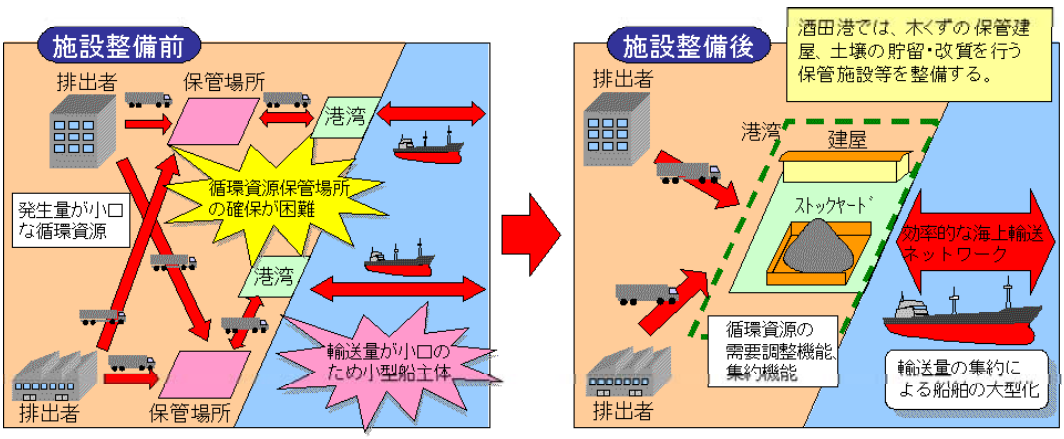
酒田港において廃木材等の循環資源を保管する施設を整備します。なお、本事業は平成17年度に創設されたリサイクルポートに対する支援制度のひとつです。



循環資源取扱支援施設のイメージ



循環資源の輸送ルート



循環資源取扱支援施設整備による輸送効率化のイメージ

平成18年度事業費及び事業内容

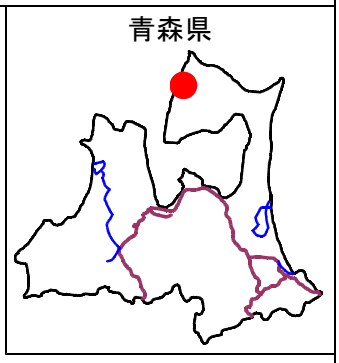
○事業費：198百万円
○事業内容：保管建屋2棟を建設し、平成18年度完成を図ります。

事　業　効　果

○民間事業者のノウハウを活かしながら、港湾の利活用と循環資源の有効活用を進めることで、循環型社会の形成など、環境の改善が期待されます。

事業名	佐井村（さいむら）特定環境保全公共下水道（補助：事業主体　佐井村） （青森県下北郡佐井村）
事業着手：平成10年度	完成・供用の目標年度：平成18年度供用予定

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

下水道事業は、生活環境、公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全等に資するため、事業を促進しているところですが、東北地方における処理人口普及率は53.6%（平成16年度末）と全国平均（68.1%）を大きく下回っています。

特に人口5万人未満の市町村の普及率は36.9%と低く、未だ下水道が使用できない町村もあるため、早期供用開始に向け効率的・効果的な整備促進が必要となっています。

佐井村は、国定公園「仏ヶ浦」を中心に年間18万人の観光客が訪れる観光地であるとともに、基幹産業は漁業が主であり、下水道整備による公共用水域の水質保全が強く求められています。

「事業の概要」

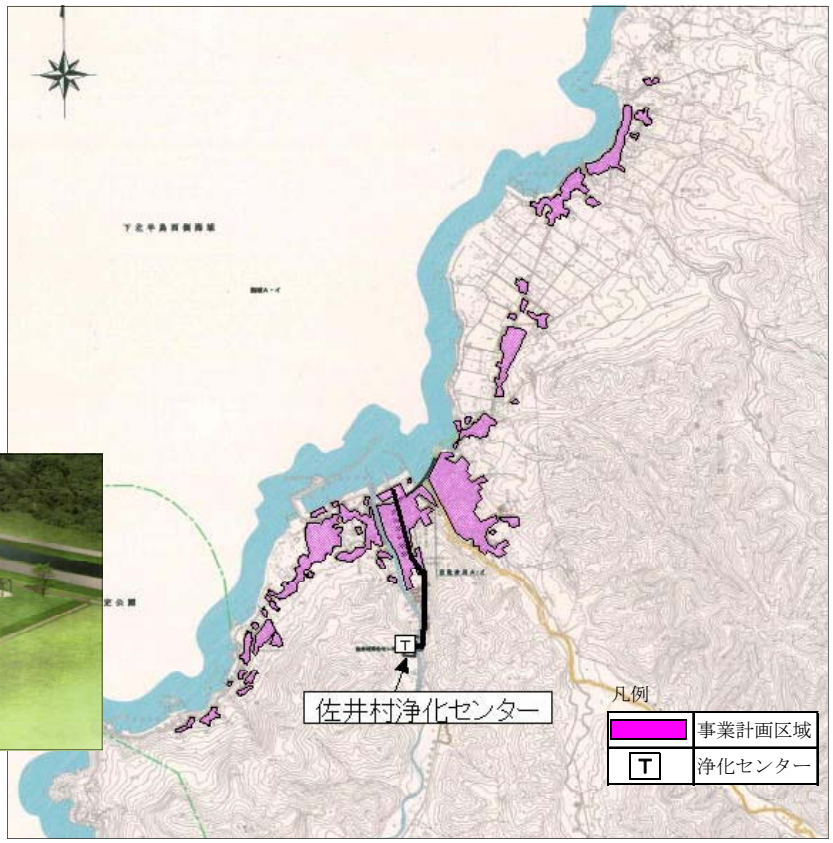
汚水処理の普及促進を図るため、管渠や処理場の整備促進を図ります。

処理人口普及率(平成16年度末)

県名	処理人口	普及率
青森県	691,151	47.1%
岩手県	619,333	44.3%
宮城県	1,695,521	72.2%
秋田県	575,146	49.4%
山形県	754,996	61.9%
福島県	864,743	41.0%
東北合計	5,200,890	53.6%
全国合計	86,364,579	68.1%



＜佐井村浄化センターイメージ＞



＜佐井村下水道処理区域平面図＞

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：306百万円
○浄化センター水処理設備、管渠布設工事（L＝380m　開削工法）等を実施し供用を開始します。

事　業　効　果

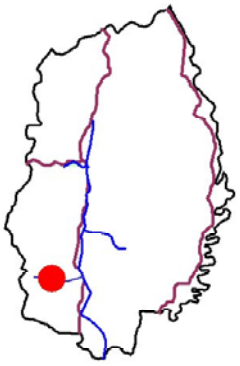
○H19．4の浄化センター供用により、新たに下水道を使用できる人口として約1，000人が見込まれ、生活環境の向上や公共用水域の水質改善が図られます。

事業名	胆沢（いさわ）ダム建設事業（直轄） （岩手県奥州（おうしゅう）市胆沢（いわて））

事業着手：昭和63年度	完成・供用の目標年度：平成25年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

胆沢ダムは、北上川（きたかみがわ）の右支川胆沢川の上流奥州市胆沢区若柳（わかやなぎ）地内に建設中の多目的ダムです。

胆沢ダムは、北上川本川と胆沢川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給、かんがい用水の補給、発電の5つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元

・総貯水容量：14,300万m^3　・高さ：132.0m　・堤頂長：723.0m

・堤体積：1,350万m^3　・ダム型式：ロックフィルダム

○　これまでの事業経緯

平成14～16年度　　堤体基礎掘削工事

平成17年12月末　　堤体盛立23万m^3

○　総事業費：2,440億円、完成工期：平成25年度

（平成12年6月14日：基本計画変更告示）

本体工事中の胆沢ダム ＜下流から＞

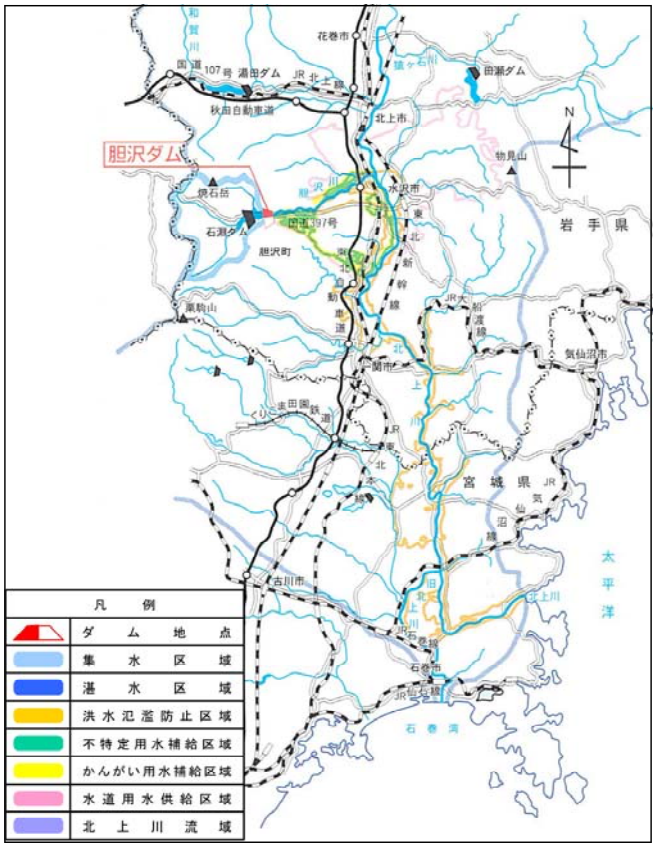


（赤枠はダム堤体の縁取り、平成17年12月撮影）

水沢工業団地浸水状況（H14.7洪水）



胆沢ダム計画概要図



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：16，740百万円

○堤体盛立工事等本体工事を推進するとともに、付替国道工事等の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　ダム地点における洪水量（計画高水流量）2,100m^3/sのうち1,830m^3/sをダムに貯め、270m^3/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて北上川本川及び支川胆沢川の洪水被害の軽減を図ります。

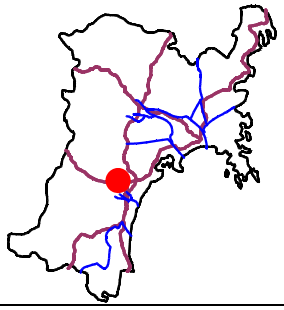
○　また、胆江広域水道企業団への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

事業名	合流式下水道緊急改善事業（補助） （宮城県仙台市　ほか11市）

事業着手：平成16年度（仙台市）	完成・供用の目標年度：平成20年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

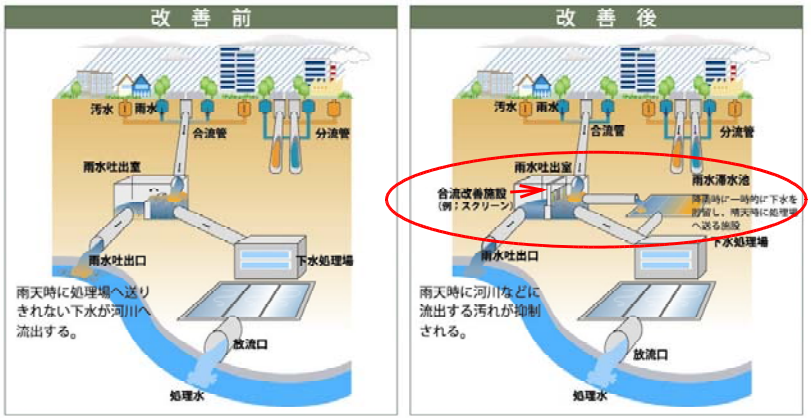


「事業の必要性」

合流式下水道では、大雨時において未処理の汚水が雨水とともに公共用水域に排出され、水質汚濁や悪臭の発生、公衆衛生上の観点から大きな問題となっており、合流式下水道の改善対策を緊急的に実施することが必要となっております。

「事業の概要」

大雨時の越流水による夾雑物（きょうざつぶつ）（ごみ）・水質改善対策として、雨水吐室にスクリーンを設置したり、越流水量の抑制対策として雨水滞水池・雨水貯留管・雨水浸透桝などを設置します。



実施市名

青森県　弘前市、八戸市
岩手県　盛岡市、釜石市
宮城県　仙台市
秋田県　秋田市、能代市
山形県　酒田市
福島県　福島市、郡山市、いわき市、原町市

＜仙台市事業概要図＞



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：535．6百万円
○七郷堀幹線工事（L＝1,310m　シールド工法）等の整備を促進します。

事　業　効　果

○通常の下水道整備に加え3,733haの計画区域で合流式下水道緊急改善事業を実施し、汚濁負荷・夾雑物の削減を図り水環境保全に寄与します。

魅力ある都市づくり　**地域再生・都市再生の推進**

施策名	走りやすさマップ東北6県お試し版の作成 （東北管内全域）

施策着手：平成18年度

施策の必要性・施策の概要

「施策の必要性・概要」

現在の地図は、道路を国道や県道といった「道路の種類」で識別していますが、実際の道路ユーザーにとっては、道路の種類より、むしろ道路の幅やカーブの大きさといった「道路の走りやすさ」が重要な情報となります。そこで、ユーザーの視点に立って、現地の道路事情に詳しくない観光ドライバーへの情報提供を行うとともに、道路網の整備状況を把握し、それを分析評価することで、整備計画への活用を図ることを目的として作成しています。

■「走りやすさマップ」の特徴
○ 道路の「車線数」を線の数と線の太さで表現。
○ 道路の幅、カーブの大きさ、坂の勾配などで「走りやすさ」をランク別に色分け。
○ 渋滞情報、事故危険箇所、通行規制区間、道の駅、主な観光地などの情報を明記。

平成17年度は、モデル地区2地域（青森市街地、猪苗代会津若松地域）で試行的に作成しました。





▲モデル地区（青森市街地）の作成例

平成18年度の予定

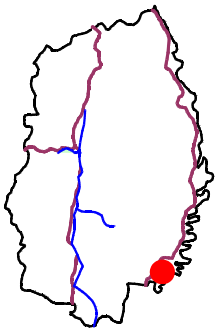
○東北６県全域を対象に「お試し版」を作成し、皆さまの意見を伺いマップの改善を目指します。

魅力ある都市づくり　地域再生・都市再生の推進

事業名	まちづくり交付金　「大船渡港湾周辺地区」（補助：事業主体　大船渡市）（岩手県大船渡市）
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県

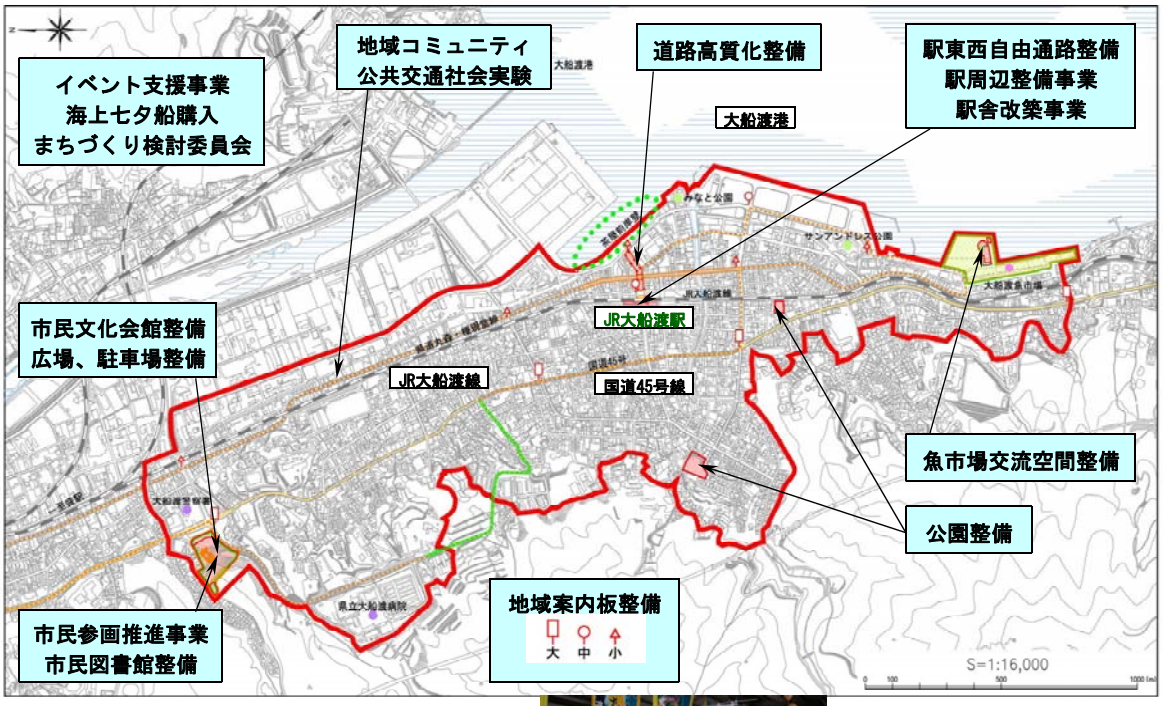


「事業の必要性」

大船渡駅周辺と大船渡港を活かしたまちづくりや文化交流拠点の整備により、交流人口の拡大と賑わいやコミュニティを創出するほか、環境・防災に配慮した整備を実施することにより、地域の方々が安心して暮らせるまちづくりを推進します。

「事業の概要」

地域コミュニティ活動の拠点として、市民文化会館・市場交流空間・図書館などの交流拠点施設を整備します。また、市の玄関口である大船渡駅を観光情報発信機能や案内施設を備えた観光交流拠点として改築するほか、津波災害等の避難経路を確保するため、駅東西自由通路や駐輪場を整備します。





■大船渡魚市場整備イメージ図



■大船渡魚市場でのイベントの様子

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：425百万円（国費）
○駅東西自由通路、街路灯設置、市民文化会館、魚市場交流空間、市民図書間の整備促進を図ります。

事　業　効　果

○環境行動モデル事業との連携を図りながら、交流人口拡大や生活環境の向上による中心市街地の賑わい再生、文化活動の促進、地域の防災力向上に寄与します。

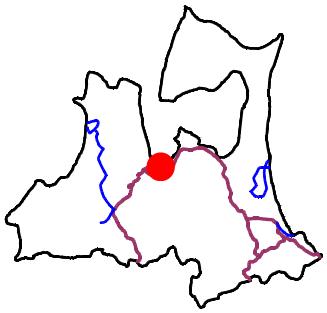
魅力ある都市づくり　地域再生・都市再生の推進

事業名	一般国道7号　千刈地区電線共同溝（直轄） （青森県青森市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

一般国道7号は、新潟市を起点として、日本海沿岸部の主要都市を経て、青森市に至る総延長約540kmの主要幹線道路です。

当該事業によって、電線・電柱類が地下に収められるため、都市景観が向上し、また、歩道が広く使えるため、安全で快適な通行空間が確保できます。

さらに、周辺の無電柱化整備済み区間と合わせて、災害時の救援・救急活動や緊急物資の運搬を最優先する緊急輸送路としての道路ネットワークの構成を支援するもので、無電柱化の必要性の高い地区になっています。

「事業の概要」

千刈地区電線共同溝は、安全で快適な通行空間の確保や災害時のライフラインの確保を図ることを目的とした延長795mの電線共同溝整備事業です。

▼位置図



▼電線・電柱が多い現在の都市景観



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：390百万円
○平成18年度は、本体工事（355m）を実施し、事業の完成を図ります。

事　業　効　果

○都市景観の向上
○安全で快適な通行空間の確保
○情報通信ネットワークの信頼性向上
○災害時等の安定したライフラインの実現

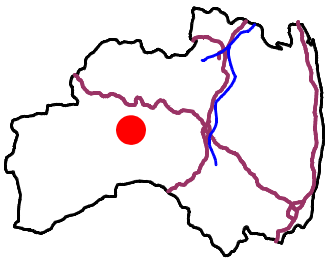
魅力ある都市づくり　地域再生・都市再生の推進

事業名	住宅市街地総合整備事業　「瀬戸町（せとまち）地区」 （福島県会津美里町（あいづみさと））

事業着手：平成11年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

○当地区は、会津美里町の中心部に位置し、東北最古の窯業・焼き物のまちとしての歴史と産業形態を有しながらも、かつての賑わいが薄れ、焼き物のまちとしての面影も失われつつあり、また景観的に混乱した状況にあることから、賑わいを取り戻すと共に、街なかに残されている水路、住宅、土蔵、白鳳山の緑や歴史的な遺構をまもり、会津美里町らしさを後世に伝えるための整備が必要となっています。

「事業の概要」

○道路や水路の結節点に小公園や緑地を整備、また通路整備や道路の美装化による歩行ネットワークを形成し、水路整備や修景助成事業により美しい街並み形成を図ります。

通路整備による歩行ネットワーク

修景助成事業の状況




小公園の整備状況


水路と広場の整備状況

凡例　瀬戸町地区エリア

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：31百万円

○道路美装化、緑地整備等を実施し、事業の完成を図ります。

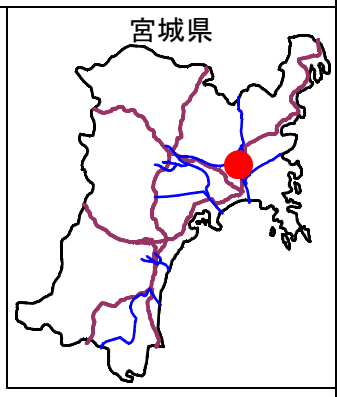
事　業　効　果

○会津美里町の伝統を活かした豊かで快適・安全な居住空間の創出と賑わいの復活に寄与します。

魅力ある都市づくり　地域再生・都市再生の推進

事業名	まちづくり交付金　「上屋浦（かみやうら）地区」　（補助：事業主体　登米市（とめし）） （宮城県登米市）
事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

当地区はJR陸前豊里（くぜんとよさと）駅を中心とした登米市豊里地区の市街地部に位置し、幹線道路の整備や地域産物活用施設「がんばる館」をはじめとする各種の公共施設等のインフラの整備が精力的に進められている地域です。

この地区の良好な生活環境を十分に活用するには、地区内での良質の住宅供給が不可欠であり、そのことにより定住人口の増加をめざし、本計画のメインテーマである「生涯にわたり安心して暮らせる町づくり」の達成を図る必要があります。

「事業の概要」

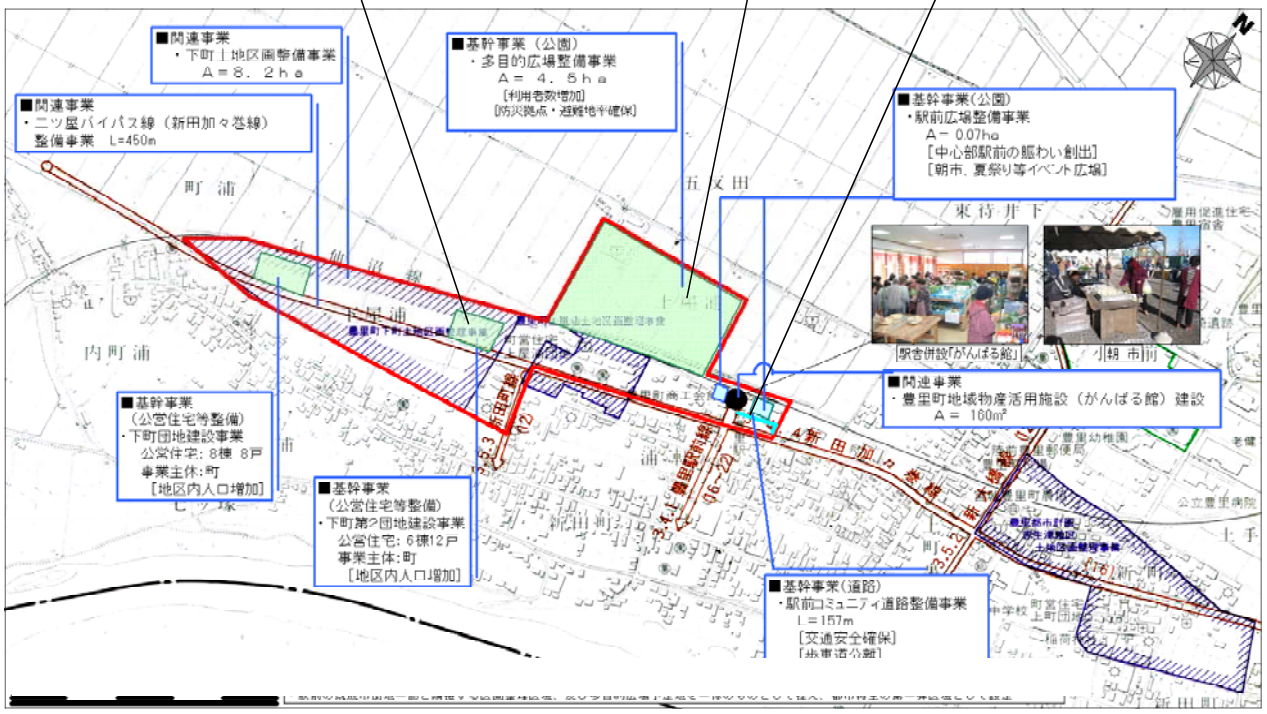
公営住宅の整備により、良質な住環境を提供し、地区内への定住促進を図ります。また、多目的広場、駅前のコミュニティ道路・公園の整備による利便性の向上と新たな交流拠点の確保を図ります。


下町第二団地住宅完成写真


多目的広場完成予想パース


多目的広場クラブハウス


駅前コミュニティ道路完成写真



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：32百万円（国費）
○公営住宅整備事業：下町団地木造2階建て8戸を建設し、事業の完成を図ります。

事　業　効　果

○定住促進による地区内居住人口の増加と利便性向上による地域内交流の活性化に寄与します。

魅力ある都市づくり　**地域再生・都市再生の推進**

施策名	写真を撮るパーキング「とるぱ」の情報提供 （東北管内全域）

施策着手：平成17年3月1日～

施策の必要性・施策の概要

「施策の必要性・概要」

東北地方整備局は、安全に駐車でき、かつ、そこから写真撮影スポットまで歩いて行ける場所の情報を提供することとし、その情報収集を広く皆様からの募集（平成１８年３月１日より開始）によることとしております。

また、募集開始とあわせて<u>フォトコンテストも開催中</u>です。

「とるぱ」が広く普及することにより、**<u>地域の魅力の再発見や地域の活性化支援</u>**につなげるとともに、撮影スポット周辺での<u>迷走車両や迷惑駐車の減少により、交通渋滞や交通事故等の緩和が期待</u>されます。

特に<u>優れた撮影スポットについては、案内標識、案内板の設置を行い、安全な撮影スポットへの誘導</u>を図ります。

本取り組みは、全国の各地方整備局でも開始されております。

東北とるぱホームページ
http://tohoku.torupa.jp/



▲東北とるぱホームページ



▲「とるぱ」ポスター

▲「とるぱ」ロゴマーク

平成18年度の予定

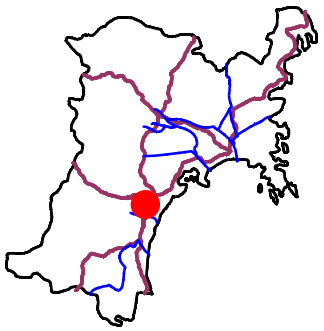
○継続し東北6県全域を対象に「写真撮影スポット」、「安全に駐車できる場所」の情報提供及びホームページでの公開を実施するとともに、フォトコンテストを開催する予定です。

魅力ある都市づくり　地域再生・都市再生の推進

事業名	中央一丁目第二地区第一種市街地再開発事業（補助：事業主体　仙台市） （宮城県仙台市）
事業着手：平成12年度	完成・供用の目標年度：平成20年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

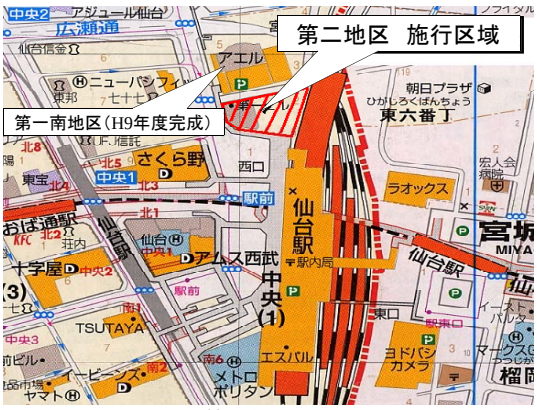


「事業の必要性」

当地区は、ＪＲ仙台駅北部玄関口に位置し、駅前の賑わいの創出と中心市街地の活性化、さらに杜の都仙台のシンボル拠点としてふさわしい駅前の景観形成が期待される地区です。しかしながら、現在の地区内の状況は、土地の高度利用は図られているものの、建物の老朽化が目立ち防災上の不安を抱える状態で都市機能面でも商業空間の連続性や歩行者回遊性が不十分であること、業務についての高次の情報化等に対応した機能導入が図られていないこと等魅力に欠けるものとなっています。

「事業の概要」

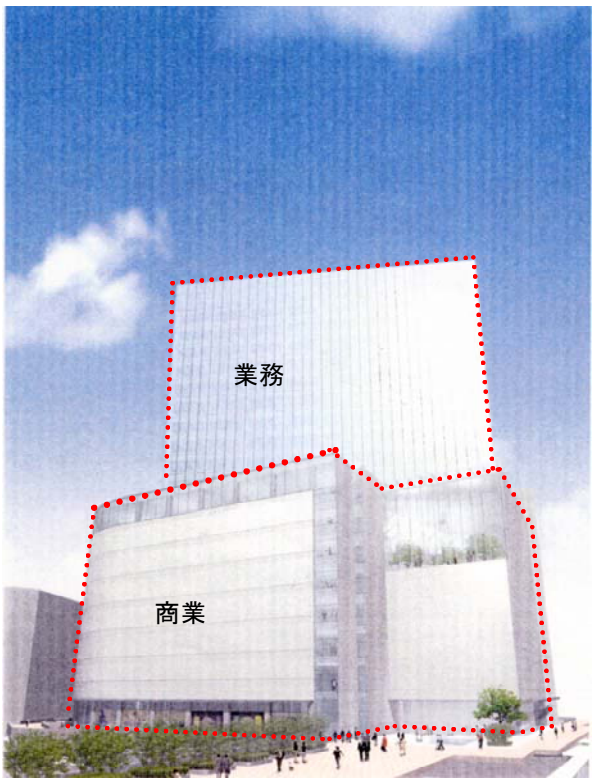
仙台駅に隣接して商業・サービス機能と情報化等に対応した広域的な業務機能の集積を視野に入れた複合施設を整備することにより、ペデストリアンデッキを介して周辺施設との回遊性を高め、駅前の賑わいの創出を図るとともに、魅力ある都市景観の創出に寄与します。



＜位置図＞



＜現況＞



＜完成予想図＞

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：１，２７７百万円
○平成１７年度より建設事業に着手し、平成２０年度の完成を目指します。

事　業　効　果

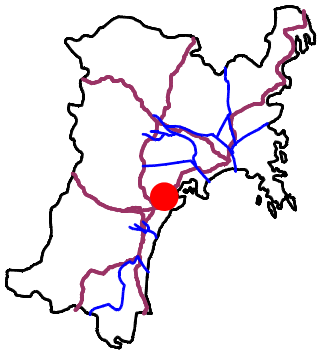
○駅周辺の回遊性、利便性の向上を図ることにより、中心市街地の賑わい創出に寄与
○杜の都仙台の駅前にふさわしい魅力ある都市景観の創出に寄与

魅力ある都市づくり　地域再生・都市再生の推進

事業名	多賀城連続立体交差事業（補助：事業主体　宮城県） （宮城県多賀城市）
事業着手：平成11年度	完成・供用の目標年度：平成23年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

多賀城市の中心部を横断するＪＲ仙石線により、多賀城駅周辺では踏切による慢性的な交通渋滞や、市街地中心部が南北に分断され良好な市街地形成に対して大きな障害となってます。

「事業の概要」

当該事業は多賀城駅付近の鉄道約１．８km区間を高架化し４箇所の踏切を除却し、安全で円滑な都市交通の確保を図るものです。
またこれに併せ、多賀城市では駅周辺の８．２haにおいて土地区画整理事業（多賀城駅周辺地区H11～H20（予定））の整備を進め分断されている市街地の一体化を図り、一層の都市機能向上を図るものです。

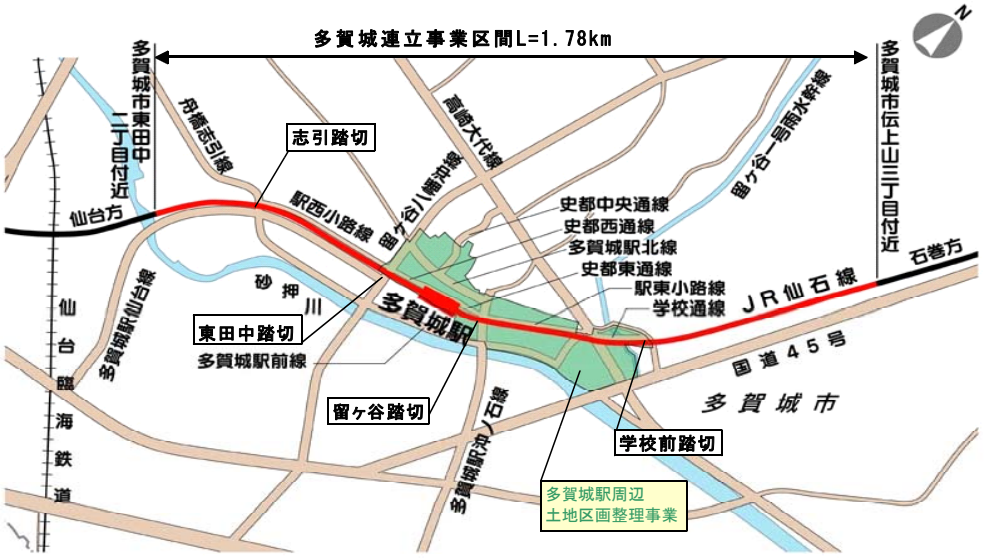
＜現在の東田中踏切の渋滞状況＞



＜完成予想図＞



＜計画図＞



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：300百万円(他に地方道路整備臨時交付金を予定)
○高架化工事に向けて、JR仙石線下り線の仮線切替工事に着手します。

事　業　効　果

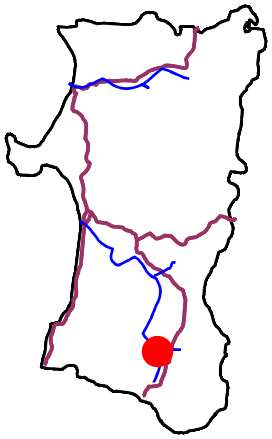
○踏切除却数：4箇所
○踏切遮断時間(4箇所のべ時間)：18．3時間／日　→　0時間／日

事業名	雄物川水系直轄総合水系環境整備事業（山田地区水辺の楽校）（直轄） （秋田県湯沢市）

事業着手：平成17年度	完成目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



位置図

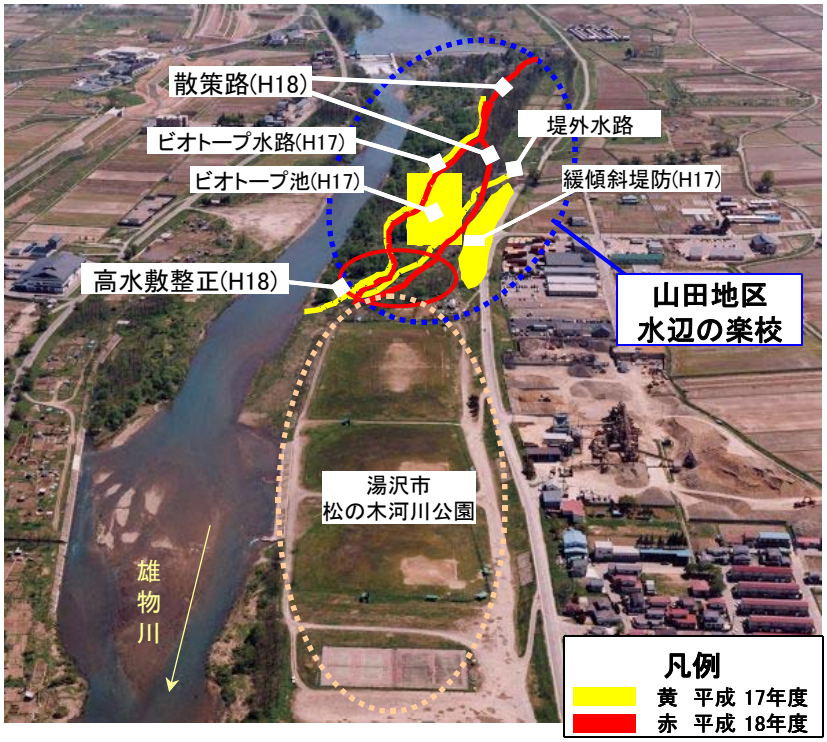
「事業の必要性」

湯沢市山田地区は市街地に隣接し、湯沢・幡野弁天の頭首工及び松の木河川公園（運動場、広場等）に隣接し、アユつかみどり大会や湛水区間を活用したカヌー教室などがNPOの主催により行われています。
このように、さまざまな年代の市民が水にふれあうのに適した箇所において、更なる河川の利活用を図るため、親水性を向上させ、水辺に親しめる場、学習の場としての交流拠点整備が望まれています。

「事業の概要」

地元教育委員会および関連団体が、子ども達が自然の中で自然のままに体験活動できることを目標に取りまとめた「水辺の楽校構想」に基づき、河川区域の植生や野鳥等にふれ親しめるよう動植物の観察の場や散策路等を整備します。
（平成17年3月「水辺の楽校プロジェクト」登録）

【整備概要図】



【整備イメージ】
散策路（H18）



【水辺の活動状況】
清掃活動（クリーンアップ活動））



カヌー教室



平成18年度事業費及び事業内容

○事業費　：44百万円
○事業内容：散策路の整備、高水敷の整正を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

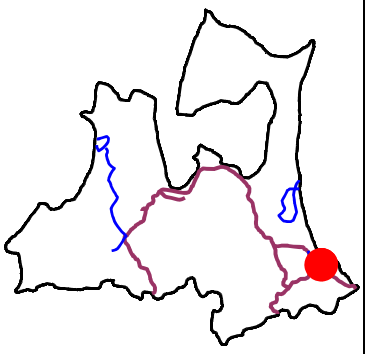
○川を活かした自然体験活動等の総合学習の場や、地域の憩いの場の創出
○整備個所周辺の水辺利用者数の増加
○周辺住民の河川愛護意識の向上

事業名	馬淵川水系直轄総合水系環境整備事業（八戸地区水辺の楽校）（直轄） （青森県八戸市）

事業着手：平成17年度	完成目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



位置図

「事業の必要性」

青森県八戸市は、これまで東北有数の港町として栄えてきたことに加え、東北新幹線の開通等により急激な都市化が進んでいます。その結果、八戸市街地を流れる馬淵川周辺でも都市化の影響から、子どもたちが自然環境とふれあう場所が失われています。このため、教育関係者や自治体からは、近隣小学校の子どもたちによる環境学習や、周辺住民も含めた自然観察など体験活動の充実が図れる河川空間の整備が望まれております。
（平成14年1月「水辺の楽校プロジェクト」登録）

「事業の概要」

本事業は、「水辺で遊び、自然とふれあい、自然を学ぶ」水辺空間として、都市部において希少となった馬淵川の自然を活かしつつ、河川利用の推進を図り、地域の憩いの水辺を創出するための、親水護岸、散策路等の整備を実施するものです。









平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：100百万円
○親水護岸、散策路、坂路工、緩傾斜盛土を整備し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○川を活かした自然体験活動等の総合学習の場や、地域の憩いの場の創出
○整備個所周辺の水辺利用者数の増加
○周辺住民の河川愛護意識の向上

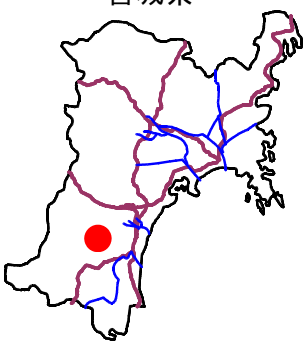
魅力ある都市づくり　ゆとりある生活空間の創造

事業名	草原エリア整備事業（国営みちのく杜の湖畔公園Ⅱ期地区（直轄）） （宮城県柴田郡川崎町）

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



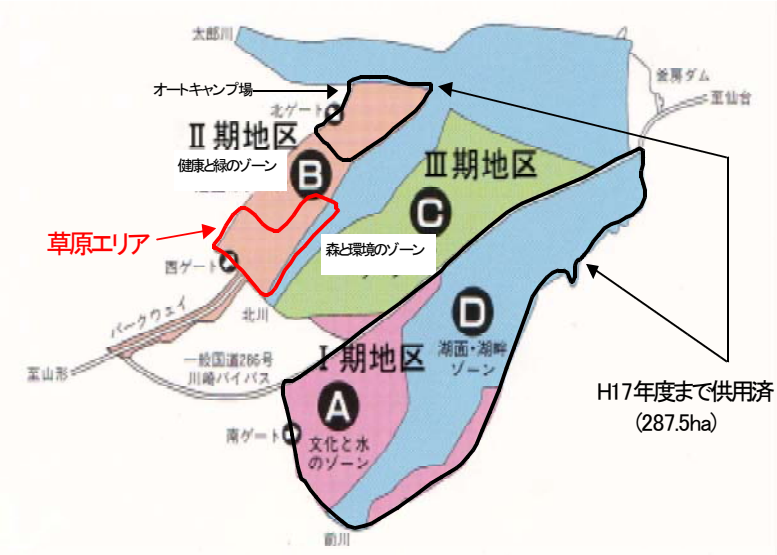
「事業の必要性」

南東北の広域的レクリエーション需要に対応するために、みちのくの豊かな自然環境を活用し、子供から高齢者・障害者も含めた幅広い層を対象に、広々とした自然環境の中で様々な人と交流しながら、心身の健康づくりや健康回復に役立つ屋外レクリエーションの場として、Ⅱ期地区「健康と緑のゾーン」に、草原エリアの整備を推進します。

「事業の概要」

河岸段丘の広がりを利用した野原の形成や水辺の良好な景観を生かした自然体験・健康レクリエーションなど多様な活動に対応できる場を整備します。

＜国営みちのく杜の湖畔公園概要図＞



＜水辺での自然体験＞（イメージ）









＜様々な利用に対応する草原エリア＞（イメージ）

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：1，176百万円
○草原エリアにおける造成、多目的広場、園路、植栽等の整備促進を図ります。
○既開園区域のバリアフリー化の推進を図ります。

事　業　効　果

○広々とした野原と水辺の自然的な景観が再生されます。
○自然を生かした様々なレクリエーションによる心身の健康づくりや健康回復、環境学習に役立ちます。
○都市近郊の大規模公園として、県内および近隣県から多数の利用者が訪れ、交流拠点として地域活性化等を支援します。
○ユニバーサル社会に対応しただれもが利用しやすい公園が実現します。

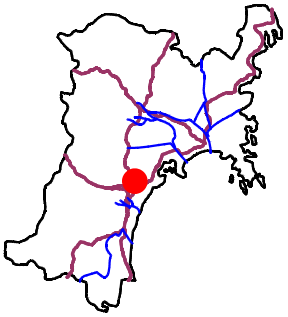
魅力ある都市づくり　都市圏交通の円滑化

事業名	一般国道4号　仙台拡幅（直轄） （宮城県仙台市）

事業着手：平成元年度	完成・供用の目標年度：平成18年度部分供用予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



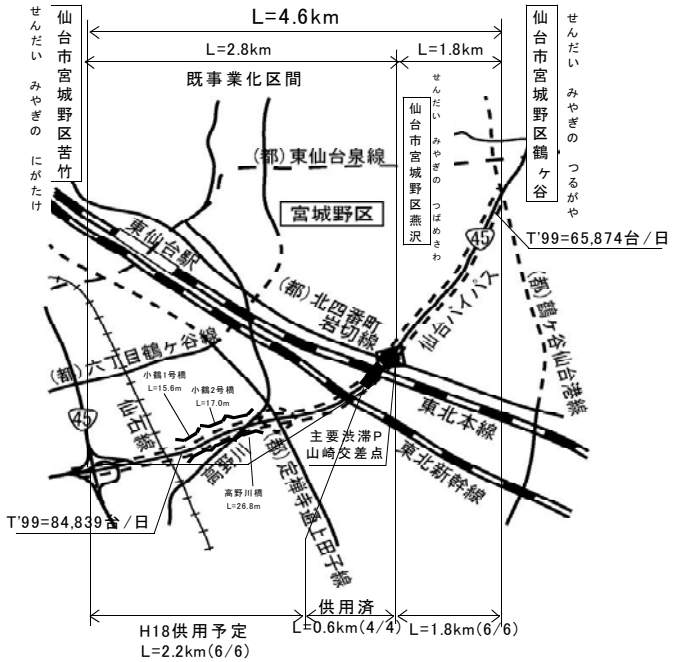
「事業の必要性」

仙台市内を通過する一般国道4号は、昭和50年3月に全線4車化をし、さらに、昭和57年7月に仙台南部道路との交差部から一般国道45号との交差点（苦竹IC）までの約8．1kmを6車線供用しています。

しかし、近年の交通量の増大により、4車線部分の主要地方道仙台松島線との交差部（山崎交差点）は「東北有数の渋滞ポイント」となり、交通渋滞が著しいため、主要幹線道路としての機能が低下しており、早急な対策が必要になっております。

「事業の概要」

仙台拡幅は、苦竹ICから鶴ヶ谷交差点までの間の延長4．6kmを6車線化することにより、当該区間の交通容量の大幅アップと山崎交差点の渋滞緩和を図ります。





▲切り回しながら施工中の仙台拡幅

「東北有数の渋滞ポイント：山崎交差点」の渋滞状況

最大渋滞長：2，000m
最大通過時間：11分
最大渋滞時刻：午前8時30分



▲山崎交差点の渋滞状況（山崎交差点から苦竹IC方向）



▲全線6車線供用イメージ

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：1，367百万円
○L＝2．2kmについて6車線供用を図ります。
○仙台市宮城野区燕 沢～鶴ヶ谷間の調査設計等の実施を図ります。

事　業　効　果

○現況4車線を6車線化することにより、交通容量の大幅増加（約6,000台／時　→　約9,000台／時）
○東北有数の渋滞ポイントである山崎交差点の渋滞の緩和

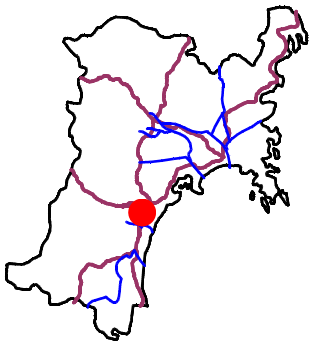
魅力ある都市づくり　都市圏交通の円滑化

事業名	一般国道4号　長町（ながまち）拡幅（直轄） （宮城県仙台市）

事業着手：平成13年度	完成・供用の目標年度：平成18年度部分供用予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

一般国道4号に隣接するJR長町駅前広場は狭く、バスの乗入れは不可能で、タクシー・自家用車も常に混雑し、国道4号も狭く自動車による駅へのアクセスが困難な状況です。又、バス待合所が1箇所に集約されてないために乗継ぎが不便である為、交通結節点としての機能を向上させるべく早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

長町拡幅は、（都）長町副都心大通り線及び長町駅前線の整備と合わせ、駅前広場等の整備により公共交通機関の利便性向上を図るため、交通結節点改善事業として取り組んでいるもので、移動の連続性の強化と公共機関の利用促進を図り、利便性の向上や道路交通の混雑緩和など、都市交通の円滑化を図るものです。





▲ 交通渋滞しているJR長町駅前の国道4号



▲長町副都心大通り線　イメージパース



▲歩道にバス待ちの乗客が溢れている状態（国道4号　長町駅前バス停）

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：805百万円
○「長町副都心土地区画整理事業」の平成18年度の「まちびらき」（JR長町駅立体化、主要街路開通、一部施設立地開始）に併せ、長町副都心大通り線L=1．7kmの供用を図ります。

事　業　効　果

○長町副都心大通り線、駅前広場及び区画街路整備により交通分散が図られます。
○駅前広場の整備により、JR・バス・タクシーの連携強化と相互乗入れの利便性が向上します。
　長町駅前周辺バス路線（下り線）約300台／日（H16）
○歩道空間のユニバーサル化により、歩行者及び身障者の歩行に対する安全性が向上します。

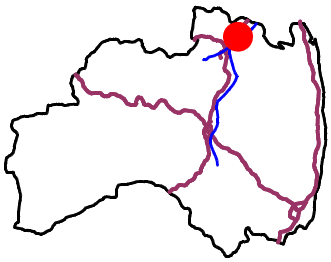
魅力ある都市づくり　都市圏交通の円滑化

事業名	一般国道4号　伊達拡幅　（直轄） （福島県伊達郡伊達町～国見町）

事業着手：平成56年度	完成・供用の目標年度：平成18年度部分供用予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

国道4号における当該区間は、交通容量※の不足から慢性的な交通渋滞を引き起こしているとともに、交通事故が多く、早急な対策が必要となっています。　※交通容量：ある道路がどれだけの自動車を通し得るかという、その道路のトラフィック機能上の能力

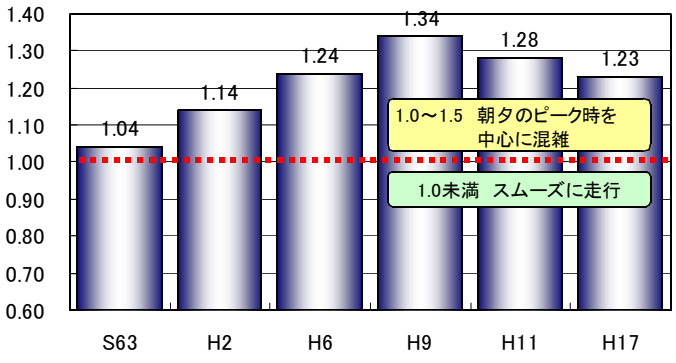
「事業の概要」

伊達拡幅は、国道4号伊達町～国見町間の交通混雑緩和及び交通安全の確保、物流効率化、地域間交流の促進を目的とした延長9.1Kmの4車線拡幅事業です。





▲桑折町上郡合流部付近



▲国道4号の混雑度（桑折町大字大谷地地内）



▲桑折町上郡合流部付近渋滞状況

※　混雑度：交通量／交通容量

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：270百万円
○桑折町上郡地内のL=0.7kmについて、完成4車線供用を図ります。

事　業　効　果

○渋滞損失時間の減少（H18供用時点）
334千人・時間／年　→　319千人・時間／年　　15千人時間／年（4%削減）
※渋滞損失時間は伊達拡幅事業区間全体の損失時間を算出。

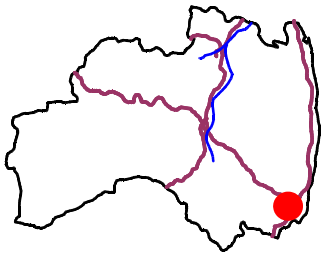
魅力ある都市づくり　都市圏交通の円滑化

事業名	一般国道6号　常磐バイパス（直轄） （福島県いわき市）

事業着手：昭和41年度	完成・供用の目標年度：平成18年度部分供用予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

一般国道6号常磐バイパスの交通需要は平成12年の全線暫定供用後も増加し続けており、交通が集中する区間や主要交差点付近等で交通混雑が発生しています。特に外易コンテナ航路開設後、コンテナ貨物取扱量が年々増加している「小名浜港」の物流拠点へのアクセス強化に配慮した道路整備、物流の効率化が必要となっています。

「事業の概要」

一般国道6号常磐バイパスは、いわき市内の交通混雑の解消及び主要幹線道路としての機能強化を目的とした、いわき市勿来町四沢～同市平下神谷に至る延長27．7kmの道路です。

平成12年3月には全線暫定供用をし、引き続き渋滞ポイントを中心に交差点立体化及び4車線化工事などを進めてきました。

平成18年度は常磐バイパスにおける2車線区間の中では最も交通需要が高い、いわき市常磐三沢町～上矢田町間の4車線化の完成を図る予定です。





▲松久須根大橋の交通混雑状況
（松久須根大橋から東京方面を望む）



▲事業PR看板設置状況

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：1，000百万円
○いわき市常磐三沢町～上矢田町間のL=2.3kmについて、4車線化供用を図ります。

事　業　効　果

○物流の効率化　：　いわき中央IC～小名浜港までの所要時間　30分（現況）→26分(H18供用後)
○観光施設へのアクセス向上(休日)　：　いわき中央IC～アクアマリン　37分(現況)→30分(H18供用後)

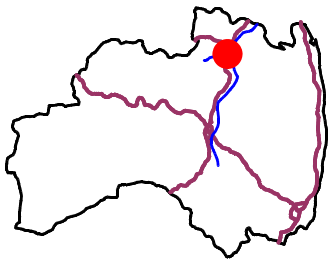
魅力ある都市づくり　都市圏交通の円滑化

事業名	一般国道13号　福島西道路（直轄） （福島県福島市）

事業着手：平成57年度	完成・供用の目標年度：平成18年度部分供用予定

事業の必要性・事業の概要

福島県

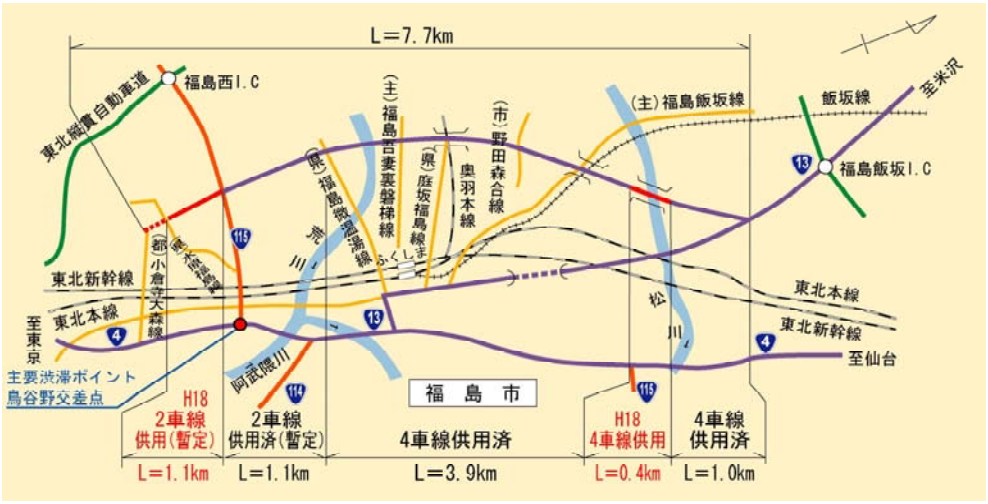


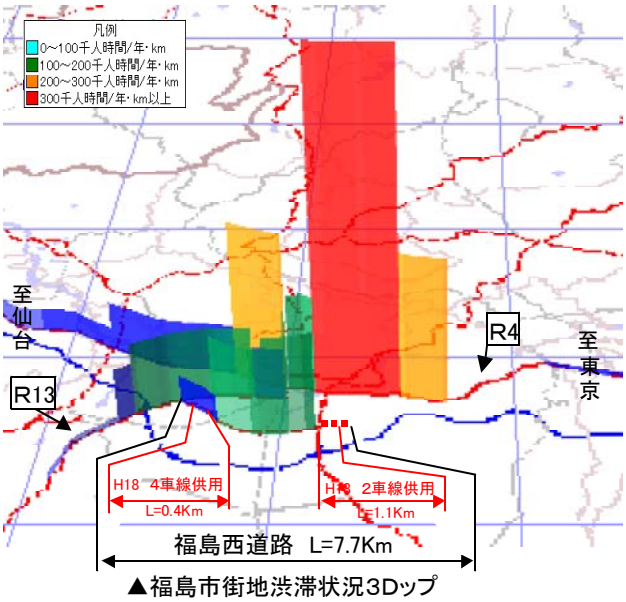
「事業の必要性」

福島西道路と並行する国道4号、13号は、交通容量の不足から慢性的な交通渋滞を引き起こしているとともに、騒音等沿道環境が悪化し、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

福島西道路は、福島市街地の環状道路として、市街地における交通混雑解消、交通環境改善、交通事故の低減等を目的とした延長7.7kmのバイパス事業です。





▲福島市街地渋滞状況3Dップ



▲一般国道4号鳥谷野（とやの）交差点（福島市）渋滞状況

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：1，310百万円
○これまでに6.4kmを供用（うち4車線供用4.3km）しており、平成18年度には、一部区間L=1.1kmについて2車線暫定供用するとともに、L=1.0kmについて完成4車線供用を図ります。

事　業　効　果

○渋滞損失時間の減少（H18供用時点）
2，861千人・時間／年　→　2，229千人・時間／年　　632千人時間／年（22％削減）
※渋滞損失時間は福島西道路全線及び国道4号の並行区間全体で損失時間を算出。

魅力ある地域づくり　都市圏交通の円滑化

事業名	一般国道45号中野（なかの）地区高機能舗装（直轄） （宮城県仙台市宮城野区）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成18年度着手完成予定

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

一般国道45号仙台市では交通量の増加や舗装面の劣化により、騒音が環境基準を超過するなど、早急な沿道環境の改善が必要となっています。

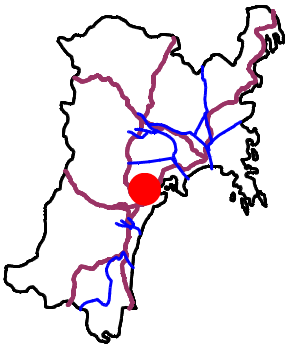
「事業の概要」

沿線の住民が快適な生活環境を送ることができるよう、沿道環境の改善を図るため、昼または夜間の騒音が環境基準を超過する区間における高機能舗装を施工します。

▼劣化による路面損傷が著しい
一般国道45号　中野地区



宮城県



■高機能舗装は、舗装内に空隙を持った舗装で、次のような効果があります。

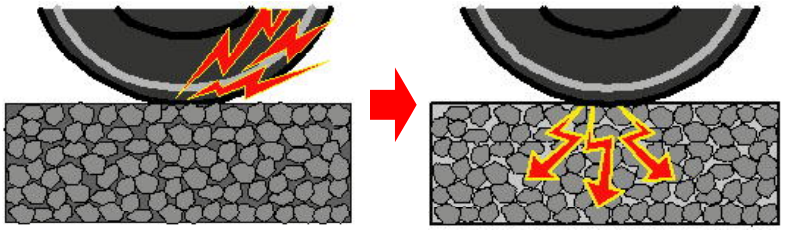
○沿道環境への改善

・車両通行に伴う**騒音の低減**

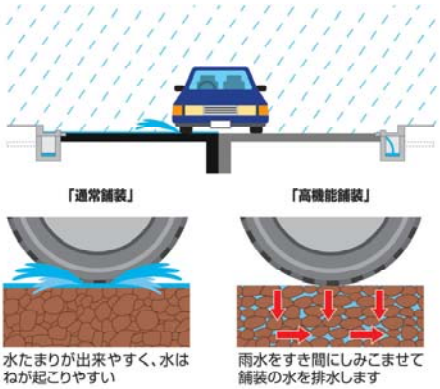


「通常舗装」
タイヤの溝と舗装面の間に挟まれた空気の逃げ道がなく、空気圧縮音、膨張音が発生します。

「高機能舗装」
舗装内の空隙に空気が逃げ、空気圧縮音、膨張音の発生が小さくなります。



・雨天時の車両による**水はねの低減**



○走行安全性の向上

・ハイドロプレーニング現象の抑制（雨天時水膜によるスリップを低減）
・走行視認性の確保（雨天時走行車両によるスモーキング現象の低減）
・夜間の光の反射を低減
・耐流動性など舗装の耐久性向上

平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：164百万円
○一般国道45号宮城県仙台市宮城野区中野地区において約0.8kmの高機能舗装を実施し事業の完成を図ります。

事　業　効　果

○国道周辺部の住宅等に対して自動車による交通騒音が低減され沿道環境の改善が図られます。
○雨天時の走行安全性が向上します。

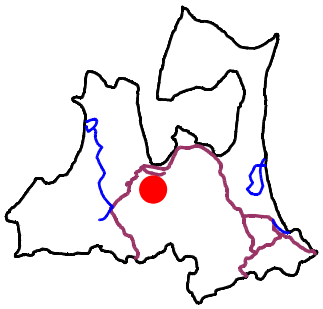
魅力ある地域づくり　都市圏交通の円滑化

事業名	青森空港地区交通結節点改善事業（補助：事業主体　青森県） （青森県青森（あおもり）市）

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成18年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

異なる交通機関を相互に連絡し、様々な交通需要に対応し、利用者の視点に立った交通機関の連携強化や移動の連続性の強化を図ることを目的にした「交通結節点改善事業」を国内外の観光交流の増進や経済の活性化を図るため、青森空港において進めています。

「事業の概要」

滑走路3，000m化（平成17年4月）やアクセス道路整備が進められている青森空港について、駐車場不足の解消と冬期の積雪対策等の利便性の向上を目的に立体駐車場（810台）、連絡通路、バスシェルター整備を行います。



▲駐車場が狭く満車状態



▲冬期の駐車場の状況





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：140百万円
○連絡通路、バスシェルターの整備を行い、事業の完成を図ります。

事　業　効　果

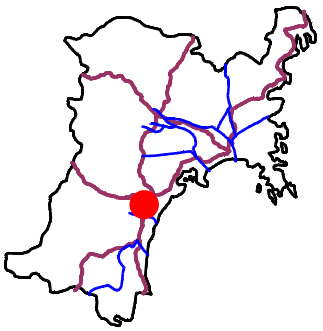
○空港利用に関する総合的利便性の向上、道路～空路の連携強化
○慢性的な駐車場不足の解消
○冬季空港利用者へのサービス性（利便性・快適性）の向上

魅力ある都市づくり　都市圏交通の円滑化

事業名	まちづくり交付金　「増田地区」（補助：事業主体　名取市） （宮城県名取市）
事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成20年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

本地区は、仙台空港アクセス鉄道とともに宮城県総合計画において戦略的プロジェクトに位置付けられており、「世界へのゲートウェイ」として仙台空港臨空都市整備計画の高次都市施設機能拠点都市開発及び、広域交流拠点機能の展開を行う地区とされています。

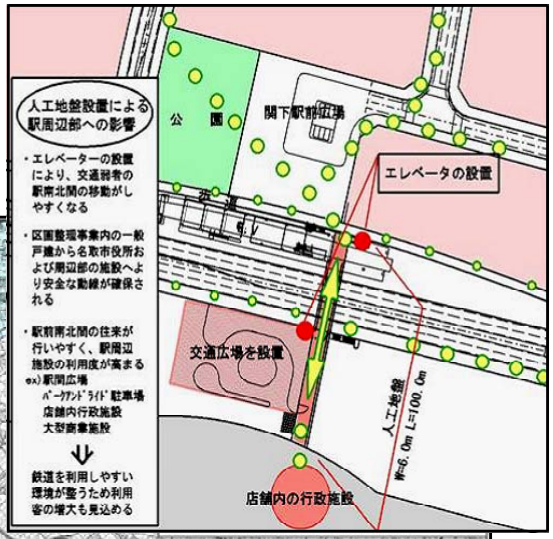
「事業の概要」

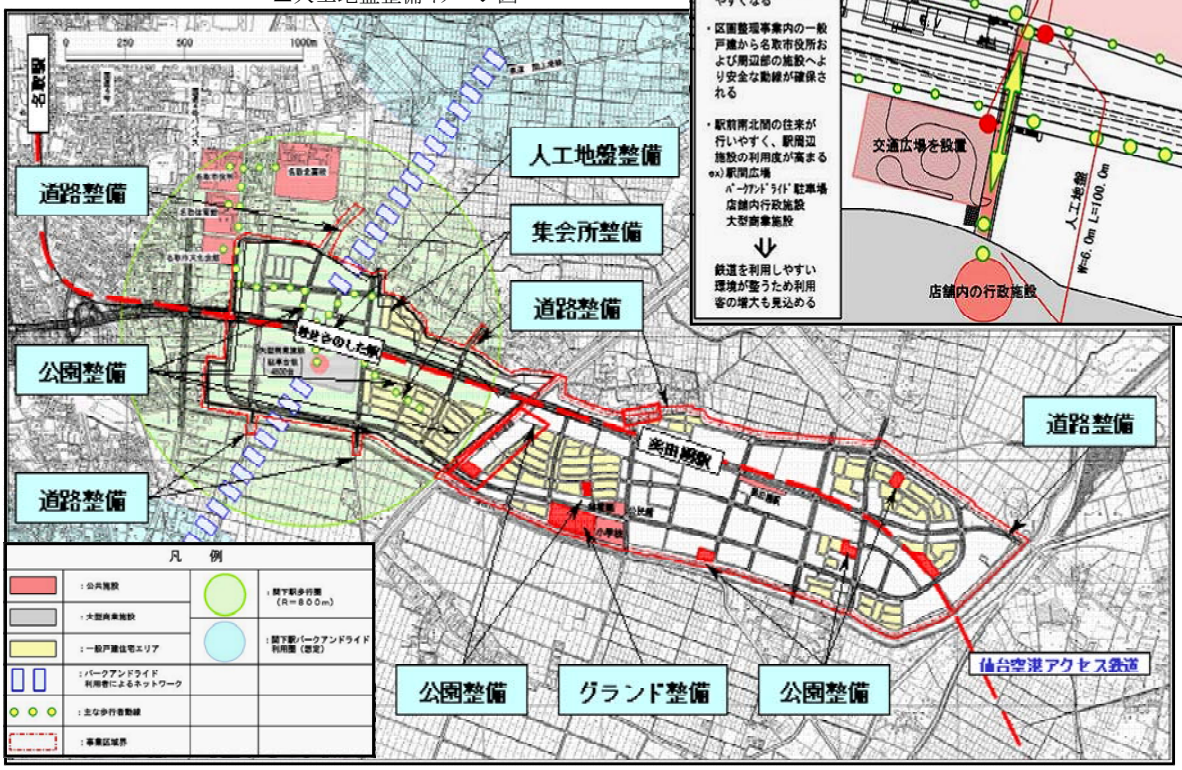
仙台空港アクセス鉄道の平成18年度開業による交通利便性をより効果的にするため、道路、駅前広場、人口地盤、エレベーターなどを整備します。また、地域の生活環境向上及び地域活動・地域交流を促進するため、公園や集会所などを整備します。





▲人工地盤整備イメージ図





平成18年度事業費及び事業内容

○事業費：470百万円（国費）
○道路、橋梁、公園、人工地盤の整備促進を図ります。

事　業　効　果

○仙台空港アクセス鉄道との相乗効果により、交通結節点機能の向上や地域の賑わいを創出するとともに、生活環境の向上、地域活動・地域交流の促進に寄与します。

３．県別の主な事業箇所一覧

※市町村境は平成 18 年 3 月 30 日現在

青森県管内図



（平成18年3月30日現在）

凡　例

- 一級河川直轄管理区間
- 直轄ダム（竣工）
- 〃　（工事中）
- 〃　（調査中）
- 高規格道路等
- 地域高規格道路
- 一般国道（指定区間）
- 一般国道（指定区間外）

※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧参照

【青森県】

No	区分	事業名（市町村名）	整備内容	H18年度事業費（百万円）	H18年度事業内容	頁
1	直轄	岩木川鶴田右岸地区堤防質的整備 （北津軽郡鶴田町）	新規	412	用地買収	10
2	直轄	岩木川板柳地区消流雪用水導入事業 （北津軽郡板柳町）	継続	494	導水管L=1,220m ポンプ・電気・機械設備	56
3	直轄	岩木川水系直轄総合水系環境整備事業（魚がすみやすい川づくり） （北津軽郡中泊町）	新規	22	設計検討	86
4	補助	七戸川鉄道橋・道路橋緊急対策事業 （上北郡東北町・七戸町町）	完成	580	鉄道橋1橋	23
5	補助	馬淵川水防災対策特定河川事業 （三戸郡南部町）	完成	76	護岸工　3戸	24
6	補助	向平海岸局部改良事業 （上北郡横浜町）	完成	60	離岸堤　L＝37．8m	37
7	直轄	八戸久慈自動車道　一般国道45号　八戸南道路 （八戸市～三戸郡階上町）	供用	2,910	暫定2車線　L=3.4km	92
8	直轄	一般国道7号　千刈地区電線共同溝 （青森市）	完成	390	電線共同溝　L=355m	99
9	補助	青森空港地区交通結節点改善事業 （青森市）	完成	140	立体駐車場810台、連絡通路、 バスシェルター	114
10	直轄	青森港沖館地区複合一貫輸送ターミナル（耐震改良） （青森市）	継続	1,550	地盤改良　1式	49
11	補助	八戸港八太郎地区橋梁（蓮沼陸橋）耐震改良事業 （八戸市）	完成	105	車輌用防護柵　約260m 橋面舗装　約2,600m^2	－
12	補助	八戸港河原木地区港湾環境整備事業〔沼館〕 （八戸市）	完成	86	遊歩道　1式 植栽　1式、照明施設　1式	88
13	補助	川内港川内地区港湾環境整備事業 （むつ市）	完成	18	遊歩道　1式 植栽　1式	－
14	補助	川内港川内地区海岸海岸環境整備事業 （むつ市）	完成	99	人工海浜（養浜）、植栽、 離岸堤	38
15	補助	深浦港海岸吾妻地区局部改良事業 （西津軽郡深浦町）	完成	6	離岸堤　1式	－
16	補助	大湊港海岸大湊地区侵食対策事業 （むつ市）	継続	70	護岸（改良）　1式	91
17	補助	中央町金矢線 （三沢市）	継続	40	トンネル工　210m	－
18	補助	佐井村特定環境保全公共下水道事業 （下北郡佐井村）	供用	306	浄化センター水処理設備 管渠布設工事　L=380m	94
19	補助	まちづくり交付金「中央町地区」 （三沢市）	継続	498※	土地区画整理事業 下水道整備	－
20	補助	まちづくり交付金「新幹線青森駅・青森駅周辺地区」 （青森市）	新規	55※	青森駅東口広場整備 青森駅駐輪場整備 地域交流センター整備　等	－
21	直轄	馬淵川水系直轄総合水系環境 整備事業（八戸地区水辺の楽校）　（八戸市）	完成	100	親水護岸、散策路、坂路工 緩傾斜盛土	106

※国費

岩手県管内図



（平成18年3月30日現在）

※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧

【岩手県】

No	区分	事業名（市町村名）	整備内容	H18年度事業費（百万円）	H18年度事業内容	頁
1	直轄	一関遊水地建設事業 （一関市、奥州市、西磐井郡平泉町）	継続	2,729	衣川地区の堤防・構造物の進捗 小堤整備の新規着手	41
2	直轄	北上川上流一関・川崎地区土地利用一体型水防災事業 （一関市）	新規	66	用地調査、地形測量設計	8
3	直轄	胆沢ダム建設事業 （奥州市）	継続	16,740	堤体盛立等本体工事 付替国道工事等の進捗	95
4	直轄	北上川水系直轄総合水系環境整備事業（平泉地区水辺プラザ） （岩手県西磐井郡平泉町）	継続	145	散策路、緩傾斜販路、親水護岸 石張工、高水敷整正	83
5	直轄	北上川直轄総合水系環境整備事業 （田瀬ダム貯水池保全事業） （花巻市東和町田瀬）	完成	190	水質保全施設設置	87
6	直轄	八幡平山系直轄火山砂防事業 ナリヤ沢砂防えん堤　（八幡平市）	新規	33	事業用地の取得	14
7	補助	小槌川地震・高潮等対策河川事業 （上閉伊郡大槌町）	完成	205	水門遠隔化　1式	25
8	補助	鷹生ダム建設事業 （大船渡市）	完成	2,750	試験湛水、周辺環境整備	27
9	補助	箱崎東の沢通常砂防事業 （釜石市）	新規	20	詳細設計・地質調査	15
10	直轄 補助	東北横断自動車道釜石秋田線　一般国道283号 仙人峠道路（釜石市～住田町）、仙人道路（住田町～遠野市）	供用	直　5,070 補　2,260	完成2車線　L=13.2km 完成2車線　L=5.4km	79
11	直轄	一般国道4号　大槻交差点改良 （一関市）	完成	150	右折レーン延伸　一式他	59
12	直轄	一般国道45号　鍬台トンネル補修 （大船渡市～釜石市）	完成	200	トンネル裏込注入等　L=2,305m	33
13	直轄	一般国道46号　館坂橋橋梁補修 （盛岡市）	完成	170	橋梁架替　L=68.5m	34
14	直轄	釜石港湾口地区防波堤整備事業 （釜石市）	継続	950	上部　約640m	39
15	補助	釜石港須賀地区耐震強化岸壁整備事業 （釜石市）	完成	34	舗装　1,700m^2	39
16	補助	釜石港須賀地区多目的国際ターミナル整備事業 （釜石市）	完成	80	舗装　2,700m^2	82
17	補助	宮古港海岸高浜地区高潮対策事業 （宮古市）	継続	56	防潮堤　1式、陸閘　1式	48
18	補助	花城地区優良建築物等整備事業 （花巻市）	完成	579	SRC-9 延べ10,600m2 本体建設事業	61
19	補助	まちづくり交付金「大船渡港湾周辺地区」 （大船渡市）	新規	425※	大船渡駅東西自由通路整備 市民文化会館整備 等	98
20	直轄	三陸北縦貫道路　一般国道45号　尾肝要道路 （下閉伊郡田野畑村）	新規	20	調査設計等	67

※国費

宮城県管内図



（平成18年3月30日現在）

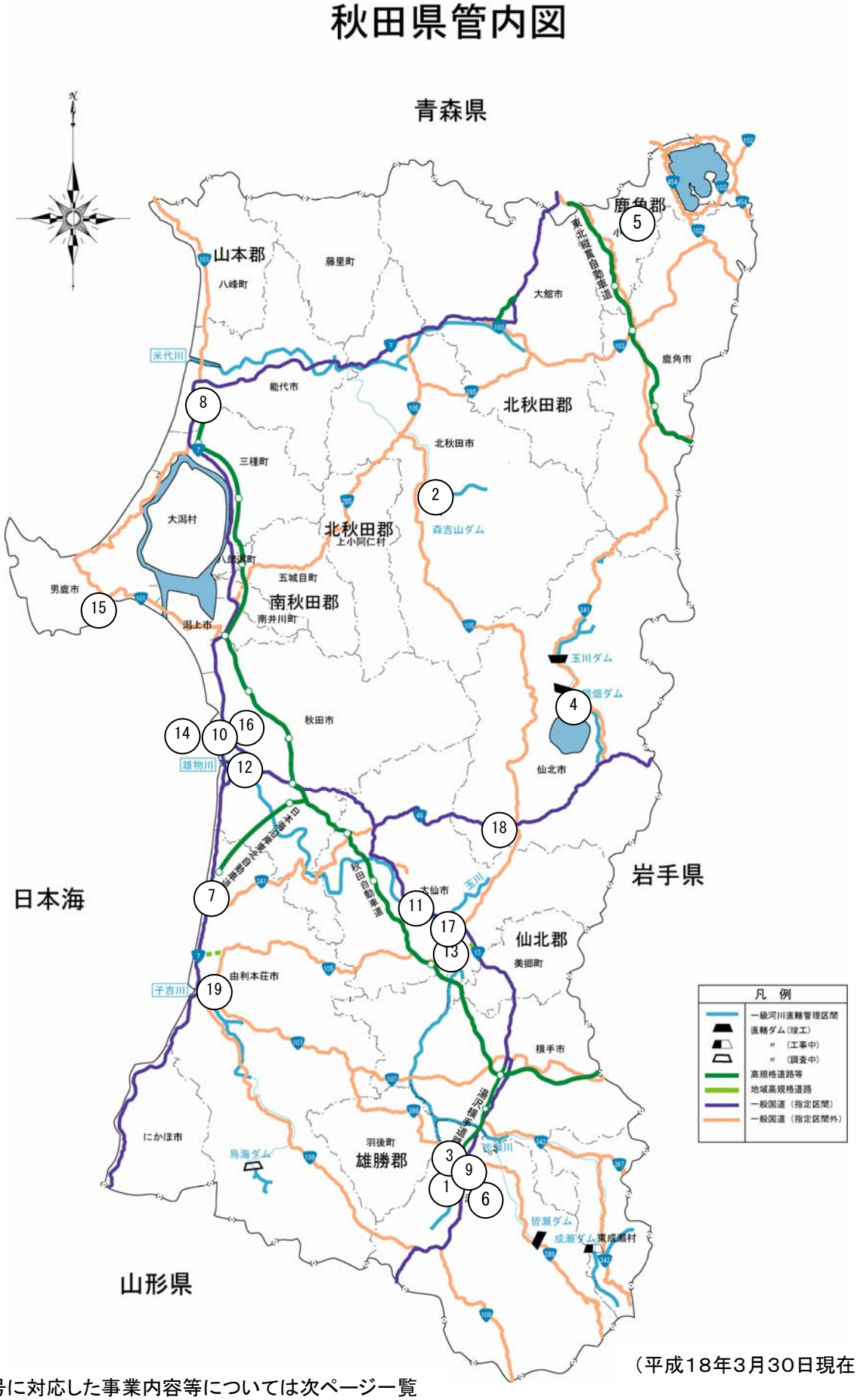
※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧参照

【宮城県】

No	区分	事業名（市町村名）	整備内容	H18年度事業費（百万円）	H18年度事業内容	頁
1	直轄	名取川藤塚地区直轄河川改修事業 （仙台市）	継続	425	用地買収	89
2	直轄	鳴瀬川下志田地区直轄河川改修事業（二線堤） （志田郡鹿島台町）	概成	747	樋管ゲート5カ所、地盤改良	20
3	直轄	北上川下流直轄河川維持修繕事業水閘門修繕 （津波対策）（石巻市）	新規	216	補助ゲート実施施設 遠隔化実施施設	12
4	直轄	北上川水系直轄総合水系環境整備事業（歴史公園整備） （宮城県登米市、石巻市）	新規	85	高水敷整正、管理用道路工	77
5	直轄	仙台湾南部海岸直轄海岸保全施設整備事業 S4号ヘッドランド（亘理郡山元町）・堤防（岩沼市）	継続	906	S4号ﾍｯﾄﾞﾗﾝﾄﾞ ﾍｯﾄﾞ部南側 L=75m 堤防 L=50m	47
6	補助	片平町の1急傾斜地崩壊対策事業 （仙台市）	新規	40	特殊法枠工 A=650m2	17
7	直轄	三陸縦貫自動車道 一般国道45号 矢本石巻道路 （石巻市）	供用	3,477	暫定2車線 L=7.4km	36
8	直轄	三陸縦貫自動車道 一般国道45号 桃生登米道路 （石巻市～登米市）	供用	5,208	暫定2車線 L=4.2km	72
9	直轄	一般国道4号 仙台拡幅 （仙台市）	供用	1,367	完成6車線 L=2.2km	108
10	直轄	一般国道4号 長町拡幅 （仙台市）	供用	805	完成6車線 L=1.7km	109
11	直轄	一般国道45号 中野地区高機能舗装 （仙台市宮城野区）	完成	164	高機能舗装 L=0.8km	113
12	直轄	一般国道45号 新飯野川橋耐震対策 （石巻市）	着手 完成	51	橋脚補強、落橋防止装置	30
13	補助	一般県道 仙台館腰線 （名取市）	供用	610	完成4車線 L=3.8km	80
14	直轄	仙台塩釜港仙台港区中野地区耐震強化岸壁改良事業 （仙台市）	継続	600	地盤改良 1式	50
15	直轄	仙台空港アクセス鉄道整備事業 （名取市、岩沼市）	完成	194	環境整備 1式	81
16	直轄	草原エリア整備（国営みちのく杜の湖畔公園Ⅱ期地区） （柴田郡川崎町）	継続	1,176	草原エリア等 15.6ha 多目的広場、園路、植栽	107
17	補助	多賀城連続立体交差事業 （多賀城市）	継続	300	仮線切替工事	104
18	補助	元寺小路七北田線 （仙台市）	完成	250	共同溝L=1,940m	40
19	補助	塩竈市雨水貯留浸透事業 （塩竈市）	継続	90	宅内貯留浸透施設 40基	52
20	補助	中央一丁目第二地区第一種市街地再開発事業 （仙台市）	継続	1,277	S-地上19 地下2 延べ50,000m2 本体建設事業	103
21	補助	仙台市西中田住宅ストック総合改善事業 （仙台市）	完成	247	公営住宅全面的改善38戸	62
22	補助	まちづくり交付金「上屋浦地区」 （登米市）	完成	32※	公営住宅整備8棟8戸	101
23	補助	まちづくり交付金「増田地区」 （名取市）	継続	470※	道路整備、橋梁整備、公園整備 人工地盤整備	115
24	直轄	三陸縦貫自動車道 一般国道45号 本吉気仙沼道路 （本吉郡本吉町～気仙沼市）	新規	20	調査設計等	66

※国費

秋田県管内図



（平成18年3月30日現在）

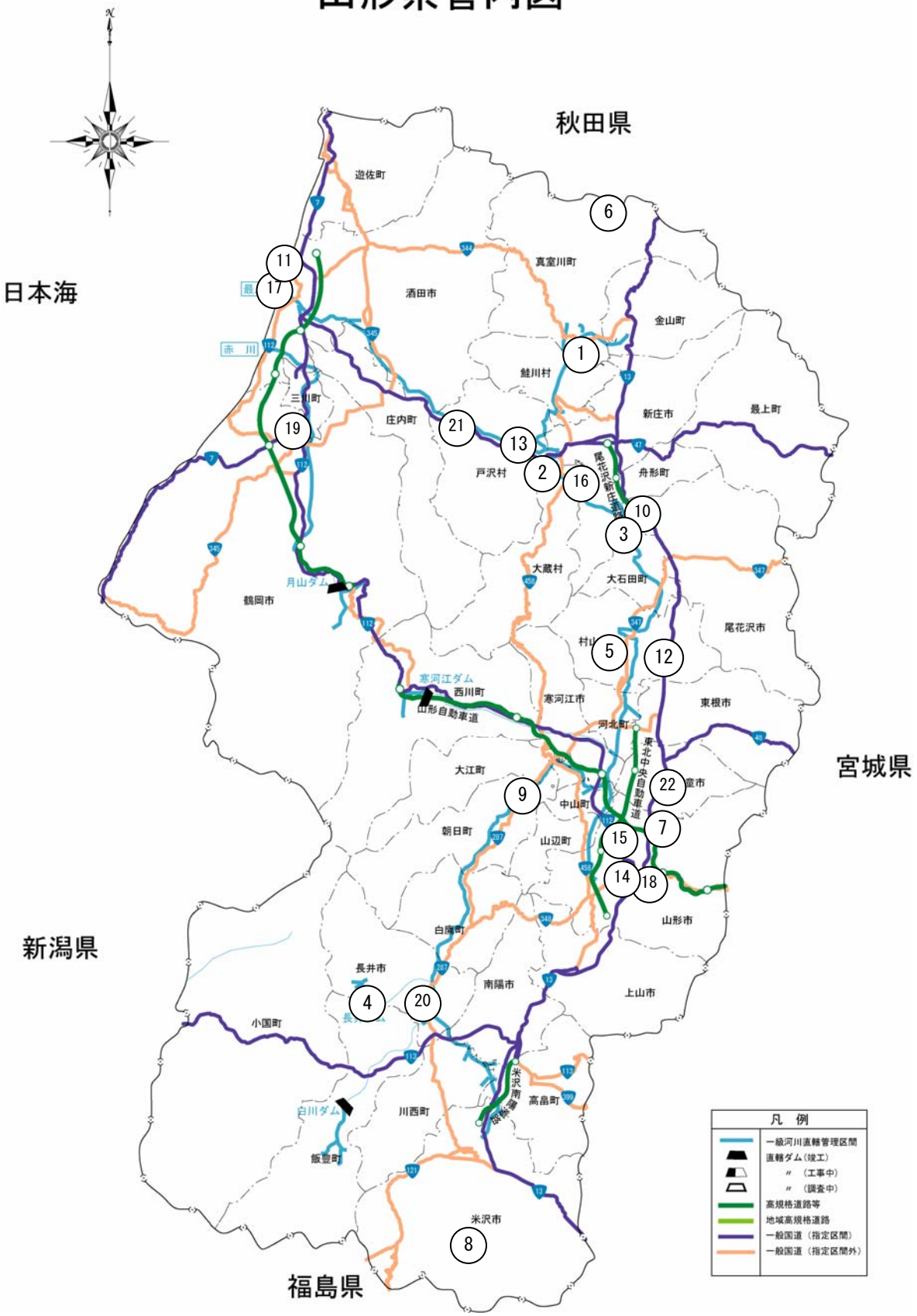
※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧

【秋田県】

No	区分	事業名（市町村名）	整備内容	H18年度事業費（百万円）	H18年度事業内容	頁
1	直轄	雄物川上流湯沢統合堰特定構造物改築事業（湯沢市）	新規	600	取水樋門2基、仮設備1式	9
2	直轄	森吉山ダム建設事業（北秋田市）	継続	14,410	堤体盛立等本体工事 付替県道・市林道工事等の進捗	44
3	直轄	雄物川水系直轄総合水系環境整備事業（山田地区水辺の楽校）（秋田県湯沢市）	完成	44	散策路、高水敷整正	105
4	直轄	八幡平山系直轄火山砂防事業 田沢沢川第一砂防えん堤（仙北市）	完成	125	砂防えん堤の完成	22
5	補助	砂子沢ダム建設事業 （鹿角郡小坂町）	継続	3,830	堤体コンクリート打設 取水放流設備製作・据付	45
6	補助	戸沢地区急傾斜地崩壊対策事業 （湯沢市）	新規	45	擁壁工	16
7	直轄	日本海沿岸東北自動車道　本荘～岩城（由利本荘市）	継続	9,000	暫定2車線　L=21.3km	－
8	直轄	日本海沿岸東北自動車道　一般国道7号　琴丘能代道路（山本郡三種町～能代市）	供用	7,512	暫定2車線　L=6.7km	69
9	直轄	東北中央自動車道　一般国道13号　湯沢横手道路（湯沢市～横手市）	供用	1,470	暫定2車線　L=5.5km	70
10	直轄	一般国道7号　土崎歩道（秋田市）	継続	48	用地買収着手	65
11	直轄	一般国道13号　北楢岡防雪柵整備事業（大仙市）	完成	45	防雪柵設置　L=300m	55
12	直轄	一般国道13号　新旭橋震災対策	着手 完成	158	上り線橋脚補強　3基	31
13	補助	本荘大曲道路　一般国道105号　大曲西道路（大仙市）	供用	70	暫定2車線　L=3.5km	74
14	直轄	秋田港外港地区防波堤整備事業（秋田市）	継続	1,400	本体　製作1函・据付2函 基礎　約130m	85
15	補助	船川港金川地区臨港道路（生鼻崎線）改良事業（男鹿市）	継続	600	トンネル掘削　約250m 舗装　1式	－
16	補助	秋田中央道路（秋田市）	継続	380	L=2,600m　2車線	－
17	補助	駅東線外2線（大仙市）	完成	60	L=600m　2車線	－
18	補助	まちづくり交付金「角館駅周辺地区」（仙北市）	継続	147※	道路整備、公園整備、広場整備 道路高質化、まちづくり勉強会開催	－
19	補助	まちづくり交付金「本荘市街地地区」（由利本荘市）	新規	131※	道路整備、ポケットパーク整備 コミュニティセンター整備 メディアライブラリー整備 まちづくり勉強会開催	－

※国費

山形県管内図



（平成18年3月30日現在）

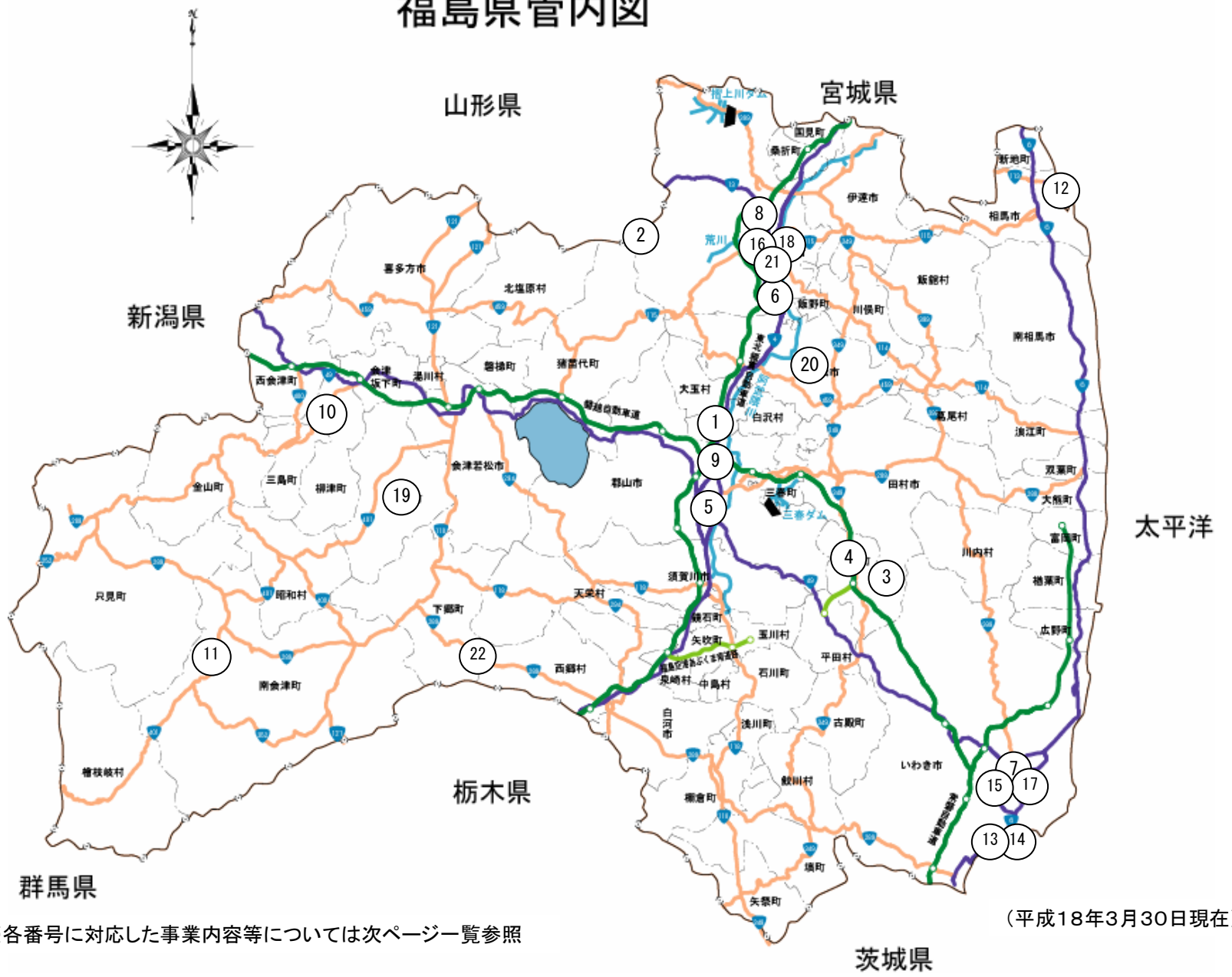
※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧参照

【山形県】

No	区分	事業名（市町村名）	整備内容	H18年度事業費（百万円）	H18年度事業内容	頁
1	直轄	最上川中流支川最上内川庭月地区直轄河川改修事業 （最上郡鮭川村）	新規	267	築堤L=300m	11
2	直轄	最上川中流清水地区消流雪用水導入事業 （最上郡大蔵村）	完成	523	導水管L=100m ポンプ・電気・機械設備等	54
3	直轄	最上川中流横山地区消流雪用水導入事業 （北村山郡大石田町）	新規	100	詳細設計・用地調査	53
4	直轄	長井ダム建設事業（長井市）	継続	10,195	堤体コンクリート打設、取水放流設備製作据付、付替県道工事等の進捗	43
5	直轄	最上川水系直轄総合水系環境整備事業（村山地区フットパス） （山形県村山市）	新規	50	散策路、階段、河道整正、案内板	76
6	直轄	最上川水系直轄砂防事業　朴木沢第二砂防えん堤 （最上郡真室川町）	完成	202	砂防えん堤の完成	21
7	補助	菰石川鉄道橋・道路橋緊急対策事業 （山形市）	完成	470	鉄道橋　1式	26
8	補助	綱木川ダム建設事業 （米沢市）	継続	2,000	取水放流設備 管理設備制作据付	－
9	補助	今平雪崩対策事業 （西村山郡朝日町）	継続	26	雪崩予防柵　8基	57
10	直轄	東北中央自動車道　一般国道13号　尾花沢新庄道路 （尾花沢市）	供用	1,440	暫定2車線　L=6.1km	71
11	直轄	一般国道7号　宮海拡幅 （酒田市）	供用	1,540	完成4車線　L=2.0km	－
12	直轄	一般国道13号　村山大橋床版補修 （村山市）	完成	200	床版打換工　A=300m2	35
13	直轄	一般国道47号　蔵岡地区法面防災対策 （最上郡戸沢村）	着手 完成	300	法面保護工　L＝0.3km	32
14	直轄	一般国道112号　南一番町歩道 （山形市）	完成	141	歩道の拡幅・バリアフリー化 L＝420m（両側）	60
15	直轄	一般国道112号　荒楯町電線共同溝 （山形市）	完成	411	電線共同溝　L=150m	－
16	補助	一般国道458号　本合海バイパス （最上郡大蔵村）	供用	420	完成2車線　L=0.8km	－
17	補助	酒田港循環資源取扱支援施設整備事業 （酒田市）	新規 完成	198	保管建屋　2棟	93
18	補助	十日町双葉町線（幸町工区） （山形市）	継続	180	L=400m　4車線	－
19	補助	まちづくり交付金「鶴岡市街地区」 （鶴岡市）	継続	177※	公園整備、バイオサイエンス広場整備 インキュベーション施設整備 シビックコア調査	－
20	補助	まちづくり交付金「長井南地区」 （長井市）	新規	96※	道路整備、広場整備、水路整備 案内標識設置、消流雪用排水路整備 まちづくりワークショップ開催	－
21	直轄	新庄酒田道路　一般国道47号　高屋道路 （最上郡戸沢村）	新規	20	調査設計等	68

※国費

福島県管内図



※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧参照

（平成18年3月30日現在）

【福島県】

No	区分	事業名（市町村名）	整備内容	H18年度事業費（百万円）	H18年度事業内容	頁
1	直轄	阿武隈川上流本宮左岸地区直轄河川改修事業 （安達郡本宮町）	継続	543	築堤L=50m	42
2	直轄	阿武隈川水系直轄火山砂防事業 須川第二砂防えん堤（福島市）	新規	37	事業用地の取得	13
3	補助	木戸ダム建設事業 （双葉郡楢葉町）	継続	3,370	本体コンクリート打設 試験湛水	46
4	補助	こまち生活貯水池建設事業 （田村郡小野町）	完成	1,100	試験湛水、周辺環境整備	28
5	直轄	郡山西環状道路　一般国道4号　郡山バイパス （針生立体化）（郡山市）	供用	1,480	針生高架橋　暫定2車線　L=1.5km	73
6	直轄	一般国道4号　伊達拡幅 （伊達郡伊達町～国見町）	供用	270	完成4車線　L=0.7km	110
7	直轄	一般国道6号　常磐バイパス （いわき市）	供用	1,000	完成4車線　L=2.3km	111
8	直轄	一般国道13号福島西道路 （福島市）	供用	1,310	暫定2車線　L=1.1km 完成4車線　L=1.0km	112
9	直轄	一般国道4号　亀田大橋震災対策 （郡山市柏山町）	着手 完成	112	橋脚補強、落橋防止装置	29
10	補助	一般国道252号　松倉拡幅 （河沼郡柳津町）	供用	100	完成2車線　L=1.0km	－
11	補助	一般国道401号　白沢バイパス （南会津郡伊南村）	供用	130	完成2車線　L=1.2km	－
12	直轄	相馬港3号ふ頭地区耐震強化岸壁整備事業 （相馬市）	継続	520	本体　製作4函・据付3函 基礎　約40m	51
13	補助	小名浜港1・2号ふ頭地区港湾環境整備事業 （いわき市）	継続	134	物件補償　1式	－
14	補助	小名浜港東港地区廃棄物処理施設整備事業 （いわき市）	継続	550	護岸整備　1式	－
15	補助	いわき駅南北自由通路 （いわき市）	継続	190	L=80m	－
16	補助	福島栄町北地区優良建築物等整備事業 （福島市）	完成		SRC-14　延べ25,400m2 本体建設事業	－
17	補助	まちづくり交付金「いわき駅前地区」 （いわき市）	継続	2960※	市街地再開発事業、人工地盤整備 交流拠点施設整備、総合図書館整備 歩行者支援通路整備	－
18	補助	まちづくり交付金「飯坂地区」 （福島市）	新規	217※	道路高質化整備 観光交流センター整備 まちなみ環境整備事業	－
19	補助	住宅市街地総合整備事業「瀬戸町地区」 （会津美里町）	完成	31	修景助成 道路美装化、緑地整備	100
20	直轄	二本松公共職業安定所（ハローワーク二本松） （二本松市）	完成	294	庁舎 RC-2 1,003㎡	64
21	直轄	福島県警察学校 （福島市）	新規	117	耐震改修	－
22	直轄	一般国道289号　甲子道路(直轄権限代行) （南会津郡下郷町～西白河郡西郷村）	継続	3150	トンネル工事　L=4,345m	90

※国費